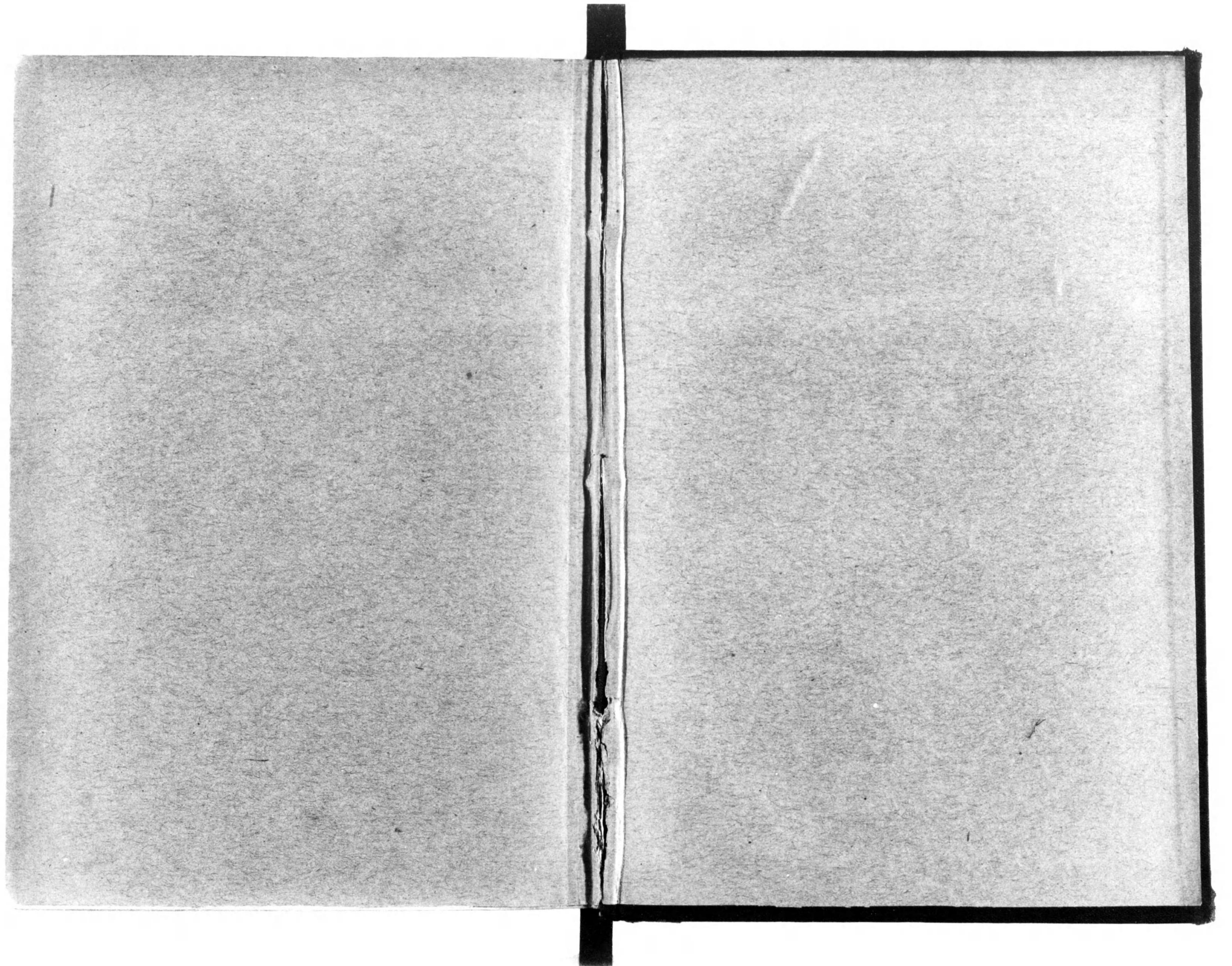


0^m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10^m 1 2 3 4

45
149

始





銀行簿記序

近時銀行事業ノ發達ニ伴ヒ簿記整理ノ
 講究益々其要ヲ告クルニ至レリ然レト
 モ顧ミテ之カ材料ニ供スヘキ適當ノ書
 冊ヲ索ムレハ啻ニ寥々晨星ノ如キ而已
 ナラス其實際取引ニ照シ容易ニ應用シ
 得ヘキモノニ至テハ殆ント絶無ノ有様
 ナルハ吾人ノ常ニ遺憾トスル所ナリ予
 友大谷君亦此ニ感アリ頃ロ一書ヲ著ハ
 シ名ケテ銀行簿記ト曰フ君嘗テ官ニ簿



記ノ教授會計ノ事務ニ在リ後又身ヲ民間銀行實務ニ委ヌ近日病ヲ得テ家ニ歸臥スルノ餘其蘊蓄スル所ノ學識ト經驗トヲ以テ此書ヲ編ス宜ナリ況ク諸般ノ實例ヲ援引シ叮嚀反覆説ク所悉ク肯綮ヲ得能ク其實際ニ適ス一タヒ之ヲ繙ケハ宛然本邦銀行簿記ノ現狀ヲ目睹スルノ感アラシム庶クハ以テ吾人宿昔ノ渴望ヲ慰スルニ足ランカ予ヤ此書ノ世ニ紹介セラル、一日モ過カナランコトヲ

希望スルモノナリ聊カ所思ヲ述ヘテ卷首ニ弁ス

明治廿八年九月

辱交 三村君平

緒言

輓近我邦國立私立ノ銀行其數蓋シ少シトセス而シテ此等ノ銀行カ皆殆ント同一様ノ簿記法ニ從ヒ其業務ヲ經營スルニ至リタルハ予ノ常ニ怡フ所而シテ予ハ又永遠斯クアラシキトナシ希望スル者ナリ然レトモ窃ニ現今ノ實際ヲ觀察スルトキハ憂慮スヘキモノアリテ未ダ一日モ其講究ヲ緩フスル能ハサルモノノ如シ願フニ本邦銀行簿記ノ今日アル決シテ偶然ニアラサルヲ以テ予ハ先ツ其原委ヲ畧叙シ學者ヲシテ之カ由來スル所ヲ知ラシメ然ル後聊カ予ノ所感ヲ陳述セントス

抑我邦銀行制度ハ政府發行ノ紙幣ヲ償却スルノ主旨ニ出テ明治五年國立銀行條例ヲ發布セラレタルヲ以テ起原トス當時此條例ヲ遵奉シテ創立セルモノハ第一第二第四第五ノ四銀行ナリシカ事艸創ニ屬シ官民共ニ未ダ其事業ニ通スル者ナカリシ

ヨリ大藏省ハ英國銀行學士「アーレン、シヤンド氏」ヲ招聘シ或ハ書籍ヲ刊行シ或ハ銀行學局ヲ設ケ以テ其事務者ヲ陶成セラレタリ彼本邦銀行簿記法ノ原始タル銀行簿記精法ノ如キモ亦「シヤンド氏」ヲシテ之ヲ草セシメ以テ我銀行簿記ノ模範ニ供シタルモノナリ然ルニ當時ノ銀行役員タル率チ舊來ノ商估ニシテ嘗テ簿記學ノ道理ヲ解セス故ニ其出納計算ニ關スル帳簿ハ一定ノ法式ニ依ラシムルノ成規ナルニモ拘ラス動モスレハ舊慣ノ記帳法ヲ用ヒ未タ遽ニ各銀行ヲシテ爾ク一樣ナラシムル能ハサルノ觀アリキ明治九年ニ至リ政府ハ一般華士族ノ祿制ヲ廢セシナリ以テ其士族就産ノ途ヲ開クカ爲メ新ニ國立銀行ヲ起サシメント圖リシモ銀行條例ノ主旨大ニ經濟社會ノ形勢ト扞格シ到底件ヒ立ツ能ハサルノ事情アリシヨリ同年八月遂ニ其條例ヲ改正セラレタリ爾來銀行ノ設立陸續相踵キ愈々益々簿

記者ノ急需ヲ感セシカハ大藏省ハ其曩ニ廢シタル銀行學局ニ繼クニ傳習所ナルモノヲ以テシ後更ニ銀行事務講習所ヲ設置シ專ラ速成ヲ旨トシテ銀行必須ノ學科ヲ授ケシニ依リ此等ノ學徒カ漸次事ニ銀行ニ從フニ及ヒ各銀行漸ク一定ノ記帳法ヲ用ヒ出納計算ノ條理井然索ル、所ナキヲ得タリ而シテ其私立銀行ハ明治九年開設セシ三井銀行ヲ首トシ越ヘテ明治十二年以降漸々其數ヲ増加シタルモノニシテ當時ノ私立銀行タル者特ニ一定ノ條例成規アラサリシト雖モ其業務ノ經紀ヨリ出納計算ノ方法ニ至ルマテ多ク國立銀行ニ摹倣シタル而已ナラス之カ主簿者モ亦國立銀行ニ於テ據ル所ノ簿記法ヲ傳習セシ輩ナリシヲ以テ自ラ各行略同一ノ様式ヲ用フルニ至リ以テ今日ニ馴致セルモノナリ

之ヲ要スルニ銀行創立ノ當初大藏省カ銀行學局ヲ設ケ此ニ始

四
メテ簿記ノ教授ヲ開キ尋テ傳習所ニ及ヒ更ニ銀行事務講習所
ヲ起セシニ因リ各銀行ノ簿記ハ專ラ銀行學局學徒ノ系統ヲ引
ケル者ノ手ニ屬シ培養育成セラレタルモノニシテ現今國立私
立ノ銀行カ殆ント一樣ノ簿記法ニ從フ所以ノ者職トシテ是レ
之ニ由ル故ニ今日ノ結果ハ畢竟銀行學局ニ胚胎シ其種子ハ實
ニ銀行簿記精法ナリトモ云フ可キ乎

然ルニ爾來行運ハ益々隆盛ニ取引ハ愈々頻繁ニ赴クニ隨ヒ其
簿記ノ如キモ亦多少改善ヲ要スルモノアリ是ヲ以テ各銀行適
宜ニ其法式ヲ改ムルカ爲メ嘗テ一定ナリシモノ今ヤ漸ク區々
ノ觀ヲ呈スルニ至レリ是レ或ハ勢ノ止ムヲ得サルニ出ツトハ
云ヘ往々臆斷ヲ以テ之ヲ變更シ却テ會計ノ亂雜ヲ來サントス
ルモノアルニ至テハ眞ニ憂フヘキニ非スヤ且ツ夫レ國立銀行
ニ於ケル成規ノ滅スル營業滿期ノ日ハ旣ニ目睫ノ間ニ迫レリ

今ニシテ能ク實地ノ有様ヲ究メ益々之ヲ完美ノ域ニ導クト同
時ニ可成的全國ノ銀行ヲシテ同一様ニ歸セシムルノ方法ヲ講
セサランニハ或ハ今日ノ小差忽チ大異トナリ其亂雜ノ極遂ニ
不測ノ禍ヲ生センモ未タ知ル可ラス然リト雖モ之カ講究ノ材
料ト爲スヘキ書冊ヲ需ムレハ今ヤ絶ヘテ之アラス而シテ一方
ニハ其改善ノ要且急ナル此ノ如シ豈ニ晏然トシテ之ヲ坐視ス
ルニ忍ヒンヤ予ノ此編アル亦以テ學者ト共ニ其講究ノ津梁ニ
充テントスルノ微意ノミ若シ夫レ鹵莽杜撰ノ譏ハ予ノ甘シテ
受クル所ナリ

編者識

銀行簿記目次

第一章 總說……………一

第二章 勘定科目……………十

資産ニ屬スル部

負債ニ屬スル部

支店及他店勘定

損益ニ屬スル部

勘定科目ノ起ラサル業務

第三章 帳簿及記入……………三十七

補助帳ノ部

主要帳ノ部

支店及他店勘定ニ屬スル部

第四章 手形交換所……………九十一

交換手續

記帳法

第五章 記入手續……………九十九

現金勘定

預金ニ屬スル部

貸出金ニ屬スル部

公債證書

代金取立手形

營業取引例題附決算法……………百七

第一營業取引

第二營業取引

第三營業取引

半季決算ノ方法並順序……………百七十二

第四營業取引

以上

銀行簿記

第一章 總說

大谷登喜雄編

一 銀行簿記法ハ銀行ノ業務ヨリ生スル百般ノ取引ヲ帳簿ニ録シ以テ會計ノ本末

ヲ精要明瞭ニラシムル方法ヲ講スルモノトス故ニ此法ヲ學フヤ銀行實務ノ上

ニハ簿記學ノ道理方則カ奈何ニ組立テラル、カヲ究ムルニ在リ

一 銀行ノ業務タル之ヲ細説スレハ種々ナリト雖モ要スルニ個々人々ノ餘財ヲ集

メテ之ヲ有用ナル事業ニ流融シ其間ニ在テ自己ノ利ヲ求ムル一種ノ商業取引

ニ外ナラザルナリ

一 商業取引ハ價值ヲ有スル物件ノ交換ヨリ成立ツモノトス所謂價值トハ他物ト

換ヘ得ヘキ力ノ割合ニシテ乃チ一物件ノ價值トハ之ト交換シテ受取ルヘキ他

物件ノ分量ヲ云フ例ヘハ米五石ト麥十石ト交換スルトキハ米五石ノ價值ハ麥

十石ニシテ麥十石ノ價值ハ米五石ナリト云フカ如シ

一 價值ハ交換上一物件ノ他物件ニ對スル割合ナリトセハ是其物件ニ固着セルモ

ノニ非スシテ交換ニ由テ始メテ其有無多寡ノ定マルモノナリ故ニ獨リ米穀木材ノ加キ有形物ノミナラス公債證書株券信約勤勞ノ如キ無形或ハ信票的物件ト雖モ苟モ他物ト交換セラレ得ル限リハ皆價值ヲ有スル物件ト云ハサル可ラズ而シテ其布帛金銀器ノ如キ形体ノ存スル間ハ永久交換ノ用ヲ爲シ得ヘキ物品タルト又勤勞快樂ノ如キ一回ノ交換ニ於テ消滅シ之ヲ再ヒスル能ハサル事物タルトハ敢テ問フ所ニ非サルナリ

一 交換トハ物件ニ對スル權利ノ移轉ヲ云フ故ニ交換シテ得タル物件ニハ之ヲ保有シ或ハ消費スル等自己ノ所有物トシテ適宜ニ取捌クヲ得ヘキ權利ヲ包含セルヤ明カナリ必竟此權利アルカ爲メ資産負債ヲ増減シ或ハ損益ヲ生スルモノナレトモ彼問屋カ賣捌ヲ委託サレタル貨物ノ如キニ至テハ則チ然ラズ蓋シ其貨物ニ對スルノ權利ハ依然委託者ニ屬シ問屋ハ只其權利ノ委託者ヨリ購買者ニ移轉スル間ニ介入セル丈ナレハ之ヲ自己ノ所有物トシテ取捌クヲ得ヘキモノニ非ス故ニ此等ノ取引ニ在テハ直接ニ自己ノ資産負債或ハ損益ニ關係ヲ及ホスモノニ非サルナリ

一 交換ハ自他各其要スル所ノ物件ヲ得ルニ由テ始メテ行ハルモノナリ例ヘハ

己レ一脚ノ机ヲ有シ之ヲ椅子ニ換ヘント欲スルトキハ他ニ椅子ヲ有シ之ヲ机ニ換ヘントスル者ヲ索メテ後始メテ之カ交換行ハル可シ然レトモ兩者ノ需要スノ如ク一致スルハ甚タ稀ナリ偶々之アルモ若シ其机ト椅子ノ價值等シカラサルトキハ更ニ又他物ヲ以テ其差ヲ填充セサル可ラス斯クテハ不便太甚シキニ依リ人文ノ發達ト共ニ各國皆貨幣ヲ用ヒ之ヲ其間ニ介シ以テ容易ニ交換ヲ行ハシム蓋シ貨幣ヲ交換ノ間ニ介スルトキハ己レノ得ント欲スル物ハ何時ニテモ貨幣ヲ以テ購買シ得ヘケレハ賣買兩者ノ間ニ需要ノ一致ヲ要セスシテ交換忽チ行ハレ其至便タル敢テ多言ヲ待タサル可シ是ヲ以テ今日ニ及ンテハ獨リ金銀貨ノミナラス紙幣モ共ニ國內ニ流通シ以テ諸般ノ取引ヲ便スルヨリ都テノ物件ノ價值ハ之ト交換スル物件ノ何タルヲ問ハス皆通貨ノ分量即チ金額ヲ以テ之ヲ計リ得ルニ至レリ故ニ通貨ハ他ノ物件ト等シク交換シ得ヘキ一物件トシテ特ニ交換ノ媒介物トナリ又價值ノ準度タル性質ヲ具有スルモノトス一簿記學ニ於テハ物件ノ交換ニ對シ借貸ノ語ヲ用ニ即チ受ケタル物件ハ借方ニシテ渡シタル物件ハ貸方ナリ是ヲ以テ其借貸ナル語ハ獨リ人ト人トノ貸借ノミナラス家屋什器ノ如キ有形物ハ勿論勤勞信約ノ如キ無形無体ノ物ト雖モ其

交換ノ成立ヲタル上ハ人ニ對スルト同様借貸ノ語ヲ應用スルモノトス故ニ或物件カ自己ニ對シ或ハ債主トモナリ或ハ負債主トモナルモノナリ

一 交換ヲ行フ物件ハ各其業務ニ從ヒ自ラ區域ノ存スルアレトモ猶ホ其種類階級等ニ由リ之ヲ細別スルトキハ其數實ニ千萬管ナラサル可シ例ヘハ米商カ賣買スル米ニモ伊勢米武藏米肥後米或ハ外國米等アリ其各種ノ米亦互ニ品質ノ等級アリ之ヲ賣買スルニモ通貨ヲ以テスルアリ掛取引等アリ其通貨ニモ金銀銅貨アリ紙幣等アリテ一律ナラス又勤勞ニモ車ヲ挽クモノ重キヲ荷フモノ或ハ遠ク走ルモノ等アリ此等ヲ細カニ分類スルトキハ殆ント際限アル可ラス故ニ百般ノ取引ヲ帳簿ニ記載シ之ヲ整理スルニ當テハ其交換セル物件普通ノ名稱ニ從ヒ或ハ性質ニ由リ適當ナル名目ヲ付シ其名目ノ下ニ同種類ノ物ヲ統合シ或ハ廣漠ナルモノハ更ニ分類スル等各個ノ業體ニ從ヒ斟酌ヲ加ヘテ之ヲ設定シ以テ資産負債及ヒ損益ノ由來實況ヲ明瞭ナラシメサル可ラス此名目ヲ勘定科目ト云フ

一 以上ノ定理ヲ解スルトキハ之ヲ銀行業務ノ上ニ推究スル敢テ難キニ非サル可シト雖モ學者ヲシテ一層會得シ易カラシメンカ爲メ茲ニ銀行ニ於ケル一二取

引ノ例ヲ掲ケテ之ヲ説明セントス

今假ニ銀行カ某ヨリ預リ金トシテ通貨千圓ヲ受取タリトセンニ其受取タル通貨ハ銀行ニ所有權ノ移リタルモノナレハ銀行ハ之ヲ保有シ又ハ他物ト交換スルコト隨意ナレトモ其代リ他日或物件ヲ預ケ主ニ償フヘキ義務ヲ負ヒタルモノナリ又預ケ主ハ銀行カ其義務ヲ果スヘシト信シテ通貨ヲ渡シタル代リ他日返還ヲ受クヘキ權利ヲ得タルモノニシテ其權利ハ所謂信約ナリトス故ニ此取引ハ通貨ト信約トヲ交換セルモノナレハ其渡シタル信約ノ價值ハ受取タル通貨ノ額即チ千圓ニシテ通貨ヲ借方トシ信約ヲ貸方トナス可シ而シテ其ノ受取タル通貨ハ種類ノ何タルニ拘ハラズ(金銀)ナル科目ヲ付シ又渡シタル信約ハ單ニ信約ニテハ廣漠ナルニ依リ預リ金ナル科目ヲ付シ以テ此交換ヲ表示シ得ヘキナリ斯ク云ハ、或ハ預ケ主ヘ對シ預リ證書ヲ渡シタル可ケレハ(預リ證書)ナル名目ヲ貸方トス可シト曰フ者アランカ是レ固ヨリ名目ナレハ何レニテモ其交換セル物件ヲ表示シ得ハ足レリト雖モ預リ證書ナルモノハ只預ケ主ノ權利ヲ認メタルモノニシテ法律上之ヲ要スルノミ簿記學ニ於テハ其證書ヲ交付セサルニ於テモ尙ホ交換ハ依然成立ナタル取引ト認メ得ヘクシテ毫モ證書ノ有

無ニハ關係ヲ有セサルモノトス是レ其交換ノ目的物ハ信約ナルヲ以テナリ
 銀行カ此受取リタル通貨千圓ヲ更ニ他人ニ貸付シタリトセハ是レ前項ノ取引
 トハ異ナレトモ其理ハ等シキモノナリ即チ銀行ハ通貨ヲ與ヘタル代リ借主ヨ
 リ他日返還ヲ受クヘキ權利即チ信約ヲ受取リタルナレハ是亦通貨ト信約トノ
 交換ニ外ナラス是ヲ以テ其受取リタル信約ニ對シテハ(貸付金ナル科目ヲ付シ
 之ヲ借方トシ(金銀)ヲ貸方トナス可シ今前二種ノ取引ヲ併セ見ルトキハ

借方

貸方

一金銀(通貨) 千圓

預リ金(信約) 千圓

二 貸付金(信約) 千圓

金銀(通貨) 千圓

此ノ如クナルヲ以テ金銀ハ借貸相殺セラレテ銀行ノ手ニハ一錢モアルヲ無シ
 而シテ借方ハ貸付金ノ科目ヲ以テ銀行カ他日返償ヲ受クヘキ權利ヲ示シ貸方
 ハ預リ金ノ科目ヲ以テ銀行カ他日返償ヲ爲ス可キ義務ヲ表示スルヲ得ヘシ
 即チ借方ニ於ケルハ資産ノ價值貸方ニ於ケルハ負債ノ價值タルナリ
 又此預リ金ヲ一ケ年間預置セシニ依リ預ケ主ヘ利子トシテ通貨六十圓ヲ拂渡
 シタリトセヨ此取引ニ就テハ少シク解釋ヲ要スル所アリ

銀行ハ自己ノ元入金ヲ正資本トナシ他人ヨリノ預リ金ヲ假資本トナシ此等ヲ
 合シテ世ニ出シ之ヲ働カシメテ自己ノ利ヲ獲ルニ在レハ銀行ノ利潤ハ主トシ
 テ資本ノ勤勞ニ依ラサル可ラス今預ケ主ニ利子トシテ仕拂ヒタル通貨ノ如キ
 モ是レ資本ノ使用料即チ銀行カ預ケ主ニ報スヘキ資本ノ勤勞ノ價值ナリトス
 故ニ此取引ハ通貨ト資本ノ勤勞利息ト科目トストチ交換セルモノニシテ恰モ
 勞役者ニ賃銀ヲ仕拂ヒタルト等シク彼ハ人ノ勤勞ヲ使用セシ報酬トシテ賃銀
 ヲ仕拂ヒ此ハ資本ノ勤勞ヲ使用セシ報酬トシテ利子ヲ仕拂ヒタルモノナリ而
 シテ其利子ハ銀行カ預リ金ヲ受取リタル時ヨリ既ニ幾何カチ生シツヽアリシ
 モ之ヲ仕拂フ時期ニ約束アルヲ以テ其一年間ニ積リタル價值ヲ今一時ニ拂ヒ
 渡シタルナリ是ヲ以テ資本ノ勤勞ニ對スル權利義務ハ此交換ト同時ニ消失セ
 ルモノトス

若シ銀行カ金千圓ヲ他人ニ貸付シ其利子トシテ通貨二百圓ヲ得タリトセハ其
 趣前項トハ反スルモ其理ハ同一ニシテ利子トシテ受取リタル通貨二百圓ハ借
 主ノ手ニ在テ幾日月ノ間働キタル資本ノ勤勞ノ價值ナリ故ニ是亦通貨ト資本
 ノ勤勞トノ交換ナリトス今前二種ノ取引ヲ併セ見ルトキハ

借方

貸方

一 利息(資本ノ勤勞) 六十圓

金銀(通貨) 六十圓

二 金銀(通貨) 二百圓

利息(資本ノ勤勞) 二百圓

此ノ如クニシテ第一ノ受取リタル利息六十圓ハ銀行ノ資産ヨリシ金銀ヲ拂出サシメタル損失ヲ示シ第二ノ金銀二百圓ハ銀行ノ資産ヲ示シ其貸方ノ利息ハ新ニ金銀ナル資産ヲ産出セシメタル利益ヲ示スモノナリ又之ヲ借貸相殺スルトキハ單ニ

借方 金銀 百四十圓

貸方 利息 百四十圓

トナリ借方ハ銀行ノ純資産ノ價值ヲ示シ貸方ハ其資産ヲ産出セシメシ純利益ノ價值ヲ表示シ得ヘキナリ

一 物件ノ交換ニ由テ生スル資産負債ト損失利益トノ區別ハ有價物件其物ノ性質ト借貸ノ方向ニ於テ之ヲ認識スルモノトス即チ物件ノ性質ニハ再ヒ交換ノ用ヲ爲スモノト只一回ノ交換ニ於テ消失シ之ヲ再ヒスル能ハサルモノ約言スレハ權利義務ノ存スルモノト權利義務既ニ消失セルモノトノ二種ノ區別アリ此二種ノ異質アル物件ニ借貸ノ二語ヲ適用スルニ由リ其借貸ヲ相殺シタル結果

四様ノ區別ヲ生セサル可カス今尙ホ之ヲ詳言スレハ

一 他日交換ヲ爲シ得ヘキ物件カ借方タルトキハ則チ己レニ償ヒテ受クヘキ權利アルヲ以テ是レ資産ナリ

一 他日交換ヲ爲シ得ヘキ物件カ貸方タルトキハ則チ己レニ償ヒテ爲スヘキ義務アルヲ以テ是レ負債ナリ

一 交換ト共ニ權利義務既ニ消失セル物件カ借方タルトキハ則チ己レニ何物ヲモ償ハサルヲ以テ是レ損失ナリ

一 交換ト共ニ權利義務既ニ消失セル物件カ貸方タルトキハ則チ己レハ何物ヲモ償フニ及ハサルヲ以テ是レ利益ナリ

故ニ一勘定科目ノ借貸ヲ差引キタル殘高カ借方タルトキハ其性質ニ依リ自己ノ資産若クハ損失ヲ示シ其貸方タルトキハ自己ノ負債若クハ利益ヲ表示スルモノナルヲ知ル可シ

一 交換ノ行ハレタル物件ト物件トノ間ニ存スル價值ハ毎ニ均等ナルモノトス何トナレハ交換上受ケタル物件ノ價值ハ之ニ對シ渡シタル物件ノ分量ニシテ又其受ケタル物件ノ分量ハ渡シタル物件ノ價值ナレハナリ取引ナルモノハ斯ク

彼此均等ナル價值ヲ以テ相互ノ物件ヲ交換スルモノナリトセハ之ヲ幾タヒ重
子幾タヒ變換スルモ只其高チ増スノミニシテ借貸双方ハ毎ニ均等ニシテ其間
毫厘ノ差アルヘキ筈ナシ此學理ニ原ツキ一取引ヲ借貸ニ分チ帳簿ニ二重ノ記
入ヲ爲スモノヲ複式記入法ト唱ヘ借貸ナル語ハ只人ニ對スル普通負債ノ意義
ニノミ用ヒ其取引ハ個々別々ノ帳簿ニ單獨ノ記入ヲ爲スモノハ單式記入法ト
云フ單式記入法ハ複式記入法ノ正確明瞭ナルニ及ハサル遠シ銀行簿記法ハ一
ニ複式記入法ニ從フモノナリ

第一章 勘定科目

勘定科目ナルモノハ日々ノ營業取引ヨリ生スル資産負債及ヒ損失利益ノ實現ヲ
表示スル科目ニシテ此科目ノ下ニ於テ日々ノ取引ヲ知り營業ノ盛衰ヲ察スルモ
ノトス故ニ之カ設定ニハ深ク注意ヲ加ヘ其名稱ノ如キモ屢々改メテ會計ノ混亂
ヲ來タスカ如キトアル可ラス今ヤ我國銀行ニ於テ用ユル勘定科目ハ概チ一定シ
特別ノ場合アルニ非サレハ之ヲ變更スルノ要ナキカ如シ左ニ其勘定科目ヲ列記
シテ一々其性質ヲ説明ス可シ

銀行ノ資産ニ屬スル部

此部ニ屬スル科目ハ銀行カ現ニ之ヲ保有シ他日或物件ヲ以テ償却ヲ受ケ得ヘキ
權利ヲ表示スル科目ニシテ其殘高ハ毎ニ借方ニ於テ現ハル可キナリ之ヲ大別シ
テ貸出金勘定、所有物勘定、預ケ金勘定、公債及地金勘定及ヒ金銀勘定ノ五種ト爲ス

貸出金勘定

(一) 貸付金

貸付金トハ動産又ハ不動産ヲ擔保ト爲シ或ハ單ニ信用ヲ以テ期限ヲ定メ貸金ヲ
爲スモノヲ云フ之カ利息ハ毎月入金セシムルアリ又ハ元金返濟ノ時共ニ仕拂ハ
シムルアリ其約束ニ由テ一様ナラス

(二) 期限過貸付金

期限過貸付金トハ貸付金ノ返濟期日ニ至ルモ借主事故アリテ返金スルヲ能ハス
又證書ノ書替ヲモ爲ス能ハサル場合ニ於テ此名稱ヲ付シ貸付金ノ科目ヨリ本科
目ヘ移スモノトス

(三) 滯貸付金

滯貸付金トハ前項期限過貸付金ニシテ容易ニ返金ノ見込ナク爲メニ出訴ニ及ヒ

タルトキ此名稱ヲ付シ之ヲ期限過貸付金ノ科目ヨリ移シ其結果ヲ見ルニ至ル迄
此科目ニ算入シ置クモノトス

(四)當座預リ金貸越

當座預金ナルモノハ其預高ニ超過セル小切手ヲ振出スコト能ハサルハ勿論ナレ
トモ預ケ主ハ豫メ銀行ト相談シ或期限内ハ預金已ニ引出シ盡クルモ猶ホ極度幾
許マテハ隨意ニ小切手ヲ振出シ得ヘキ約束ヲ結ビ得ヘシ而シテ此約束ニ原ツキ
預高ニ超ヘテ振出シタルモノ之ヲ當座預リ金貸越ト云ヒ或ハ當座過振出トモ云
フ其貸越極度額ニ對シ擔保トシテ動産或ハ不動産ヲ差入レシムルアリ之ヲ根抵
當ト云フ蓋シ一タヒ此貸越ノ約束ヲ結フトキハ通常ノ貸付金ノ如ク毎時證書ヲ
作り或ハ證人ヲ立ツルノ煩ナク何時ニテモ小切手ヲ以テ金圓ヲ借出シ得ヘク又
自己ノ都合ニ依リテハ何時ニテモ返金シ得ヘキヲ以テ商業上ニ便益ヲ與フル
此取引ノ右ニ出ツルモノアル可ラス銀行ニ在テモ亦其貸越ノ金額ニ對シ收ムル
利子ハ通常貸付金ヨリ割合高ク又多クハ期間極メテ短キモノナレトモ何時ニテ
モ利子ノ割合ヲ高低シ得ヘキヲ以テ貸借双方ニ便利ヲ與フルモノト云フ可シ而
シテ此利子ハ約束ニ依リ年兩度乃至四度計算ヲ爲シ其都度之ヲ拂込マシムルモ

ノトス

(五)割引手形

割引手形トハ他人ノ振出シタル約束手形又ハ爲替手形ニ對シ期日マテノ利息ヲ
計算シ其券面高ヨリ之ヲ割引シテ其手形ヲ買取ルヲ云フ即チ各種ノ手形ニ對シ
利息ヲ前收シテ貸金ヲ爲スモノナリ而シテ此割引シタル手形ノ其地ニ於テ仕拂
ハル、モノヲ當所割引手形ト云ヒ他ノ地方ニ於テ仕拂ハル、モノヲ他所割引手
形ト云フ方今約束手形ニ其仕拂ノ擔保トシテ公債證書或ハ銀行會社ノ株券等ヲ
添付シ割引ヲ爲スモノアリ之ヲ擔保付割引ト云ヒ其擔保ナキモノヲ商業手形ノ
割引ト云フ

(六)荷爲替手形

荷爲換ハ從來我國ニ於テ重ニ問屋ナルモノカ營ミタル一法ニシテ甲ノ土地ヨリ
乙ノ土地ニ積送ル貨物ニ對シ貸金ヲ爲スモノヲ云フ方今銀行ニ行ハル、荷爲換

取引ノ方法ヲ見ルニ銀行ハ荷爲換貸ノ請求アルトキハ先ツ其積送ルヘキ貨物ノ價格ノ七掛ケトカ八掛ケトカヲ貸付高ト定メ之ニ對シ荷主ヲシテ銀行ヲ受取人トシ乙地ノ荷受主ヲ仕拂人トシタル手形ヲ振出シ其手形面ニ「荷物付」ノ三字ヲ附記セシメ且此手形ニ右貨物ノ荷物引換證及ヒ保險狀ヲ添付セシメ而シテ期日迄ノ利子ヲ計算シ之ヲ前收シテ貸金ヲ爲スナリ左レハ荷爲換手形ハ殆ント割引手形ト同一ノ如クナレトモ割引手形ハ手形署名人其人ヲ信用スルニ因リ一片ノ手形ヲ證トシテ融通ヲ爲スモノトス然ルニ荷爲換ハ未タ卒カニ其人ヲ信スル能ハサルヨリ貨物ニ對シ始メテ貸金ヲ爲スモノナレハ其性質ヲ異ニス而シテ銀行ハ此手形及ヒ附帶ノ證書一切ヲ乙地ニ在ル支店若クハ取引銀行ニ送り其取立ヲ依頼ス乙地ノ支店若クハ取引銀行ハ此手形ヲ受取リ荷受主ニ向テ其引受ヲ求メ置ク可シ然ルトキハ手形期日ニ至リ荷受主ハ手形代金ヲ銀行ニ仕拂ヒテ手形及ヒ附帶ノ證書ヲ受取リ其荷物引換證ヲ以テ到着ノ貨物ヲ受取ルモノトス今茲ニ現ハス荷爲換手形ナル科目ハ他ノ地方ヨリ振向ケタル荷爲換手形ヲ受取リテヨリ期日ニ至リ仕拂ヲ受クル迄ノ勘定ヲ示スカ爲メニ設クルモノニシテ其貸金ヲ爲シタル銀行ニ於テ起ス科目ニハ非サルナリ

此手形及ヒ貨物ニ就キ萬一故障ヲ生シタルトキ其責任ヲ明カニスル爲メ別ニ副證書ヲ差入レシメ之ニ本人及ヒ保證人ヲシテ連署セシムルモノトス

所有物勘定

所有物トハ營業ニ要スル土地、家屋、什器ノ如キ或ハ擔保ニ取リタル物品ノ流れ込ミタルモノ所謂質物流込等ヲ云フ而シテ家屋、什器ノ如キモノハ年月ヲ經ルニ從ヒ漸次ニ其價ヲ減損スルモノナレハ每期利益金ノ内幾分ヲ割キテ之ヲ償却スルモノトス

預ケ金勘定

(一)預ケ金

金融ノ情勢ハ常ニ變動スルモノニシテ其繁劇トナルヤ貸出金ノ需要多クシテ預リ金ノ引出亦多々益繁ク爲メニ銀行ノ手元有金甚シク減少スルコトアリ之ニ反シ緩慢トナルヤ貸出金ノ需要ハ少クシテ預リ金ハ益増加スルヲ以テ銀行ノ手元有金巨額ニ上ルコトアリ此場合ニ於テ之ヲ一時他ノ銀行へ預ケ入ルコトアリ之ヲ預ケ金ト云フ又金融繁閑ノ度此ノ如クナラストモ平時他銀行ト當坐預金ノ取引ヲ爲スモノハ此科目ヲ以テ出納スルモノトス

公債及地金勘定

(一) 國債證券

國債證券トハ整理公債證書、金祿公債證書等ノ如キ國債ニ係ル證券ヲ云フ而シテ此等ノ證券ヲ賣買シタルトキ各其公債證書ノ名ヲ以テ科目トス

(二) 地方債證券

地方債證券トハ東京市公債證書、大坂市公債證書ノ如キ一地方ニ於テ發行スル債券ヲ云フ此等ノ債券ヲ賣買シタルトキ各其債券ノ名ヲ以テ科目トス

(三) 地金銀

地金銀ノ賣買ヲ爲シタルトキハ其科目ヲ起スモノトス

金銀勘定

金銀勘定ハ銀行ニ現有スル金銀銅貨、政府紙幣、銀行紙幣及ヒ兌換銀行券等ノ手元有高チ示スモノニシテ他ノ銀行ノ小切手及手形ニシテ何時ニテモ取付ケ得ヘキモノハ亦現金ト看做シ此科目ニ算入ス

金銀ト云ヘハ單ニ現金ノ出納ヲノミ表示スルカ如クナレトモ銀行簿記法ニ於テハ獨リ現金ノミニ限ラス甲勘定ヨリ乙勘定へ振換ヘタルモノニテモ現金ヲ以テ

出納シタルト同様此科目ニ加算スルモノトス左レハ此科目ノ合計金額ハ日々取引シタル勘定ノ總高チ表示スルモノナリト知ル可シ

銀行ノ負債ニ屬スル部

此部ニ屬スル勘定科目ハ銀行カ他日或物件ヲ以テ償フ可キ義務ヲ表示スルモノナレハ其殘高ハ毎ニ貸方ニ於テ現ハル可キナリ今之ヲ大別シテ預リ金勘定、株主勘定、借入金勘定ノ三種トス而シテ此部ニ株主勘定ヲ置ク所以ハ如何ニト云フニ株主トハ銀行へ資本ヲ放下シタル人々ニシテ銀行ハ株主ニ依テ組成セラレタルモノナレハ其間ニ區別ヲ設クルノ要ナキカ如シト雖モ銀行ハ即チ銀行ニシテ株主ハ株主ヲラサル可ラス故ニ其營業ニ關スル帳簿ハ即チ銀行ノ帳簿ニシテ株主ノ帳簿ニハ非ラサルナリ左レハ株主カ銀行ニ向テ出資セルモノハ銀行ニ在テハ株主ニ對シ負債タルノ理由ナルヲ以テナリ

銀行ニハ一個人ノ營業ナルアリ合資又ハ合名會社ヲ以テ成ルアリ然レトモ本書ハ一ニ株式會社タル銀行ニ就テ説明センカ爲メ株主勘定トハ云フシナリ故ニ若シ一個人又ハ合名合資ノ會社組織ナルトキハ之ヲ資本主勘定トモ云フヘキナリ其名ハ異リト雖モ銀行へ出資セル人ニ對スル勘定ナルヲ以テ理ハ同一ナルモノ

ト知ルヘシ

預リ金勘定

(一)當坐預リ金

當坐預金ナルモノハ各商估等ニ於テ日々收入スル所ノ金圓ヲ銀行ヘ預ケ置キ其
入用ノ節ハ何時ニテモ預ケ高ノ幾分ヲ幾タビニモ隨意ニ小切手ヲ以テ引出スチ
得ルモノニシテ銀行業務中出納最モ頻繁ナル預リ金ナリトス故ニ其預リ高ハ時
トシテ非常ノ巨額ニ上ルコトアリト雖モ出納頻數常ニ靜止ノ狀ナシ而シテ銀行
ノ是ヨリ得ル所ノ利益ハ僅ニ其引殘リ高ヲ運用スルニ止マルヲ以テ歐洲銀行ニ
在テハ之ニ利子ヲ付セサル而已ナラス銀行ニ依リテハ毎ニ幾許以上ノ殘高ヲ留
メサル者ハ取引ヲ謝絶スルノ内規ヲ設クルモノアリ然レトモ我銀行ニ於テハ未
タ預金事業爾ク發達セサルヲ以テ日步勘定ヲ以テ利子ヲ付スルヲ通例トス
當坐小切手ハ裏書又ハ交付ノミヲ以テモ他人ニ轉付スルコトヲ得ルモノナレト
モ之ヲ儘カニシテ授受ニ便ナラシムル爲メ銀行ヲシテ其小切手ノ仕拂ヲ保證セ
シムルコトアリ之ヲ保證小切手ト云フ
小切手ハ誰彼ヲ問ハス其持參人ニ拂渡スモノナレハ銀行カ若シ之ヲ知ラスシテ

小切手ヲ盜取セルカ如キ不正ノ者ノ手ニ拂渡ストモ正當ノ所持人ハ如何トモス
ルコト能ハス故ニ是等ノ危險ヲ防クカ爲メ振出人又ハ所持人ニ於テ小切手面ニ
二本ノ横線ヲ劃シ其線内ヘ特ニ所持人ノ取引スル銀行ノ名ヲ朱書スルコトアリ然
ルトキハ此小切手ハ朱書セラレタル銀行ノ外ハ何人ニモ拂渡スコト能ハサルモ
ノナレハ一旦正當所持人ノ勘定ニ入りタル後其銀行ヨリ小切手名宛ノ銀行ヘ取
付ケテ爲スモノトス故ニ縱令ヒ其小切手ヲ拾ヒ取り或ハ盜取スルモ正當ノ所持
人ニ非サレハ取紙ト一般何ノ用ニモ立タサル可シ之ヲ横書小切手ト云フ近來我
銀行ニ於テハ預ケ主ガ他方ニ向ケ送金セントスルトキ自己ノ振出シタル小切手
ヲ持參シ支拂保證ヲ請求スルニ於テハ其送金スヘキ地方ニ在ル支店又ハ取引銀
行渡リノ文字ヲ小切手面ニ書シテ其小切手ト引換ニ金員ヲ受取ルヘキ銀行ヲ指
定シ而シテ支拂保證ヲ爲シ以テ送金爲換ニ代用スルコト盛ニ行ハルニ至レリ
(二)通知預リ金

當坐預金ハ前述ノ如ク出納頻繁ナルヲ以テ銀行カ利子ヲ付スルモ甚タ低歩ナリ
ト雖モ商估ノ業体ニ依リテハ出納時序アリテ常ニ頻繁ナラサルモノアリ此等ニ
對シテハ豫メ何圓マテハ幾日前又何圓以上ハ幾日前ニ通知シテ引出ス可キ約束

ヲ結ヒ當坐預金ヨリハ割合高キ利子ヲ付シテ預カルアリ之ヲ通知預リ金或ハ約定預リ金ト稱ス又通知日限ニ三日五日乃至一週日等ノ定メアリテ其期ノ長短ニ因リ利子ノ割合ヲ異ニセルアリ

(三)特別當坐預リ金

特別當坐預金又ハ小口當坐預金ト稱シ出納五圓以上ノ少金額ヲ預リ其引出ハ小切手ヲ用ヒスシテ入用ノ都度通帳ニ受取ヲ爲サシムルカ或ハ別ニ受取證書ヲ取リ之ヲ拂渡スモノトス又中ニハ普通當坐預リ金ト同シク小切手ヲ以テ引出スコトヲ得セシムルモノアリ惟フニ此預金ハ名ハ當坐預金ノ如クナレトモ性質ハ貯蓄預金ト同様ニシテ少シク變休ナルノミ

(四)定期預リ金

定期預金ナルモノハ數月乃至一ケ年ノ期限ヲ定メ其期限内ハ決シテ之ヲ引出ササル約束ヲ以テ預カルモノトス此預金ヲ爲ス者ハ官吏僧侶婦女子ノ如キ自ラ其貯金ヲ運用シテ利ヲ収ムル能ハサル者ニ多シ而シテ銀行ハ其期限内ハ之ヲ悠ニ運轉利用スルヲ得ルヲ以テ此預金ニ對シテハ最モ割合高キ利子ヲ付ス其利子ハ年利ヲ以テ計算シ期日ニ至リ元金ト共ニ拂渡スモノトス

(五)別段預リ金

別段預金ナルモノハ期限モ定メス又屢々出納スルモノニモ非ラス唯一時特別ノ金ヲ預リ銀行ハ預リ證書ヲ交付シ置キ入用ノ節ハ何時ニテモ證書ト引換ニ仕拂フモノトス蓋シ預リ金ニシテ適當ナル名稱ヲ付ス可ラサルモノハ皆此預金ニ編入スルヲ以テ本科目ハ當坐或ハ定期ノ如ク單純ノ性質ニハ非サルナリ例ハ得意先ノ依頼ニ依リ公債證書等ノ賣買代金ヲ一時預カルアリ或ハ又其利子ヲ受取リテ一時預カルアリ或ハ依頼ニ依リ手形代金ヲ取立テ之ヲ預カルアリ此等ノ類ハ皆此科目中ニ包含セラル、ナリ左レハ此預金ハ利子ヲ付スル約束ノモノモアリ或ハ無利息ノモノアリテ一定ナラス

(六)手形

手形ナルモノハ銀行カ依頼ニ依リ金ヲ預リテ發行スル手形ニシテ其代金ハ銀行ヨリ何時ニテモ手形引換ヘニ受取り或ハ裏書ヲ爲シテ轉付スルヲ得ルモノトス

(七)仕拂送金手形

甲ノ土地ヨリ乙ノ土地ヘ向テ送金セントスルトキ銀行ニ至リ手形ヲ請ヒ受ケ之

チ乙地ニ送ルトキハ乙地ノ者其甲地銀行ノ支店若クハ取引銀行ヨリ其手形ト引換ニ現金ヲ受取ルモノ之ヲ送金爲換ト云フ其手形ヲ甲地銀行ニテハ送金手形ト云ヒ乙地銀行ニテハ之ヲ仕拂送金手形ト云フ而シテ此手形タル其仕拂ヲ終ル迄ハ預リ金ナルヲ以テ預金勘定ニ編入スルモノトス

右ハ通常ノ送金爲換ナレトモ時トシテ至急送金ヲ要スルトキハ電信ヲ以テ爲換ノ受拂ヲ爲スコトアリ之レヲ電信爲換ト云フ其方法ハ豫メ本支店若クハ取引銀行ノ間ニ用ユヘキ秘密暗號(單ニ取組番號若クハ金高ノミヲ暗號トスルモノ)ヲ定メ置キ電信送金ノ依頼アリタルトキハ其暗號ヲ用ヒテ支店若クハ取引銀行へ案内電報ヲ發ス可シ又依頼人モ受取人ニ向ヒ爲換ヲ取組ダレハ指定ノ銀行ヨリ受取ルヘキ旨ノ電報ヲ發ス然ルトキハ受取人ハ保證人ヲ立テタル受取證書ニ其電信ヲ添ヘテ宛所銀行ニ仕拂ヲ乞フ銀行ハ之ヲ案内電報ニ照ラシテ仕拂ヲ爲スモノトス

(八)巡回手形

是ハ(Circular letter of credit)ニシテ今巡回手形ト譯ス此手形ハ專ラ外國遊歴者ノ便ニ供スルモノナリ例ヘハ外國ヲ旅行セントスル者ハ到ル所ニ於テ金ヲ要スルモ其幾許ナルヤハ豫定シ難ク又旅中大金ヲ所持スルハ危險ナルヲ以テ豫メ巡遊中

ニ要スヘキ總高チ一銀行ニ預ケ入レ一枚ノ手形ヲ得ルトキハ其手形ヲ以テ英佛獨米到ル所ニ於テ入用ノ通貨ヲ其時ノ相場ニ依リ受取り得ル方法ニシテ其便益ヤ大ナリト云フ可シ蓋シ此手形ハ之内地ノ旅行ニモ用ユルヲ得ヘシト信スルナリ其方法ハ例ヘハ東京ノ商人四日市名古屋京都及ヒ大坂等ノ各地ヲ回歴セントスルニ方リ其要ス可キ總高ハ假ニ一千圓トシ之ヲ東京ノ銀行ニ預ケ入ル可シ銀行之ヲ受取りタルトキハ連名ニテ右四ヶ所ニ在ル本支店若クハ取引銀行へ宛テタル一枚ノ手形ヲ作り之ヲ本人ニ交付スルト同時ニ右四ヶ所ノ銀行へ向ケ受取人カ用ユル印鑑ヲ添ヘテ此手形ヲ發シタル旨ヲ通知シ置ク可シ然ルトキハ商人ハ先ツ四日市ニ赴キ金三百圓ヲ受取ラント申込ミタルトキハ四日市ノ銀行ハ能ク其手形ノ信偽ヲ點檢シ本人ヲシテ別ニ受取證書ヲ差出サシメ之ヲ印鑑ニ引合セ差支ナキトキハ其金員ヲ拂渡シ手形ノ裏面ニ拂渡シタル金額月日及銀行名記入ノ粹ヲ印刷シ置クモノトス等ヲ改描ノ恐ナキ様明瞭ニ記載シ檢印ノ上手形ハ本人ニ返付シ其仕拂高チ東京ノ銀行へ通知ス可シ右商人又名古屋ニ赴キ若干ノ金員ヲ受取ラント申込ミタルトキハ名古屋ノ銀行ハ其所要ノ金額カ手形金高ヨリ四日市ニテ拂渡シタル高チ差引キ其殘高以内ナルトキハ前同様ノ手

續チ以テ之ヲ拂渡ス可シ順次斯ノ如クシテ其手形面金額悉皆仕拂濟トナルトキハ最後ノ銀行ニ於テ手形ヲ引上ケ之ヲ東京ノ銀行へ返送ス可シ若シ又商人ノ都合ニ依リ尙ホ殘額アル場合ニハ之ヲ東京へ持返リ東京ノ銀行ニテ手形引換ニ其殘金ヲ受取ルコトモ爲シ得ヘシ米國銀行ニテハ此手形ノ手數料ハ一般ニ券面高百分ノ一ヲ収ムルヲ通例トス若シ此方法ヲ以テ數多ノ手形ヲ發行セラルトキハ銀行ノ利益モ亦普通送金爲換ノ比ニ非サルヤ明カナリ而シテ手形仕出銀行ニテハ之ヲ巡回手形トシテ本科目ヲ設ケ仕拂フ可キ銀行ニテハ仕拂巡回手形ト稱シ其仕拂ヲ爲シタルトキ手形仕出銀行へ貸トナス可シ此手形ハ未タ我國ニハ行ハレサレトモ輒近二三ノ銀行ニテ旅行者ニ便スル爲メ之ニ類スル取引ヲ營ムモノアリ其方法ハ旅行者ガ金ヲ預ケ入レタルトキハ當坐預リ金トナシ豫メ受取ルヘキ場所ト金額ヲ指定例ハハ四日市ニテ五十圓名セシメ且古屋ニテ百圓ト云フカ如シ望ニ應スル小切手例ハハ名古屋ニテ受取ルヘキ百圓ハ五十幾枚ヲモ振出サシメ其小切手ニ銀行カ仕拂保證ヲ爲シテ之ヲ本人ニ交付シ而シテ右指定ノ場所ニ在ル支店若クハ取引銀行へ案内ヲ發シ置クモノトス然ルトキハ旅行者ハ其所要ノ金員ニ相當スル小切手ヲ以テ到ル處ノ銀行ヨリ受取り之ヲ仕拂ヒタル銀行ハ其小切手

引上ケ之ヲ仕拂保證セシ銀行へ回送スルノ方法ナリ左レハ所謂巡回手形トハ異リ始メ預リタルトキハ特別當坐預金ト稱シテ當坐預金ニ混入シ又仕拂ヒタル銀行ハ他銀行仕拂保證ノ小切手ヲ仕拂ヒタルト爲スナリ而シテ其預ルヘキ金額ニハ制限ヲ設ケ無利息無手數料コト取扱フ之ヲ前者ニ比スレハ其方法異ナルノミナラス便否ニ至テモ亦大差アルカ如シ

株主勘定

(一) 資本金

資本トハ銀行ノ營業元金ヲ云フ銀行ヲ設立スルヤ株式會社組織ノ如キハ其營業ノ方法ニ依リ幾干ノ資本ヲ要スヘキヤハ豫メ定メ置カサル可ラスト雖モ開業ノ當初ヨリ其全額ヲ拂込マシメテ急ニ之ヲ運用スルコト能ハサルトキハ不利ノ甚シキモノナルヲ以テ業務ノ發達ニ從ヒ漸次ニ拂込マシムルヲ通例トス例セハ資本金額ヲ百万圓ト定メタルトキハ先ツ其四分ノ一即チ二十五萬圓位ヲ拂込マシメ暫時營業ノ上時機ヲ計リ必要アル毎ニ殘額ヲ拂込マシム此場合ニ於テ資本金百万圓ハ銀行ノ負債ニ屬スルモノナリト雖モ拂込未濟ノ金額七十五萬圓ハ銀行カ株主ヨリ徵收シ得ヘキモノナ

ルキ以テ銀行ノ資産タリ故ニ別ニ拂込未済資本金ナル一科目ヲ設ケ資本額ト拂込未済ノ資本額トヲ明ニ區別スルヲ要ス而シテ此拂込未済資本金ナル科目ハ株主勘定ニ属スルハ勿論ナリト雖モ此一科目丈ハ資産ノ部ニ立ツモノトス

(二)積立金

積立金トハ營業上ノ失敗若クハ不慮ノ災害ニ遇ヒ非常ノ損失ヲ來タシ爲メニ資本金ヲ減スルニ非サレハ之ヲ償フ能ハサルカ如キ場合ニ備フル爲メ每期利益金ノ内幾分ヲ積立ツルモノヲ云フ凡ソ何業ヲ論セス自家ノ營業ハ如何ニ堅實ヲ守ルトモ外間ノ刺撃ハ避ク可ラス時トシテ意外ノ損害ヲ蒙ムルコトナキ能ハサレハ陰雨ニ先チテ網繆ノ策ヲ立テサル可ラス殊ニ銀行ノ如キ財路ノ要衝ニ立ツモノハ可成的此積立金ノ増殖ヲ謀リ益其資力ヲ鞏固ニシテ世間ノ信用ヲ得ルコトニ勉ムルヲ要スルナリ

(三)別段積立金

別段積立金トハ營業用ノ家屋ヲ新築シ或ハ地所ヲ購買スル等ノ費用ニ充テテ爲メ特ニ每期利益金中ヨリ積立ツルモノニシテ之ヲ前項積立金ト區別スルカ爲メ此科目ヲ設ケルモノトス而シテ此科目中ニハ從前増株募集ノ過剰金及ヒ新株主

持込金ノ如キモノヲ銀行ト株主トノ協議ヲ以テ別段ニ積立テシモノ或ハ公債證書價格ノ非常ニ下落セシトキ其自己ノ所有ノ公債證書ニ及ホス損失ハ恰モ自己ノ資本ヲ減殺セルト一般ナルヲ以テ此ニ慮ルアリテ之カ準備トシテ積立テタルモノ等ヲ包含セリ

(四)滯貸準備

滯貸準備トハ貸付金ノ内借主カ手元ノ部合ニ依リ期限ヲ經過スルモ返済スルコト能ハス途ニ公ケノ手續ヲ履ムニ至レルモノ滯貸付金ニシテ其結果貸付金ノ全部或ハ幾分ノ損失ヲ生スヘキ見込アルトキ之ヲ償ハンカ爲メ利益金中ヨリ準備トシテ引去リ置クモノヲ云フ

(五)配當金

配當金トハ每期利益金ノ内ヨリ其利益ノ多寡ヲ計リ株主又ハ出資者ニ分配スルモノヲ云フ

(六)未拂配當金

未拂配當金トハ受領者ノ都合ニ依リ一期間ヲ經過スルモ猶ホ受取テ了セサル配當金アリタルトキ之ヲ當期ノ配當金ト區別シテ整理センカ爲メ其仕拂未済ノ額

ヲ配當金ノ科目ヨリ移シタルモノヲ云フ

(七) 役員賞與金

役員賞與金トハ每期利益金ノ内ヨリ諸役員ニ精勤ノ賞トシテ分與スルモノヲ云フ

(八) 前期繰越高

前期繰越高トハ前期ノ利益金ヨリ積立金、準備金、役員賞與金及ヒ配當金等ヲ引去リタル殘高ヲ当期ニ繰越シタルモノヲ云フ蓋シ配當金ハ株主タルモノ率テ其收入ヲ豫算シテ家事ノ設計ヲ立ツルモノナレハ每期ノ配當金ヲシテ甚シキ程度アラシメハ爲メニ其豫算ヲ誤ラシムル而已ナラス銀行ノ信用ニモ關スルコトナルカ故利益金ハ濫ニ株主ニ分與セスシテ其幾分ヲ後期ニ繰込ミ以テ些少ノ損失アリトテ俄ニ配當金ヲ減少スルカ如キコトナキヲ慮ラサル可カラズ而シテ其繰越スヘキ金高ハ當季間運用シタル預リ金ニ對シ未タ仕拂ヲ了セサル利子及ヒ其貸出金ノ利息又ハ割引料ニシテ後期ニ亘ル分ヲモ合セテ前收シ純然之ヲ当期ノ利益ト見ル可ラサルモノ等ヲ見積リ之ヲ準備トシテ其額ヲ定ムルハ一ノ良法ナル可シト信スルナリ

本科目ノ性質ハ利益金分配ノ殘餘ヲ繰越シ以テ後期ノ利益ヲ補加スルモノナレハ其繰越高ノ内ニハ自然每期ノ配當金ヲシテ大差ナカラシメン爲メノ準備ヲモ包含セシムルコト現今一般ノ慣例タリ然レトモ仕拂未濟ノ預リ金、利子ノ如キ或ハ後期ニ亘ル割引料ノ如キハ之ヲ当期利益金ノ内ヨリ引去リ別ニ未拂預金、利子、後期分既收割引料ノ科目ヲ設ケテ負債勘定ニ編入シ又配當金ノ平率ヲ得セシメンカ爲メニハ配當平均準備積立金ノ科目ヲ設ケ以テ其區別ヲ明カニスルハ良計算法ト云フヘシ配當平均準備積立金及後期分既收割引料ノ二科目ハ已ニ之ヲ設ケル銀行往々ニシテ見ル所ナリ

借入金勘定

(一) 借入金

銀行ハ通貨ノ媒介者ニシテ直接ニ興業殖産ノ目的ヲ以テ其資本ヲ一事一業ニ使用スヘキモノニ非ス故ニ甲ノ餘財ヲ預リテ乙ノ需要ニ供シ丙ニ需要アレハ丁ノ遊資ヲ移シテ之ニ給シ務メテ金融ヲ調和スルノ間ニ於テ利ヲ求ムルモノナレハ其貸借ハ常ニ均調ヲ失フ可ラサル筈ナレトモ固ト金融ニ常勢ナケレハ時ニ手元金ノ欠乏ヲ告グルコトナシトセス斯ル場合ニ於テ一時他ヨリ借入金ヲ爲スコトア

リ或ハ他ノ銀行へ當坐預金ヲ爲シ置キ其過振出ヲ爲スコトモアリ之ヲ借入金ト云フ

支店及他店勘定

上來說明シタル諸勘定科目ノ差引殘高ハ毎ニ單ニ借或ハ貸ノ一方ニ現ハレ以テ純然資産若クハ負債ヲ表示スルモノナレトモ支店及他店ノ二勘定ハ其取引ノ場合ニ依リ時ニ借トナリ或ハ貸トナリ又一方ノ支店又ハ他店ニハ貸トナルモ他ノ支店又ハ他店ニハ借トナルコトアリテ毎ニ其差引殘高ハ單ニ借貸一方ニ現ハルハモノニ非サルナリ

支店勘定ハ支店ニ對スル貸借ヲ知ルカ爲メニ設クル勘定科目ニシテ其函館ニ支店アレハ函館支店長崎ニ在レハ長崎支店ト云フ如ク其店名ヲ科目ト爲シ一支店毎ニ貸借ヲ現ハスモノトス今本支店間双方ニ於テ行ハルハ勘定取引ノ重モナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 電信及普通送金爲換ノ取組ヲ爲スニ在リ
- 一 他所割引手形他所代金取立手形等ノ代金取立ヲ委託スルニ在リ
- 一 荷爲換ノ取組ヲ爲スニ在リ

他店トハ所謂コレレスボンデンスニシテ豫メ約束ヲ結ビ双方ノ間ニ勘定取引ヲ爲ス他ノ銀行ヲ云フ此取引銀行ニ對スル貸借ヲ知ルカ爲メニ設クルモノヲ他店勘定ト稱シ其取引銀行ノ名稱ヲ科目トシ一銀行毎ニ貸借ヲ現ハスモノトス而シテ双方ノ間ニ行ハルハ取引ノ重モナルモノハ本支店間ノ取引ト同一ナリトス本店ト支店又ハ他店トノ間ニ取組ミタル取引ハ勿論取組マレタル取引ノ結果ハ其都度之ヲ報告スルノ外毎週乃至十日目毎ニ貸借ヲ詳記セル勘定書ヲ發シ双方帳簿ノ突キ合せヲ爲スモノトス

損益勘定ニ屬スル部

此勘定ニ屬スル科目ハ只一回ノ交換ニ於テ權利義務共ニ消失シ其物ヲ以テ再ヒ交換ノ用ニ充テ得ヘカラス故ニ之カ借トナルモ我ニ何物ヲモ償ハサルヲ以テ損失トシ之カ貸トナルモ我ハ何物ヲモ償フニ及ハサルヲ以テ利益トス然レトモ此無形物ハ物件ノ價值ヲ上下セシメシ力カ或ハ資本若クハ人ノ勤勞ノ如キ生産ノ爲メニ消費セシカ將タ使用セシカ兎ニ角銀行ノ資産負債ヲ増減セシメタル力ヲ表示スルモノナレハ結局株主勘定中ニ編入セラレ以テ其影響ヲ銀行ノ資本ニ及ホスモノトス故ニ又資産負債ニ屬スル勘定ヲ本勘定ト稱シ損益ニ屬スル勘定ヲ

假勘定トモ云フ是レ其損益勘定ハ資産負債ヲ増減セシ筋途ヲ知ルカ爲メニ設ケラル、科目タルヲ以テナリ

(一)利息

此科目ハ貸付金、荷爲換手形預ケ金及ヒ當坐預金貸越等ノ預定ヨリ收入シタル利息或ハ定期預リ金、當坐預リ金及ヒ借用金其他ノ勘定ニ對シ仕拂ヒタル利息ヲ云フ

(二)割引料

此科目ハ約束手形又ハ爲換手形ヲ割引セルトキ前収シタル利息或ハ再割引ヲ爲シタルトキ前拂ヒテナシタル利息ヲ云フ

(三)手数料

銀行カ収入スル手数料ニハ種々アリ手形ノ代金取立ヲ依頼サレタルトキ、ノ取立手数料アリ會社株金ノ拂込又ハ配當金ノ拂渡方等ノ依頼ヲ受ケシトキ、ノ取扱手数料アリ送金爲換ノ依頼アリタルトキ取ムル手数料アリ又或事件ヲ他人ニ委託シタルカ爲メ仕拂ヒタル手数料等皆此科目ニ包含セラル、モノトス
送金爲換ノ手数料ハ一ニ爲換打歩ト唱へ又其打歩ニ本逆ノ稱アリ手形ヲ仕出ス

方ヨリ打歩ヲ拂フヲ本打ト云ヒ金員ヲ仕拂ヒ爲換ヲ依頼スル方ヨリ打歩ヲ拂フヲ逆打ト云フ是レ甲乙兩地貸借ノ都合ト金融ノ緩急トニ由リ起ルモノニシテ十日目又ハ二十日目ニ仕拂フ爲換ナルトキハ多少ノ猶豫アルヲ以テ多ク本打ヲ以テ取引セラル、コナレトモ金融太タ閑ニシテ其手元ニ余剩アルトキハ十日目日目爲換ト雖モ逆打タルコアリ又甲乙兩地ノ爲換或ハ貸或ハ借ニ偏倚スル場合ニ於テハ其貸借ノ平均ヲ得セシメンカ爲メ或ハ逆打ヲ拂ヒ或ハ本打ヲ拂フコアリ然レトモ是ハ專ラ銀行同業間ノ爲換カ或ハ一般ノ依頼ニ於テモ多額ノ送金ヲ爲ス場合ニコソ然レ通例ノ送金ハ皆逆打ニシテ送金依頼者ヨリ手数料ヲ仕拂フヲ常トス

(四)公債利息

銀行所有ノ國債証券又ハ地方債証券ヨリ得タル利息ヲ云フ

(五)公債賣買損益

銀行ノ國債証券又ハ地方債証券ヲ賣買シ之ヨリ生シタル損益ヲ表示スルモノトス

(六)公債的籤損益

國債証券又ハ地方債証券ノ償還アリテ其内銀行所有ノ分的籤シタルトキ之ヨリ生シタル損益ヲ表示スルモノトス

(七)創業入費

創業入費トハ銀行創立中ニ費シタル金員ノ内損失ニ属スヘキ諸入費ヲ一括シタルモノニシテ創業總會ニ於テ其支拂ノ承認ヲ經タルモノヲ云フ故ニ本科目ハ銀行設立後第一回ノ決算ニ於テ消滅スルモノトス

(八)交付打歩

銀貨ヲ紙幣ト引換ヘ又ハ紙幣ヲ銅貨ト引換ユル等ノトキ収入シ或ハ仕拂ヒタル打歩ニシテ所謂兩替ノ切り賃是ナリ

此他損益勘定ニ属スル科目ハ給料、旅費、雜費、諸損、雜益、諸稅等種々アレトモ此等ハ讀ンテ其字ノ如ク敢テ説明ノ要ナケレハ之ヲ省略ス

勘定科目ノ起ラサル業務

上來ノ説明ニ於テ本法ニ用ユル勘定科目ノ大概ヲ盡シタレハ此ニ銀行業務中勘定科目ノ起ラサルモノ即チ直接ニ銀行ノ資産負債及ヒ損益ニ關係ヲ及ホサハル取引ヲ示ス可シ

一保護預リ

保護預リトハ公債證書、銀行會社株券或ハ古金銀ノ如キ貴重ナル物品ヲ保護ノ爲メ預リタルモノニシテ是亦銀行業務ノ一ナレトモ銀行ハ只其物品ヲ保藏スルノ責ニ任スル而已ニシテ銀行カ其物ヲ所得トシテ自由ニ取捌クヲ得ヘキ權利ヲ與ヘラレタルニ非ス故ニ其要件ヲ帳簿ニ記入シ置クハ勿論ナレトモ勘定科目ハ起ラサルモノトス

一代金取立手形

代金取立手形トハ商估カ其賣掛代金等ニ對シ振出シタル爲換手形ノ代金取立方ヲ委托セラレタルモノヲ云フ此手形ニ當所他所ノ稱アリ例ヘハ東京ノ甲商大坂ノ乙商ヨリ受取ル可キ勘定アルトキ甲商ハ爲換手形ヲ振出シ東京ノ銀行ニ依頼シテ手形面ノ金額ヲ取立テシム東京ノ銀行ハ其手形ヲ大坂ノ支店若クハ取引銀行ヘ送付スレハ大坂ノ銀行ハ手形ノ期日ニ至リ乙商ヨリ手形代金ヲ取立テ其旨ヲ東京ノ銀行ヘ通知ス然ルトキハ東京ノ銀行ハ其金額ヲ甲商ヘ拂渡スモノトス之ヲ東京ノ銀行ニ於テハ他所代金取立手形ト稱シ大坂ノ銀行ニ於テハ當所代金取立手形ト稱ス又東京ノ銀行カ大坂ニ於テ仕拂ハル可キ手形ノ割引ヲ爲シ其手

形代金ノ取立ヲ大坂ノ支店若クハ取引銀行ニ依頼スルコトアリ此場合ニ於テハ其手形ハ東京ノ銀行ニテハ他所割引手形ナレトモ大坂ノ銀行ニ在テハ只其手形代金ノ取立ヲ依頼サレタルマテナレハ前述ノ手形ト同シク之ヲ當所代金取立手形ト稱ス而シテ此代金取立ハ其手形ニ對スル權利カ委託ヲ受ケタル銀行ニ移轉セラルモノニ非サレハ銀行ハ之ヲ自己ノ所有物トシテ取捌クコトヲ得サルモノナリ故ニ其要件ハ帳簿ニ記入シ置カサル可ラスト雖モ直接ニ資産負債ヤ損益ニ關係ヲ及ホス取引ニハ非サルヲ以テ勘定科目ヲ起スニハ至ラサルナリ然レトモ我銀行ニ於テハ初メハ預代金取立手形等ノ科目ヲ設ケ手形ヲ預リタルトキ直チニ勘定ニ組入レタリシカ現今ニ至テハ之ヲ勘定ニ入レサルコトニ改メタルニ往々未タ舊法ヲ守リ當所代金取立手形又ハ他所代金取立手形等ノ科目ヲ起シ以テ銀行ノ負債勘定ニ組入レ居ルモノアルハ其意ヲ得サル所ナリ而シテ此手形ノ期日ニ至リ其代金ヲ取立テタルトキハ既ニ性体ヲ變スルモノナレハ東京ノ銀行ニテハ依頼者カ當坐預金ノ取引アルトキハ之ヲ其當坐預金ニ組入レ若シ其取引ナキトキハ別段預金トシテ預リ置クモノトス又地方ニ在テハ未タ手形使用ノ方開ケサル爲メ遠方ノ掛賣ニ對シテハ賣掛證書

ナルモノヲ作り其代金ノ取立ヲ銀行ニ依頼スルモノアリ銀行ハ其證書ヲ手形ト看做シ之ヲ代金取立手形ト稱ス

第三章 帳簿及記入

銀行事務ハ頗ル繁多ナルモノニシテ從テ其取引ヲ記載ス可キ帳簿モ亦多數ヲ要シ到底二三ノ人員ヲ以テ取扱ヒ得ヘキニ非ス故ニ業務ノ性質ニ依リ之ヲ各科ニ分擔シテ處理セサル可ラス今其分科及ヒ所屬ノ帳簿ヲ示セハ左ノ如シ

當坐預金係 當坐預金元帳

預金係 定期預金記入帳 ○ 別段預金記入帳 ○ 振出手形記入帳

貸付金記入帳 ○ 貸付金元帳 ○ 貸付金内譯帳 ○ 當所及擔保付割

引手形記入帳 ○ 割引手形元帳 ○ 荷爲換手形記入帳 ○ 取立荷爲

換手形記入帳

送金手形記入帳 ○ 仕拂送金手形記入帳 ○ 當所保証小切手記入

帳 ○ 當所代金取立手形記入帳 ○ 取立手形記入帳 ○ 支店勘定元

帳 ○ 他店勘定元帳

爲換係

株式係

株式賣買記入帳 ○ 株式元帳 ○ 株式番號帳 ○ 株式番號元帳 ○ 公債證券賣買元帳 ○ 保護預記入帳 ○ 抵當品記入帳

収拂係

金銀出納帳 ○ 金銀有高控帳 ○ 諸手形引換控帳 ○ 交換差引帳

用度係

雜費内譯帳 ○ 所有物内譯帳

計算係

日記帳 ○ 増補日記帳 ○ 日締帳 ○ 總勘定元帳 ○ 總勘定元帳差引
殘高帳 ○ 借用金記入帳 ○ 預ケ金元帳 ○ 損益勘定明細帳

以上ハ業務ノ性質ニ從ヒ之ヲ分科シタルモノニシテ尙ホ其事務員中ニハ一係毎ニ簿記方アリテ之カ帳簿ノ記入ヲ擔當スルモノトス然レトモ此等ハ銀行ノ大小ニ依リ業務ノ繁閑廣狹ニ依リ適宜分合兼攝セシムルコトヲ得ヘキナリ
凡ソ取引ヲ記載スル帳簿ニハ主要帳補助帳ノ二種アリ主要帳トハ勘定計算ノ骨幹タル可キモノナレハ各勘定ハ必ラズ此帳簿ヲ經由セサル可ラス補助帳トハ一勘定ニ就テノ明細ヲ登記シ以テ主要帳ノ補助ニ供スルモノトス即チ計算係ニ付屬スル日記帳増補日記帳日締帳及總勘定元帳ノ四種ハ主要帳ニシテ其他ノ帳簿ハ悉ク補助帳ヲリ又補助帳中貸付金元帳或ハ支店勘定元帳ト云ヘル如ク元帳ト名クルモノハ一勘定ニ就テノ一人別又ハ一勘定中ノ一科目毎ニ其借貸ヲ記入シ

其差引殘高ヲ知ルモノニシテ記入帳ト稱スルハ一勘定ヲ其取引ノアル毎ニ順次ニ附込ムモノトス左ニ重ナル帳簿ノ雛形ヲ示シ併セテ之カ記入ノ例ヲ示ス可シ
補助帳之部

○當坐預金—當坐預金元帳

三月一日 伊藤武平ト當坐預金取引ノ約束ヲ結ヒ本日金壹千五百圓ヲ預リタルニ付第一號通帳一冊並ニ第一號ヨリ五十號ニ至ル五拾枚綴ノ小切手帳一冊ヲ交付ス

三月五日 伊藤武平振出ノ第一號小切手金八百圓ヲ仕拂フ

當坐預金元帳

小切手帳番號

1-50

伊藤武平

貸越極度

明治廿八年	摘要	小切手番號	借方		貸方		借或貸	差引殘高	數日	積		利息割合	利		息
			借方	貸方	借方	貸方				借方	貸方				
3	現金ニテ			1,500,000			貸	1,500,000	4						
5	何ノ誰ヘ	1	800,000				借	700,000							
											6,000,000				

此元帳ハ當坐預金勘定ニ就テ一人別ノ明細ヲ知ルカ爲メ設クルモノナレハ其預

ケ主ナ口取トナシ其人ヲ主トシテ之カ貸借ヲ區別スルモノトス
 若シ前記八百圓ノ小切手ヲ持參シ仕拂保證ヲ乞フモノアルトキハ一旦伊藤武平
 ノ勘定ニハ摘要欄内ニ(仕拂保證)ト記シ其金額ヲ借方ニ拂渡ト同様記入シ且ツ別
 ニ(仕拂保證)ナル口取ヲ設ケ其摘要欄内ニ(伊藤武平小切手)ト記シ其金額ヲ貸方ニ
 預入ト同様記入ス可シ而シテ若シ其小切手ハ送金爲換ニ代用スルカ爲メ尙保證
 セラルモモノナルトキハ更ニ又下ニ示ス保證小切手記入帳へ記入スヘシ
 又若シ同人ト貸越ノ約定アリテ今其預リ殘高ハ七百圓ナルニ尙ホ八百圓ノ小切
 手ヲ振出シタルトキハ百圓丈ハ貸越金額トナル故ニ其差引殘高百圓ハ借方ニ現
 ハス可シ

利息ハ預リタル當日ヨリ仕拂ヒタル前日迄日歩勘定ヲ以テ計算スルモノナレハ
 例ノ如ク積數ヲ算出シ之ニ利率ヲ乘スレハ其利金ヲ得ヘシ

○定期預金—定期預金記入帳

三月一日 藤井照道ヨリ定期預金八百圓ヲ受取ル證書番號一號職業醫師期限三
 ケ月利息年五分住所本郷根津
 六月一日 藤井照道ヨリ定期預金八百圓本日期日ニ付元利共拂渡ス

定期預金記入帳

明治 廿八年 番號	預ケ主	職業	住所	金額	期限	期日	利率	利息	額 月日	摘要
3 1 1	藤井照道	醫師	本郷根津	800,000	三ヶ月	6月1日	年五分	10,000	6月1日	元利共仕拂フ

○別段預金—別段預金記入帳

三月一日 桐島庄一ヨリ別段預金五百圓ヲ受取ル證書番號一號職業商無利息ノ
 約束住所下谷茅町
 三月四日 桐島庄一ヨリノ別段預金五百圓ヲ仕拂フ

別段預金記入帳

明治 廿八年 番號	預ケ主	職業	住所	金額	利率	利息	額 月日	摘要

*(此帳簿へノ記入ハ前項定期預金記入帳へ記入ノ例ニ據テ推知ス可シ)

○振出手形—振出手形記入帳

三月一日 草野安吉金八百圓ヲ持參シ一枚金二百圓ツ、ノ振出手形四枚ヲ製セ
 ンフナ乞フ手形番號一號ヨリ四號マテ

三月六日 草野安吉宛振出手形第二號金二百圓ヲ仕拂フ
振出手形記入帳

明 治 廿八年	手 形 番 號	依 頼 主	金 額	額 月 日	摘 要
	1	草野安吉	200	3	誰ハ仕拂フ
	2	"	200	6	
	3	"	200		
	4	"	200		

○貸付金—貸付金記入帳○貸付金元帳○貸付金内譯帳

三月二日 山村龜榮米商ノ金二千四百圓ヲ貸付ス證人立花勘藏期限六十日利息
日歩三錢擔保品山陽鐵道株式會社株式八十株證書番號一號

四月卅日 山村龜榮ノ貸付金期日ニ付元利共受取ル

貸付金記入帳

明 治 廿八年	借 主 番 號	元 帖 内 譯 帖 丁 數	證 人 職 業	金 額	擔 保 品	價 格 期 限	期 日	利 子 割 合	利 息	摘 要
	321	7	立花米商	2,400	山陽株八十株	三十四圓	六十日	43	200	期日元利共入金

貸付金元帳
山村龜榮

明 治 廿八年	摘 要	貸 出	返 金	殘 高
32	第一號	2,400		2,400
430	期日返却		2,400	0

*(貸付金元帳欄外ノ上方7ノ文字ハ元帳ノ丁數ヲ示シタルモノト知ル可シ)

貸付金ハ都合ニ依リ其返金ノ延期ヲ許スコアリ此場合ニハ期日迄ノ利息ヲ收メ
別ニ延期證書ヲ差入レシムルモノトス故ニ記入帳摘要欄内ニ其旨ヲ記シ而シテ
新ニ貸付ケタルト同シ更ニ記入帳ニ記載スヘシ但シ元帳ハ依然其儘ニテ可ナ
リ然レトモ若シ證書ノ書替ヲ爲ストキハ其旨ヲ記入帳ノ摘要欄内ニ記入シ更ニ
貸付ケノ記入ヲ爲スハ勿論元帳ニ於テモ摘要欄内ニ「書替」トシテ一旦返済シテ更
ニ貸付ケタルト同様ニ記入スルモノトス

貸付金ハ其期日迄ニ幾度ニモ分割シテ返済スルヲ許スコアリ或ハ担保品ノ内出
チ爲ストキ代リ金ノ差入ヲ許スコアリ或ハ担保品ノ差替ヲ許スコアリ此等ノ場

合ニハ到底記入帳ニテハ詳細ヲ記載スルヲ能ハス故ニ別ニ其内譯帳ヲ製シ置キ一人毎ニ口取ヲ設ケ斯ル取引ノ起リタルトキ該簿ニ記入帳ヨリ要項ヲ寫シ以テ内入金ノ差引及ヒ担保品ノ出入等ヲ知ルニ便ス可シ而シテ本簿へ其要項ヲ寫スニ方リ之カ丁數ヲ記入帳へ掲クルトキハ相方對照スルノ便アル可シ其雜形左ノ如シ

貸付金内譯帳
何之誰

明 治 年	番 號	摘 要	担 保 品	金 額	入 金	類 號	日 數	利 息

○割引手形—割引手形記入帳○割引手形元帳

三月三日 大山五郎へ金三千八百圓ノ約束手形ノ割引ヲ約シ割引料日歩二錢八厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ仕拂フ手形番號二六號仕出人井田榮造日付三月一日期日四月十一日

四月十一日月大山五郎へ割引シタル手形本日期日ニ付手形面金額三千八百圓井

田榮造ヨリ受取ル

當所割引手形記入帳

明 治 年	手 形 番 號	手 形 日 付	割 引 依 頼 人	元 帖 丁 數	手 形 仕 拂 入	手 形 金 額	期 日	割 引 日 數	步 合	割 引 料	類 號	日 數	未 取 票				
3	3	26	3	1	大山	9	井田	3,800—	4	11	40	二錢八厘	42	560	4	11	期日消却費

右割引シタル手形ハ當所ニテ仕拂ヲ受ケルモノナレハ是レ當所割引手形ナレトモ若シ他ノ地方ニテ仕拂フヘキ手形ヲ割引シタルトキハ別ニ記入帳ヲ製シ之ヲ他所割引手形記入帳ト稱シ而シテ數多ノ地方ニ支店又ハ取引銀行ヲ有スル銀行ニ在テハ其一地方毎ニ記入帳ヲ區分シテ之ヲ記載スルヲ要ス

割引手形元帳

9

大山五郎

明 治 年	摘 要	貸 出 高	消 却 高	殘 高
3	3	當所廿六號	3,800—	
4	4	消却		3,800—
			3,800—	0

三月十四日 東京仕出第一號荷爲換手形本日期日ニ付岡野熊太郎ヨリ手形面金額二千三百八十圓ヲ受取ル

取立荷爲換手形記入帳

明治 廿八年	手形 番號	口	荷受主振出人	金額	物品	保險金	船名	期日	引受 月日	延滞 日數	延滞 利息	取 月日	立 取

○送金手形一送金手形記入帳○仕拂送金手形記入帳

三月五日 大場多市ヨリ大阪向ケ送金手形金四百圓ヲ受取ル手形番號一號名宛人高麗橋通リ小西増吉期限參着拂手數料百圓ニ付金三錢

送金手形記入帳

明治 廿八年	手形 番號	依頼人	受取人	期日	金額	割合	手數料	摘要	
3	5	1	大場多市	小西増吉	參着	400	1	川錢	120

右送金手形ヲ振向ケタル通知大阪ノ支店若クハ取引銀行ニ着スルトキハ同地ノ銀行ハ之ヲ仕拂送金手形記入帳ニ記入スルモノトス

仕拂送金手形記入帳

明治 廿八年	手形 番號	手形 付日	受取人	依頼人	期日	金額	摘要

右送金手形及仕拂送金手形記入帳ハ各地方毎ニ區分シテ記入ス可シ

○送金爲換代用支拂保證小切手一當所保證小切手記入帳○他所保證小切手記入帳
手記入帳

三月七日 伊藤武平ノ請求ニ依リ同人振出第二號小切手四百圓ヲ大坂向ケ送金トシテ支拂フ保證番號一號

他所保證小切手記入帳

※(他所ニ於テ支拂ハル小切手ナルヲ以テ他所ノ名ヲ冠ス)

明治 廿八年	保證 番號	振出人	小切手 番號	仕向先	金額	摘要
3	7	1	伊藤武平	2	大坂銀行	400000

右保證小切手ヲ向ケタル旨大坂ニ在ル支店若クハ取引銀行ニ通知スルトキハ大坂ノ銀行ニ於テハ是レ當所ニテ支拂フ小切手ナルヲ以テ之ヲ當所保證小切手記

入帳へ記入シ置クモノトス

當所保證小切手記入帳

明治廿八年	保証書	保証銀行	振出人	金額	摘要
	1	東京銀行	伊藤武平	400,000	

○代金取立手形—當所代金取立手形記入帳○他所代金取立手形記入帳
 三月八日 岡崎修造ヨリ他所代金取立手形一通ヲ預カル手形番號一號振出人同
 人仕拂人大阪今橋坂野善吉手形日付三月六日日期日四月二十日金額七百八十圓
 他所代金取立手形記入帳

(此記入帳ハ各地方毎ニ區分シテ記入スルヲ要ス)

明治廿八年	手形日付	預托人	手形仕拂人	金額	期日	割合	手数料	摘要
38136	岡崎		坂野	780-	420			

右ノ手形ヲ大坂ニ轉送スルトキハ大坂ニ在ル支店若クハ取引銀行ニ於テハ之ヲ
 當所代金取立手形記入帳ニ記載スルモノトス、

當所代金取立手形記入帳

(此記入帳モ亦取組ミタル各地方毎ニ區分シテ記入スヘシ)

明治廿八年	摘要	手形日付	仕拂人	預托人	金額	期日	摘要
3101	普通	36	坂野	岡崎	780-	420	

前項ノ如キモノヲ普通代金取立手形ト稱シ他所割引手形ノ取立ヲ委托サレタル
 モノヲ割引代金取立手形ト稱ス其區別ヲ本簿ノ摘要欄内ニ記入シテ知リ易クス
 可シ

手形所持人ニシテ目下割引ヲ爲スノ要ナク又期日マテ之ヲ手元ニ存シ期日ニ至
 リ取付ヲ爲スノ勞ヲ省クカ爲メ其地ニ於テ仕拂ハル、手形ニテモ之ヲ自己ノ取
 引スル銀行ニ預ケ其取立ヲ依頼スル者アリ是亦當所代金取立手形ナレトモ他方
 ヨリ委托サレタル取立手形ト區別スルカ爲メ單ニ取立手形ナル名ヲ冠シタル記
 入帳ヲ製シ之ニ記載ス可シ

三月八日 下谷島谷孝太郎ヨリ代金取立ノ爲メ約束手形一通ヲ預ル手形番號六
 號仕出人京橋秋山昌次期日五月三日取立手数料ナシ手形日付三月四日金額三

百六十圓

取立手形記入帳

明 治 年	手 形 類	手 形 日 付	番 號	預 托 人	仕 拂 人	金 額	期 日	割 合	手 數 料	摘 要

○株式—株式勘定元帳○株式賣買記入帳

三月一日 豊川良造ヨリ同人引受ノ株式二百株ニ對シ本日其全額拂込ヲ爲ス此
金壹萬圓株式番號一號ヨリ二百
號ヨリ一號五十圓券

六月三日 田中篤三郎ヨリ豊川良造ノ所有株式ノ内三十株買取リタルニ付右名
義書替ノ請求アリ此賣渡代價百圓ニ付百二十圓ノ割株式番號十號ヨリ十九號
迄十株廿一號ヨリ四十號迄二十株

株式賣買記入帳

明 治 廿八年	譲渡人 元帖 丁數	所得人 元帖 丁數	株式 番 號	株 數	枚 數	券 面 高	相 庭	代 價	書 替 手 數 料	摘 要
6	3 豊川良造	1 田中篤三郎	10-19	10	10	500,000	百二十圓	600,000		
"	"	"	21-40	20	20	1,000,000	"	1,200,000		

1 株式元帳
豊川良造

明 治 廿八年	摘 要	番 號 帳 丁 數	取 株 數	得 拂 込 金 額	讓 株 數	渡 拂 込 金 額	現 株 數	在 拂 込 金 額
3	1 全額拂込		200	10,000-			200	10,000-
6	3 田中へ				30	1,500-	170	8,500-

2 田中篤三郎

明 治 廿八年	摘 要	番 號 帳 丁 數	取 株 數	得 拂 込 金 額	讓 株 數	渡 拂 込 金 額	現 株 數	在 拂 込 金 額
6	3 豊川良造		30	1,500-			30	1,500-

株式番號帳

(何ノ誰) (何ノ誰)

年 月 日	番 號	讓 渡 年 月 日	年 月 日	番 號	讓 渡 年 月 日

此帳簿ハ株主カ所有スル株式券狀ノ番號ヲ知ル爲メニ備フルモノナレハ株式ヲ

得タルトキ一番號毎ニ記入シ若シ之ヲ他へ譲渡シタルトキハ其年月日ヲ當該欄ニ記入スヘシ然ルトキハ何ノ誰ノ現ニ所有スル株券ノ番號ハ何號ト何號ナルヤヲ直ニ知り得ヘシ

株式番號元帳

(第何號)

(第何號)

年月日	取得者	年月日	取得者

此帳簿ハ株式券狀一枚毎ニ其現所有者ヲ知ル爲メニ備フルモノナレバ株券ヲ發行シタルトキ其所有者ノ氏名ヲ記載シ置キ若シ之ヲ他人ニ譲渡シタルトキハ其年月日譲受人ノ氏名ヲ前所有者ノ氏名ノ下ニ記載スヘシ然ルトキハ第何號ノ株券ハ何人ノ手ニ渡リ居ルヤヲ知り得ヘキナリ

○公債證書—公債證書賣買元帳

三月一日 兜町仲又七ヨリ整理公債證書額面五千圓ヲ買入ル此買入相場百二圓
三月十日 茅場町小磯久次郎ヨリ整理公債證書額面八千圓ヲ百壹圓四拾錢ノ相

場ヲ以テ買入ル

四月十五日 濱町横田嘉兵衛へ整理公債證書額面六千圓賣渡ス此相場百二圓二十錢

四月二十日 蟬殼町池上才吉ヨリ整理公債證書額面三千圓ヲ百壹圓八十錢ノ割ニテ買入ル

公債證書賣買元帳
整理公債證書

明治廿八年	摘要	買相場	買入	賣出	面殘	平均相場	買入	賣出	格殘	損失	利益
3	1 件ヨリ買入	百二圓	5,000	—	5,000	百圓	5,100	—	5,100	—	—
"	10 小磯ヨリ買入	百一圓四拾錢	8,000	—	13,000	百一圓六拾錢	8,112	—	13,212	—	—
4	15 横田へ賣渡	百二圓二十錢	—	6,000	7,000	"	—	6,097 800	7,114 200	—	34 400
"	20 池上ヨリ買入	百一圓八十錢	3,000	—	10,000	百一圓六拾錢	3,054	—	10,168 200	—	—

右賣買元帳ハ各公債證書ノ名稱ヲ以テ口取ト爲シ其賣買損益ヲ知ルニ供スルモノトス而シテ公債證書ノ賣買屢々ナルトキハ之ヲ賣却スル毎ニ買入相場ニ據テ

損益ヲ知ルコト甚タ困難ノ業ナルヲ以テ平均相場ヲ立テ置キ之ニ比較シテ損益ヲ見ルモノトス即チ例ニ示スカ如ク賣渡相場ハ百二圓二十錢ニシテ此代價六千三百三十二圓ナレトモ平均相場ハ百壹圓六十三錢ナルヲ以テ六千九拾七圓八十錢ヲ賣渡高トシテ實際賣渡ノ代金ヨリ差引キ其差三十四圓四十錢ヲ利益トス公債的籤ノ場合ニ於テモ亦之ト同一ナリ

○預ケ金—預ケ金元帳

三月一日 手元有金ノ内一萬六千圓ヲ第一銀行へ當座預ケ金ト爲ス
 三月十一日 江口定藏へ公債證書買入元金トシテ金六千圓第一銀行第一號小切手ニテ拂渡ス

預ケ金元帳

第一銀行

(各預ケ先ノ銀行ヲ以テ口取トス)

明治廿八年	摘要	小切手 借方	借方	貸方	借方	差引殘高	日數	積數	利息
3月11日	現金		16,000			16,000			
	江口へ			6,000		10,000			

○借入金—借入金記入帳

三月十日 整理公債證書額面一萬圓ヲ担保ト爲シ金九千五百圓ヲ日本銀行ヨリ借入ル證書番號一號期日五月十日利息日歩二錢二厘

借入金記入帳

明治廿八年	借入先	金額	担保品 品名	數量	期日	日數	日數	日數	利息	摘要
3月10日	日本銀行	9,500	整理公債	券面一萬圓	5月10日	62	二錢二厘			

當座過振出ヲ以テ他銀行ヨリ借入ヲ爲シタルモノハ預ケ金元金ニ據テ之ヲ知ル可シ

○金銀勘定—金銀出納帳

○金銀有高扣帳
 三月二日 前日差引殘高四萬五千六百七圓二十錢六厘
 一 矢野芳造ヨリ定期預金トシテ金三千圓受取ル
 一 千明鶴松振出ノ小切手八百五十圓ヲ仕拂フ
 一 奥村又助へ金壹萬五千圓ヲ貸付ス
 一 遠田寛三ヨリ定期預金トシテ金七百圓内二百圓ハ他店小切手受取ル

諸手形引換控帳

明治 年 月 日

種類	番號	摘要	振出人	仕拂銀行	金額		月日	備考
					組合銀行	他店		
小切手	88	前日殘高			14,600-	8,500-		
		大谷當坐トシテ	三村君太郎	東洋銀行		1,250-		

右控帳ハ取引先ヨリ或勘定ノ入金トシテ受取リタル他店ノ切手手形ヲ記入スルモノトス其切手手形カ交換所組合銀行ノ分ナルトキハ其金額ヲ組合銀行ノ桁ニ記入シ組合外ノ銀行ニテ仕拂ハル、分ナルトキハ之ヲ他店ノ桁ニ記入ス可シ而シテ此兩桁トモ其日收入セシ高ト前日ノ殘高トチ合計シ又當日他店ニテ引換ヘシ高ト交換所ニテ引換ヘシ高トチ其當該桁合計ノ下ニ記入シ之ヲ差引シテ其日ノ殘高ヲ現ハス可シ然ルトキハ當日手元ニ殘リアル切手手形ノ高ハ組合銀行ノ分ニテ幾許其他ノ分ニテ幾許ナルヤヲ知り得ヘシ又此兩桁チ合算セハ金銀有高控帳ニ於ケル切手手形ノ金額ト符合ス可シ而シテ其殘高ハ例ニ示スカ如ク翌日ヘ繰越スモノトス

○ 抵當品記入帳

抵當品記入帳ハ各勘定ニ屬スル担保品及ヒ當坐貸越ノ根抵當品ヲ受取リタルトキ順次番號ヲ追ヒ一番號毎ニ區分シテ記入シ以テ其担保品ノ變動及ヒ現在ノ有様等ヲ知ルニ供スルモノナリ

明治 年	摘要	受入		拂		殘	
		品名	數量	品名	數量	品名	數量

(右担保品ノ屬スル勘定ト其人名トハ欄外ニ記入シ置クモノトス)

○ 期日帳

期日帳トハ銀行ニ於テ受取ルヘキモノ、取立チ爲スヘキモノ若クハ銀行カ仕拂チ爲スヘキ重要ナル勘定ノ期日ヲ逐日ニ記入シ常ニ支配人若クハ重要ナル係ノ手元ニ置キ以テ資金ノ差繰ヲ圖リ或ハ期日ヲ失念シテ手形取付ケチ遅延スル如キ恐レ無カラン爲メニ備フルモノトス即チ貸附金、割引手形荷爲替手形代金取立手形等及ヒ定期預金、借入金等ノ諸勘定ノ期日ヲ記入スルモノトス其雛形ハ左ノ如シ

期 日 帳
明治 年 月 日 何曜日

勘定科目	人 名	受取金高	勘定科目	人 名	仕拂金高

補助帳ノ中重ナルモノハ先ツ前述ノ如シ而シテ支店及ヒ他店勘定元帳ノ雛形及記入方ハ特ニ説明ノ要アルヲ以テ之ヲ後ニ譲リ今茲ニ主要帳ノ雛形並ニ其記入方ヲ示スヘシ蓋シ主要帳ノ体裁ハ各銀行同一ナレトモ補助帳ノ体裁ニ至テハ區々ニシテ主簿其人ノ考ニ依リ各銀行トモ少差アルヲ以テ右ニ示シタル雛形ハ予カ取引ノ要件ヲ記スルニ適セリト認メ作成セシモノ多シ學者敢テ之ニ泥マズ實地ニ當リ適宜ニ取捨シテ可ナリ

主要帳之部

○日記帳

日記帳ハ毎日行ハレタル諸勘定ノ貸借ヲ仕分ケ加フルニ取引ノ事由ヲ摘記シ一ハ以テ元帳ニ騰記スルノ便ニ供シ一ハ以テ營業取引ノ記録トシテ永久保存ノ爲

メ最モ必要アルモノナリ

例 三月三日營業取引

- 一 前日差引殘高金五萬六千八百二十九圓三十六錢五厘
- 一 錦戸右兵衛ヨリ定期預金六百五十圓現金ニテ受取ル
- 一 市村芳松へ金二千八百圓ヲ現金ニテ貸付ス
- 一 大友泰次へ金二千二百圓ノ手形割引ヲ爲シ割引料四十五圓二十錢ヲ引去リ差引殘金ヲ現金ニテ仕拂フ
- 一 河田大作へノ貸付金七百五十圓期日ニ付元利共受取ル
- 一 但内三百圓ハ武村貞一宛第三號振出手形殘高ハ現金利息二十六圓八十錢ナリ
- 一 長尾良助へ整理公債證書額面五千圓ヲ百圓六十錢ノ割ニテ賣渡シ代金現金ニテ受取ル此平均相場九十八圓六十五錢ナリ
- 一 山崎亮助へノ貸付金千二百圓本日期日ニ付元利共現金ニテ受取ル此利子金三十五圓四十錢ナリ

借方

日 記 帳
明治廿八年三月三日

貸方

振替勘定摘要	摘要	元帳勘定	振替勘定	現金勘定	總計	振替勘定摘要	摘要	元帳勘定	振替勘定	現金勘定	總計	
振出形	定期預金	15	650,000	650,000	650,000	貸付金	市村芳松	15	345,200	4,954,800	5,300,000	
	貸付金		800,000	450,000	1,250,000		割引手形			45,200	2,154,800	2,200,000
	河田大作			1,200,000	1,950,000		大友泰次		300,000			200,000
	山崎亮助						振出手形					
	整理公債證書			4,942,500	4,932,500		武村貞一					
	長尾真助			57,500	97,500							
	公債買損益											
	長尾真助			26,800	62,300							
	割引料			45,200	45,200							
	大友泰次											
利 息												
河田大作												
山崎亮助												
前日差引殘高			345,200	7,737,400	345,200	本日差引殘高			345,200	59,266,765	64,566,765	
			845,200	56,829,365	64,666,765				345,200	64,921,565	64,566,765	

右ノ記入方ニ依リ一見スルキハ勘定科目ハ單ニ借又ハ貸ノ一方ニミ現ハル、
 ナ以テ銀行簿記法ハ單式記入法ノ一ナランカト測定スル者アランカナレトモ決
 シテ然ラス此仕分ケハ如何ナル取引ト雖モ悉ク金銀ヲ相手ト爲スモノナレハ一
 科目カ借方ニ起レハ其相手ハ金銀ニシテ貸方トナリ又一科目カ貸方ニ記入セラ
 ル、トキハ其金額ハ亦金銀ノ科目ノ借方ニ包含スルモノトス即チ金銀ヲ影トシ
 テ其反對勘定科目ヲ取り貸借ヲ仕分ケタルモノナレハ銀行自身カ貸借ノ主ナル
 モノナリ故ニ今之ヲ總勘定元帳ニ移記スルニハ各勘定科目ノ總計金額ヲ其借方
 ニ在ルモノハ元帳當該科目ノ貸方ニ又日記帳ノ貸方ニ在ルモノハ元帳當該科目
 ノ借方ニ記入スル如ク反對ノ方ヘ記入スヘシ順次斯クノ如クシテ諸勘定科目ヲ
 移記シ終ラハ其日ノ取引ノ借貸合計即チ例ニ示ス借方總計金七千七百餘圓貸方
 總計金五千三百圓ヲ元帳金銀ナル科目ヘ借方ハ借方ヘ貸方ハ貸方ヘ其儘ニ移ス
 ヘシ然ルトキハ金銀ノ借方金額ハ諸勘定ノ貸方合計金額ト同シク諸勘定ノ借方
 合計金額ハ金銀ノ貸方金額ト同一ニシテ之ヲ元帳面ニ於テ見ルトキハ

諸勘定 借 5,300,000

金 銀 貸 5,300,000

金 銀 借

7,737^円400

諸勘定

貸

7,737^円400

トナリ依然複式記入法ノ形体ヲ成セルモノトス故ニ前章ニ於テ説明シタル如ク
 金銀勘定ハ單ニ現金ノ出納ノミナラス營業取引ノ總額ヲ示スモノナリトハ即チ
 此理由ニ原クモノト知ル可シ
 振替勘定摘要欄ニハ或勘定ト振替リタル相手ノ勘定科目ヲ記載シ若シ同勘定ト
 振替リタルトキハ借方ニハ只貸トシ貸方ニハ借ト記入スヘシ
 摘要欄ニハ勘定科目ヲ掲ケ其下ニ一取引毎ニ其勘定ノ起リタル事由、人名等ヲ記
 入スヘシ

總勘定元帳丁數桁ニハ摘要欄ニ於テ指示シタル勘定科目ノ金額ヲ總勘定元帳へ
 轉記シ終リタル證トシテ其元帳ニ於ケル當該科目ノ丁數ヲ記入ス可シ
 振替勘定桁ハ一取引毎ニ振替リタル勘定ノ金額ノミヲ記入ス故ニ此桁ノ合計金
 額ハ借貸相平均スルモノトス
 現金勘定桁ハ一取引毎ニ現金ニテ出納セル金額ヲ記入スルモノニシテ此合計額
 借方ハ金銀出納帳ノ收納高ニ又貸方ハ金銀出納帳仕拂高ノ合計ト符合ス可キモ

ノナリ

總計桁ハ一勘定科目毎ニ振替勘定ト現金受拂トチ合計セル金額ヲ記載シ總勘定
 元帳へハ其合計金額ヲ轉記スルモノトス
 日記帳ハ日々營業終結後ニ記入スルモノナルヲ以テ同勘定科目ニ屬スル取引ハ
 悉ク之ヲ同一科目ノ下ニ記載シ決シテ同シ科目ヲ再三設クルカ如キヲナキ様注
 意ス可シ

○總勘定元帳及同差引殘高帳

總勘定元帳ハ日々日記帳又ハ日締帳ニ於テ指示シタル勘定科目ヲ口取トシテ兩
 帳簿ヨリ移記シ以テ銀行全体ノ資産負債及ヒ損益ヲ知ルノ用ニ供スル最終結果
 ノ帳簿ナリトス而シテ之カ移記ノ手續ハ本簿ハ勘定科目ヲ主トスルモノナレハ
 日記帳又ハ日締帳ヲ締上ケ後一科目毎ニ貸借ヲ反對ノ方ニ記入シ其差引殘高ヲ
 算出シ一科目ヲ移シ終ラハ日記帳日締帳ニ移記濟ノ徴トシテ丁數ヲ記入ス可シ
 斯ノ如クニシテ悉ク騰記シ終ラハ總勘定元帳差引殘高帳ニ各科目ノ殘高ヲ借貸
 チ區分シテ記入ス可シ此帳簿ハ所謂試算表ト同一ナルモノナレハ其借貸ノ合計
 金額符合スルトキハ其日ノ記入ハ正當ニシテ誤謬ナキモノト認ムルモノトス

借方

明治廿八年三月五日

貸方

振換摘要	摘要	總勘定 元丁	金額	振換摘要	摘要	總勘定 元丁	金額
荷爲換	大坂支店		3,600	大坂支店	荷爲替手形		3,600
	山田万吉				下野直吉		
大坂支店	仕拂送金手形		820	大坂支店	大坂支店		820
	木村久壽太				吉田大作		
			4,420				4,420

○支店及他店勘定ニ屬スル部

支店勘定元帳 ○他店勘定元帳
支店勘定元帳ハ支店ニ對スル取引ノ決算ヲ知ルカ爲メニ用ユルモノニシテ數多
ノ支店ナ有スル銀行ニ於テハ一支店毎ニ之ヲ區分シテ記帳スヘシ又本簿ニハ支
店ヲシテ仕拂ヒ又ハ受取ラシムル取引ト支店ノ爲メニ仕拂ヒ又ハ受取ル取引ト
ヲ混同シテ記入スルトキハ亂雜ニ渉ルノ恐アルヲ以テ一支店勘定ヲ向口受口ノ

二口ニ區分シ前者ニ屬スル取引ヲ向口ニ記入シ後者ニ屬スル取引ヲ受口ニ記入
シ尙ホ其取引ノ決算ノ筋道ヲ知ルカ爲メ兩方ニ各左ノ科目ヲ設クヘシ

- 一 雜勘定
- 一 金銀勘定

送金手形又ハ荷爲替手形等ヲ取組ミタルトキハ本支店ノ間ニ貸借ノ關係ヲ生ス
ト雖モ其手形ノ代金ヲ實際支拂ヒ又ハ受取りタル上ナラテハ其取引ハ決算セラ
レタルモノニ非ス故ニ其決算ニ至ルマテ假ニ雜勘定中ニ記入シ置クモノトス
金銀勘定ハ本支店間取引ノ全ク決算ニ至リシ金額ヲ記入シ支店ヲシテ幾許ノ金
高ヲ仕拂ハシメ或ハ受取ラシメタルカ又支店ノ爲メニ幾許ノ金高ヲ仕拂ヒ或ハ
受取りタルカヲ知ルノ科目トス

某支店勘定元帳 (向口)
雜勘定

明治廿八年	月	日	摘要	借方	貸方	借方	貸方	差引	殘高
6	1	10	送手15號 三村君平			750	—		750
"	10	6	送手15號 送手仕拂濟	750	—				0

右記入ノ例ハ六月一日某支店へ向ケ送金手形七百五十圓ヲ取組ミタル取引ニシテ此取引ハ支店ヲシテ其手形ノ仕拂ヲ爲サシムルモノナレハ即チ向口雜勘定ノ科目ニ記入シタルナリ而シテ支店勘定元帳ハ其支店ヲ主トシテ貸借ヲ仕分クルモノナルヲ以テ之ヲ貸方ニ記入セリ

右手形ハ六月八日ニ於テ仕拂濟トナリタル報告同十日ニ到着セルモノトシ決算月日ノ桁ニ仕拂濟ノ日ヲ記入シ尙ホ其金額ヲ借方ニ記入シテ決算ヲ示シタルナリ而シテ又其金額ハ之ト同時ニ金銀勘定科目ノ貸方ニ移記セラル、モノトス

雜勘定 (受口)

明治廿八年	月	日	摘要	借	貸	方	貸	方	借	差引	殘高
6	5		送手13號 豊島庄一		600,000						600,000
			十三號 深井中 雜費				600,000				0

右記入ノ例ハ六月五日某支店ヨリ金六百圓ノ送金手形ヲ振向ケタル報知アリシトキノ記入ニシテ是ハ支店ノ爲メニ其手形ノ仕拂ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ受口雜勘定ノ借方ニ記入シ而シテ同八日ニ至リ之ヲ仕拂ヒシニ依リ貸方ニ其金額

ヲ記入シテ決算ヲ示シタルナリ又其金額ハ之ト同時ニ金銀勘定借方ニ移記セラレ、モノト知ル可シ
受口ニ於テハ決算ノ日ニ於テ直チニ之ヲ記入スルモノナレハ決算月日ノ桁ハ率チ其用ナキモノトス
荷爲換手形其他ノ取引モ右ノ例ニ據リ推考スルトキハ其記入方ヲ解シ得ヘシト雖モ本支店間取引ノ記帳ハ頗ル込ミ入りタルモノナレハ此ニ略式ヲ以テ二三取引ノ例ヲ示シ其貸借ト帳簿ノ關聯トヲ示ス可シ

例 東京本店ヨリ大坂支店へ向ケ金六百圓ノ送金手形ヲ取組ミタリ

左ニ黒字ヲ以テ記シタルモノハ其取引ノ起リタル時ノ記入ニシテ赤字ヲ以テ記シタルモノハ其取引ノ決算ノ場合ノ記入ヲ示シタルナリ

東京本店	
借	貸
大坂支店	600
總勘定元帳	
大坂支店	
借	貸
	600
支店勘定元帳	
(向口)	
雜勘定	
借	貸
600	600
金銀勘定	
	600

右取組ノ報知大坂支店ニ到達スルトキハ大坂支店ニ於テハ

大坂支店	
日 締 帳	貸
借	貸
仕拂送手 -600	東京本店 600 <i>仕手 600</i>
總勘定元帳	
借	貸
600	600
東京本店	
借	貸
600	
本店勘定元帳	
(受口)	
借	貸
600	600
金銀勘定	
借	貸
600	

右(黒字)ノ如ク記入シ置キ追テ其手形ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ日記帳貸方ニ仕拂送金手形ナル科目ヲ以テ其金額ヲ記入スルヲ以テ總勘定元帳ニ於テハ仕拂送金手形ハ差引無トナリテ單ニ「東京本店」ノ借方ニ残り又本店勘定元帳ニ於テハ赤字ノ如ク雜勘定ノ貸方ニ記入セラレテ是亦差引無トナリ只金銀勘定ノ借方ニ於テ其金額残り是ニ於テ總勘定元帳ト本店勘定元帳ト一致スルナリ

右仕拂濟ノ報告東京本店ニ到着スルトキハ本店ニ於テハ(赤字)ノ如ク支店勘定元帳雜勘定ノ借方ニ記入スルト同時ニ金銀勘定ノ貸方ニ其金額ヲ移ス可シ

斯ク記帳シ終リテ双方ノ帳簿ヲ對照スレハ總勘定元帳ハ本店ニ在テハ大坂支店

ノ貸方ニ六百圓支店ニ在テハ本店ノ借方ニ六百圓ノ殘高トナリテ一致シ本支店勘定元帳ハ本店ニ在テハ向口金銀勘定ノ貸方ニテ六百圓支店ニ在テハ受口金銀定ノ借方ニテ六百圓ノ殘高トナリテ双方ノ貸借相符合スルモノトス

例 東京本店ヨリ大坂支店ヘ向ケ金七百圓ノ荷爲換ノ取組ヲ爲ス

東京本店	
日記帳	
借	貸
	大坂支店 700
總勘定元帳	
借	貸
	大坂支店 700
支店勘定元帳	
(向口)	
借	貸
700	700
金銀勘定	
借	貸
700	

右荷爲換取組ノ報知大坂支店ニ到着スルトキハ同支店ニ於テハ

日 締 帳	
借	貸
東京本店 700	荷爲換手形 700
總勘定元帳	
借	貸
	東京本店 700
荷爲換手形	
借	貸
700	700
本店勘定元帳	
(受口)	
借	貸
700	700
金銀勘定	
借	貸
	700

右(黒字)ノ如ク記入シ置キ追テ取立テタルトキ日記帳借方ニ(荷爲換手形)ナル科目ヲ以テ受入ルヘシ然ルトキハ總勘定元帳ハ單ニ「東京本店」ノ貸方ニ殘高ヲ現ハシ本店勘定元帳モ「雜勘定」ハ差引無トナリテ只「金銀勘定」ノ貸方ニ殘高ヲ現ハシ以テ決算ノ有様ヲ示スモノナリ

右取立濟ノ報知東京本店ニ到着スルトキハ支店勘定元帳(雜勘定)ノ貸方ニ記入シテ差引無トナリ「金銀勘定」ノ借方ニ其殘高ヲ現ハシ以テ本支店間双方ノ帳簿ヲ對照スレハ其貸借ハ正シク一致符合ス可キナリ

例 一大坂支店仕拂保證ノ小切手八百圓ヲ仕拂フ

大坂支店ニ於テ割引ヲ爲シタル當所代金取立手形一千圓期日ニ付取

立テタリ

東京本店		大坂支店	
日記帳		日記帳	
借	貸	借	貸
大坂支店 代金手形 1000	大坂支店 小切手 800	總勘定元帳 大坂支店	支店勘定元帳 (受口) 金銀勘定
		800 1000	800 1000

右ノ報知大坂支店ニ到達スルトキハ同支店ニテハ

東京本店		東京本店	
日記帳		日記帳	
借	貸	借	貸
東京本店 小切手 800	當坐預金 800	東京本店	當坐預金
割引手形 1000	東京本店 割引手形 1000	1000 800	800
		當坐預金	割引手形
		800	1000
		本店勘定元帳 (向口) 金銀勘定	本店勘定元帳 (向口) 金銀勘定
		1000 800	1000 800

此二取引ハ右ノ記入ヲ以テ決算ヲ終ルモノトス此等ノ取引ハ送金又ハ荷爲換ノ如ク其取組タルトキト決算トキト兩度ニ勘定ノ起ルモノニ非ラス最初大阪支店ニ於テ某振出ノ小切手ニ對シ仕拂保證ヲ爲シタル旨本店ヘノ通知ハアリタルモ其小切手ハ矢張り大坂支店ノ當坐預金勘定中ニ在ルモノナルヲ以テ未ダ本支店間ニ貸借ノ關係ヲ生シタルモノニ非サルナリ然レトモ今東京本店ニ於テ之ヲ支拂ヒタルニ依リ始メテ本支店間ノ貸借勘定ヲ起シタルモノトス而シテ此取引ハ本店カ支店ノ爲メニ仕拂ヒタルモノニシテ其仕拂ヒタルトキ已ニ決算トナリタルヲ以テ支店勘定元帳ヘハ受口「金銀勘定」ノ借方ヘ直チニ記入シタルナリ

右仕拂濟ノ報告大坂支店ニ達スルヤ此取引ハ本店カ新ニ取組ミタルモノニハ非サルヲ以テ之ヲ日締帳ニ記入セズシテ日記帳ニ於テ其貸借ヲ仕分ケ(當坐預金ハ増補日記帳ニ記載スルモノナレトモ今直チニ日記帳ニ記載シタルハ其貸借ヲ見易カラシメンカ爲メ)而シテ本店勘定元帳ニ於テハ本店ニ仕拂ハシメタル取引ニシテ已ニ仕拂ヒ濟ミ決算終リタルモノナレハ直ニ之ヲ向口「金銀勘定」ノ貸方ニ記入スルナリ

割引手形ノ代金取立ハ最初大坂支店ニ於テ手形ノ割引ヲ爲スヤ此手形ハ東京ニ於テ支拂ハルヘキモノナルヲ以テ東京本店ニ回送シ其期日ニ代金ヲ取立テシコトヲ依頼シタルモノナリ故ニ此手形ハ支店ニ在テハ「割引手形」ナレトモ本店ニ在テハ只代金ノ取立ヲ委託サレタル迄ナレハ其手形ハ之ヲ記入帳ヘ記入シ置クノミニシテ勘定ハ起ラサルナリ然ルニ今期日ニ至リ其代金ヲ取立テタルヲ以テ此ニ始テ勘定トナリ支店ノ爲メニ受入レタル決算勘定ナルニ依リ之ヲ支店勘定元帳受口ノ「金銀勘定」貸方ニ記入シタルモノナリ

右取立濟ノ報支店ニ達スルヤ此手形ハ是迄割引手形トシテ支店所有ノモノニシテ先キニ之ヲ本店ヘ取立ノ爲メ送りタルトモ其當時ハ本店ニ對シ何等ノ貸借ナ

起シタルモノニ非ス然レトモ今取立濟トナレハ此ニ本店トノ關係ヲ生シ日記帳ニ於テ「割引手形」ト「東京本店」ト振替ヘノ仕分ケヲ爲サ、ル可ラス然ルトキハ總勘定元帳ニテハ是迄「割引手形」トシテ有リタル科目ハ差引無トナリテ「東京本店」ヘ貸トナリ又本店勘定元帳ニ於テハ本店ヲシテ受取ラシメタル取引ニシテ已ニ決算トナリタルモノナルヲ以テ之ヲ直チニ向口「金銀勘定」借方ヘ記入シタルナリ

此他ノ取引ハ以上ニ示シタル諸例ニ倣ヒ推考スルトキハ容易ニ之ヲ判別シ得ヘシ而シテ本支店間ニ生シタル各取引ヲ斯ノ如クニシテ記帳スルトキハ結局其支店勘定元帳ハ向口受口ノ兩方ノ「金銀勘定」ニ於テ差引殘高現ハル可シ其殘高ハ兩口トモ同ク借方ナルカ若シハ貸方ナルトキハ之ヲ合算セハ其金額ハ總勘定元帳「支店」ノ科目ニ於ケル差引殘高ト符合シ又向口受口兩方ノ殘高ノ借貸相反スルトキハ之ヲ差引セハ其金額ハ總勘定元帳「支店」ノ科目ニ於ケル差引殘高ト正シク符合ス可キモノナリ

又取引ノ場合ニ依リ向口受口ノ一方ハ借トナリ一方ハ貸トナリ其金高多額ニ上ルコトアルトキハ之ヲ相殺スルコト得ヘシ之ヲ爲替尻ノ振替ト云フ例ヘハ向口「金銀勘定」ノ借方ニ殘高二萬圓アリ又受口「金銀勘定」ノ貸方殘高ニモ二萬圓アリトセ

ハ總勘定元帳ニ於ケル「支店」科目ノ貸借ハ差引無トナリ居ルモノナルニ支店勘定元帳ニ於テ獨リ尙ホ殘高ヲ設ケ置クニハ及ハサルヲ以テ今之ヲ本支店何レカ一方ヨリ爲替尻ノ貸借ヲ振替ヘ此旨ヲ一方ヘ通知セハ其通知ヲ受ケタル方ニ在テモ之ヲ振替ユルニ於テハ双方トモ差引貸借無トナル可キナリ即チ若シ向口ノ殘高ヲ受口ヘ拂替ユルモノナルトキハ向口ヘ振替ノ旨ヲ記シテ其金額ヲ「金銀勘定」ノ殘高ノ反對ノ方ニ記入シ且ツ之ヲ受口「金銀勘定」ノ反對ノ方ヘ移記スルモノトス受口殘高ヨリ向口ヘ振替ユルモ亦之ニ同シ

○他店勘定元帳

他店勘定元帳ハ他店ニ對スル貸借ノ決算ヲ爲スニ供用スルモノトス其記帳方及帳簿ノ体裁ハ皆支店勘定元帳ト同一ナリ但他店トノ間ノ貸借ニハ双方トモ其爲替尻ニ對シ利子ヲ付スルヲ例トス而シテ此利子ノ計算ハ互ニ其受口ノ毎日ノ差引殘高ニ對シ其借トナリタルトキハ幾許其貸トナリタルトキハ幾許ト豫テ約束セル利子ノ割合ニ據リテ之ヲ算出スルモノトス固ト他店取引ハ相互爲替ノ受拂ヲ爲スモノナレトモ之ヲ仔細ニ考フレハ畢竟双方カ互ニ當坐預金ノ取引ヲ爲スト同様ナリ即チ向口ニ屬スル取引ニシテ他店カ受取ルヘキ勘定ナルトキハ是レ

恰モ己レノ當坐預金口ヘ預ケ入レテナルト同シク若シ又他店カ支拂フヘキ勘定ナルトキハ是レ己レノ當坐預金口ヨリ之ヲ引出スモノト等シ故ニ之カ利子ハ他店ニ於テ計算ス又受口ニ屬スル取引ニシテ其受取ルヘキモノハ他店ヨリ之ヲ預リタルト同ク又其仕拂フヘキモノハ預リ金ヲ拂戻スト等シ故ニ受口ノ利子ハ當方ニ於テ計算スルモノナリ然ルトキハ互ニ其向口ノ利子計算ハ之ヲ一ニ他店ニ任セテ更ニ之ニ關セサルカ如クナレトモ向口ニハ決算月日ヲ記シ又時々勘定書ヲ交換シテ互ニ帳簿ノ突き合セテ爲スヲ以テ他店ノ利子計算カ正當ナルヤ否ヤハ容易ニ檢算スルヲ得ヘキナリ

又他店トノ間ニハ爲替尻ノ振替ハ最モ必要ナルモノトス何トナレハ他店ヘ貸即チ預ケトナリシ金額ニ對シ收ムル利子ノ割合ハ他店ヨリ借即チ借越トナリシ金額ニ對シ仕拂フヘキ利子ノ割合ヨリ安キヲ以テ通例トス例ヘハ預ケノ利子ハ日歩五厘ナレトモ借越ノ利子ハ日歩一錢ト云フカ如シ此場合ニ於テ何日マテモ此儘ニ据置クトキハ不利甚シキニヨリ預ケ金ヲ以テ其借越ノ金額ヲ拂戻サ、ル可ラス是ニ於テカ爲替尻振替ノ必要生スルナリ又双方ノ間ニ約束ヲ結ヒ其借越トナルヘキ金額ニハ制限ヲ設ケルヲ通例トスルカ故ニ借越ノ高其制限ニ達スルト

キハ預ケ金ヲ以テ之ヲ消却シテ更ニ取引ヲ爲サ、ル可ラス是亦爲替尻振替ノ必要アル所以ナリ

○支店ト支店トノ取引

前項ニ於テ説明シタル支店及ヒ他店トノ間ニ起リタル取引ノ記入方チ會得セハ今此ニ尙ホ其複雑セル取引ノ記帳方チ述ヘサル可ラス即チ一銀行ニシテ二ヶ所以上ノ支店チ有シ其各支店間ニ起リタル取引ノ記帳方是レナリ
支店ト支店トノ間ニ生シタル取引ハ總テ之ヲ本店ノ帳簿ヘ記入シ常ニ本店ニ於テ各支店ノ勘定チ正確ナラシムル而已ナラス其取引ノ情况チ仔細ニ察知シ以テ之ヲ操縦監督セサル可ラス故ニ甲支店ニ於テ乙支店ノ爲メニ金圓チ仕拂ヒ又ハ受取リタルトキハ本店ノ爲メニ仕拂ヒ又ハ受取リタルト同様ナル記帳方チナシ又乙支店ニ於テモ本店チシテ金圓チ受取リ或ハ仕拂ハシメタルト同一ナル記帳方チ爲スモノトス今假ニ東京ニアル一銀行カ横濱大坂ノ兩地ニ支店チ置キ其兩支店間ニ一ノ取引起リタルモノトシ其本店及ヒ兩支店ノ記帳方チ示ス可シ
横濱ノ或商人大坂ノ取引先ヘ金一千圓送金シタキ旨チ横濱支店ヘ申込ミタリ依テ横濱支店ハ大坂支店ヘ向ケタル金一千圓ノ送金手形チ振出シ之ヲ交付セリ

横濱支店

借 日記帳 貸

東京本店 1000

總勘定元帳

借 東京本店 1000 貸

本店勘定元帳 (向口)

借 雜勘定 1000 1000 貸

金銀勘定

1000

各支店ノ本店勘定元帳ニハ本店ニ對スル取引ノミナラス他ノ支店トノ取引チモ記入スヘキモノナレハ錯雜ノ患チ避ケンカ爲メ本店ノ分ト支店ノ分トハ之ヲ區別シテ記帳スルチ要ス

横濱支店ハ右送金手形チ振出シタル旨チ大坂支店ヘ通知スルト同時ニ之ヲ東京支店ヘモ通知スルモノトス此通知到達セハ大坂支店ニテハ

大坂支店

借 日締帳 貸

仕拂送金手形 東京本店 1000 1000

總勘定元帳 仕拂送金手形

借 1000 1000 貸

東京本店

1000

本店勘定元帳 (受口)

借 雜勘定 1000 1000 貸

金銀勘定

1000

又東京本店ニ於テハ

東京本店	
借	貸
大坂支店 1000	横濱支店 1000
總勘定元帳	
借	貸
大坂支店 1000	
横濱支店 1000	
横濱支店勘定元帳 (受口)	
借	貸
雜勘定 1000	勘定 1000
金銀勘定 1000	
大坂支店勘定元帳 (向口)	
借	貸
雜勘定 1000	勘定 1000
金銀勘定 1000	

右ノ如ク記帳シ置キ然ル後大坂支店ニ於テ其手形ヲ支拂ヒタルトキハ大坂支店
 ニテハ日記帳貸方ヘ仕拂送金手形ノ科目ヲ以テ記載ス可シ而シテ仕拂濟ノ通知
 ナ横濱支店及ヒ東京本店ノ兩方ニ發スルモノトス其決算記帳方ハ前項説明ノ如
 クコシテ三店ノ帳簿ハ赤記シタル有様トナルナリ
 荷爲換其他ノ取引モ此送金手形ノ例ニ倣ヒ都テ本店ヲ相手ニ貸借ヲ仕分クヘシ
 而シテ代金取立手形及ヒ小切手ノ仕拂ヒノ如キ直チニ決算トナルヘキモノハ之
 ナ取立テ或ハ仕拂ヒタル支店ヨリ相手ノ支店及ヒ本店ヘ通知ヲ發スルモノトス
 其記帳方ハ右コ示シタル送金手形ノ例ニ準シ前項支店勘定記帳ノ例ト對照シテ

之ヲ了知ス可シ

○支店爲替尻借越金ノ利子

各所コ支店ヲ有スル銀行ニ在テハ支店ヲシテ其爲替尻借越額ニ對シ利子ヲ仕拂
 ハシムル内規ヲ設クルモノアリ凡ソ支店ノ主宰タル者ハ眼ヲ己レ一支店ノ利益
 ニノミ注カスシテ銀行全般ノ得失ヲ鑒ミ若シ自店ニ遊金ノ生スルアラハ直チニ
 本店ヘ回送シ本店ヲシテ之ヲ金融繁劇利得ノ優ル他ノ支店ヘ振向ケシメ以テ些
 少タリトモ銀行全体ノ利益ニ歸スル事ニ努メサル可ラサルヤ明ラカナリ然ルニ
 之ヲ謀ラスシテ只自己管理ノ支店ノミ業務ヲ擴張シ獨リ利益ノ多額ヲ得テ其功
 ナ矜ラントシ強テ資金ヲ自己ニ引付ケ偶々遊金ヲ生スルモ空シク手元ニ擁シ之
 ナ本店ニ回送スルヲ惜ムノ傾アルハ蓋シ人情ノ免カレサル所カ各支店滔々トシ
 テ皆然リ焉ソ知ラン其結果タル一支店ノ利益ハ巨額ナルカ如キモ銀行全体ニ
 於テハ却テ損失ヲ受クル者ナルヲ是レ他年ノ經驗ニ於テ銀行者カ猶ホ未タ其措
 置ニ苦ム處ナリ是ヲ以テ支店カ本店ヨリ借トナリタル金額ニ對シ利子ヲ仕拂ハ
 シメ之ヲ支店利益中ヨリ引去ルトセハ支店ニ於テモ其遊金ヲ藏スルノ不利ナ
 ルヲ以テ一日モ早ク本店ヘ送金スルニ至リ因テ以テ幾分其空藏ノ弊ヲ矯正スル

ヨリ切手手形ノ商業社會ニ行ハル、一層ノ繁劇ヲ加ヘ各銀行互ニ其ノ店頭ニ就テ彼此ノ取付ヲ爲ス其煩實ニ甚シキニ至リシヲ以テ歐米ニ在ル交換所ノ制ニ倣ヒ遂ニ十二年十二月一日ヲ以テ開業スルニ至リシモノナリ東京ニ於テモ初メ大坂交換所ト殆ソト同一ノ組織ヲ以テ交換所ノ設立アリタレトモ後テ英國倫敦ノ交換所カ其交換ノ差引尻ヲ英蘭銀行ノ帳簿上ニ於テ振換ユルノ制ニ摹シ各同盟銀行ハ皆日本銀行ニ當坐預金ノ取引ヲ開キ且ツ日本銀行ヲモ其交換組合ニ加ヘ交換差引ノ上貸トナリタル銀行ハ其差額ヲ日本銀行ヘノ當坐預金トナシ其借トナリタル銀行ハ日本銀行ヘノ當坐預金ノ仕拂ニ立テ終始少許モ其間ニ通貨ヲ用ヒス悉ク日本銀行ノ帳簿上ニ於テ振替ユルノ方法ヲ以テ明治廿四年規則ヲ改正シ其組織ヲ更革セリ即チ現今ノ東京交換所是ナリ今東京交換所規則中ヨリ專ラ交換手續ニ關スル條項ヲ抜テ其要領ヲ示ス可シ

交換手續

一當交換所ハ交換所組合銀行中ニ於テ日々收入シタル各種ノ手形小切手ヲ交換決算スルヲ以テ目的トス
 一當交換所ノ交換時間ハ毎日(一般ノ休業日ヲ除ク)午前十時ニ開キ同十時三十分

迄ニ差引決算ヲ行フヘキモノトス
 一手形小切手ノ交換ハ次項以下ノ手續ニ依リテ之ヲ行ヒ其差引殘高ハ日本銀行當坐勘定ノ貸借振替ヲ以テ結了スヘキモノトス
 一組合銀行ノ交換方ハ交換スヘキ手形小切手ヲ分類シ一枚毎ニ裏書ヲ爲シ交換添表ニ其金額及ヒ枚數ヲ記入シ該添表ノ合計金額ヲ交換差引表ノ貸方ニ記載シテ手形小切手ト共ニ當交換所ヘ持參スヘシ

……銀行交換添表		
明治 年 月 日		
摘要	金額	
當坐小切手	枚	
送金手形	枚	
振出手形	枚	
約束手形	枚	
爲替手形	枚	
合計	枚	
……銀行へ		

銀行交換差引表

借方

明治 年 月 日

為換手形 枚數	金額	約束手形 枚數	金額	振出手形 枚數	金額	送金手形 枚數	金額	當坐小切手 枚數	金額	合計		銀行名稱
										金額	金額	
											差引 殘高	

右交換差引表雛形ノ貸方欄ハ借方ト同様ナルヲ以テ之ヲ零ス尤モ貸方欄ノ
 順次ハ銀行名稱ノ欄ヨリ右ニ差引殘高合計當坐小切手ト云フ如ク借方トハ
 逆ニ排列スルモノニシテ要スルニ銀行名稱ノ欄ヲ中央トシテ同シ欄ヲ左右
 ニ開キタルナリ

一 組合銀行ノ交換方ハ交換時間マテニ當交換所へ參集シ手形小切手ヲ添表ト共
 ニ互ニ交換シ其受取タル添表ノ金額及枚數ヲ交換差引表ノ借方ニ記載シ貸借
 ノ決算ヲ爲シ交換殘高表ヲ作り證印ノ上監事へ差出スヘシ

交換殘高表

明治 年 月 日

借方交換總金額	貸方交換總金額	差引.....方金額

.....銀行交換方

一 監事ハ交換方ヨリ差出シタル殘高表ノ金額ヲ點檢シ書記ヲシテ交換決算簿ニ
 記入セシメ貸借合計ヲ現ハシ計算ノ確實ナルヲ認メタル上交換方ヲシテ交換
 尻振替ノ手續ヲ爲サシムヘシ(交換決算簿ノ雛形ハ略ス)
 一 交換決算上借方トナリタル銀行ハ甲號交換尻振替請求書ヲ認メ交換方記名調
 印ノ上之ヲ日本銀行へ持參シ同行ヨリ振替濟ノ報告書ヲ受取り監事ニ差出シ
 振替濟ノ證印ヲ受ク可シ

(甲號) 交換尻振替請求書

一金

右金額當行勘定ヨリ交換所組合銀行ノ貸方勘定へ御振替被下度且該組
 合中何レノ銀行ニテモ交換所監事ノ證印アル請求書ヲ持參スルトキハ
 其振出シ銀行ノ貸方勘定へ御振替被下度候也

明治 年 月 日

銀行

日本銀行御中

(甲號) 交換尻振替濟報告書

一金

右金額本日貴行ノ勘定ヨリ交換所組合銀行貸方勘定へ振替候也

明治 年 月 日

日本銀行

、銀行御中

交換所監事

右振替ノ結了シタルヲ證ス

一 交換決算上貸方トナリタル銀行ハ乙號交換尻振替請求書ヲ認メ交換方記名調印ノ上之ヲ監事ニ差出シ其證印ヲ得テ日本銀行へ持參シ交換振替濟ノ報告書ヲ受取ル可シ

(乙號) 交換尻振替請求書

一金

右金額交換所組合銀行勘定ヨリ當行貸方勘定へ御振替被下度候也

明治 年 月 日

、銀行

日本銀行御中

交換所監事

右振替ノ確實ナルヲ證ス

(乙號) 交換尻振替濟報告書

一金

右金額本日交換所組合銀行勘定ヨリ貴行ノ貸方勘定へ振替候也

明治 年 月 日

日本銀行

、銀行御中

一 監事ハ交換決算後直ニ總決算表ヲ作り記名調印ノ上日々之ヲ日本銀行へ差出スヘシ

(總決算表ノ雛形ハ略ス)

右ニテ交換ノ手續終ルモノトス今手形交換ニ係ル記帳法ヲ示セハ左ノ如シ

交換記帳法

一切手形ノ交換ハ收納係ノ事務ニ屬スルモノナルヲ以テ手形交換所へ出張セシムル交換方ハ同係支配下ノ事務員中ヨリ特ニ之ヲ定メ置キ其交換方ヲシテ交換ニ關スル諸表ノ調製及交換差引帳ノ記入ヲ擔當セシムルモノトス
一 組合銀行ノ切手手形ヲ交換所ニ持出ストキハ交換差引帳へ其切手手形ノ種類ヲ各銀行毎ニ區分シテ借方(交換差引表トハ借貸相反ス是レ一ハ交換所ヲ主ト

シ一ハ振出シ銀行ヲ主トシテ仕分クルニ由ルニ記入シ此帳簿ニ據リテ交換差引表ヲ製ス可シ(交換差引帳ノ雛形ハ交換差引表ト同様ナルヲ以テ之ヲ畧ス)

一交換所ヨリ自家ノ切手手形ヲ持歸リタルトキハ其種類ニ據テ各銀行毎ニ區分シ之ヲ交換差引帳ノ貸方ニ記入シ一銀行毎ニ差引殘高ヲ出シテ各欄ヲ締切ルヘシ但シ差引殘高桁ハ貸借ヲ合計シ其差ハ反對ノ方ヘ記入シ借貸ヲ平均セシメテ之ヲ締切ル可シ

一交換所ヨリ持歸リタル自家ノ切手手形ハ皆之ヲ現金ニテ仕拂ヒタルモノトシテ日常ノ取引同様ニ各帳簿ヘ記入スヘシ尤モ金銀出納帳ヘハ摘要欄内ニ(交換所)ト記シテ拂出ノ方ヘ一口ニ合計金額ヲ記入スルモ可ナリ斯クシテ其交換差引尻カ自家ノ貸トナリタルトキハ日本銀行ヘ現金ニテ當坐預金ヲ爲シタルトシ若シ自家ノ借トナリタルトキハ日本銀行ヨリ現金ニテ當坐預金ヲ引出シタルトキハ夫ヲ出納精算トナル可キナリ而シテ其交換差引尻ノ借貸ハ之ヲ預ケ金元帳ヘ記入スヘシ

一交換ニ附シタル切手手形ノ金額ハ營業終結ノ後之ヲ諸手形引換控帳ヘ記入シテ差引ヲ爲スヘシ

第五章 記入手續

上來勘定科目ノ性質ヲ説明シ帳簿及記入ノ例ヲ示シタルハ各取引ヲ記帳スル方法ノ大体ハ已ニ了解シ得ヘキモ尙ホ茲ニ重複ヲ厭ハス重モナル勘定ヲ記入スル手續ヲ陳ヘ以テ學者ヲシテ迷津ノ歎ナカラシメントス

銀行ノ事務ハ各係ニ分チ担当スルモノナレハ種々ノ取引生スル毎ニ一々之ヲ其關係ノ係ヘ傳ヘサル可ラス其傳フルニ當リ口頭ヲ以テセンコトハ到底爲シ得ヘカラス假シ爲シ得ルトスルモ或ハ金額或ハ事柄ニ行違ヒテ起シ後ニ至テ之ヲ調査スルノ術ナキノ虞アリ故ニ其勘定ノ要件金額等ヲ一紙ニ認メ之ヲ關係ノ各係ヘ回付スルモノトスルトキハ敢テ多言ヲ要セシテ速ニ事ヲ辨スル而已ナラス之ニ據テ帳簿ニ記入セハ勘定ノ間違ヲ惹起スルコトナク萬一誤ルコトアルモ之ヲ搜索スルニ至便ノ材料トナル可キナリ此用紙ヲ傳票ト云フ

傳票ハ取引ノ起ル毎ニ當該係ニ於テ發スルモノニシテ之ニ三種アリ都テ現金ヲ以テ受取ルヘキ勘定ニ用ユルモノヲ入金票ト云ヒ都テ現金ヲ以テ仕拂フヘキ勘定ニ用ユルモノヲ仕拂票ト云フ又或勘定ヨリ或勘定ニ振換ヘタルモノニシテ全

ク現金ノ出納ナキモノ或ハ之ヲ振換ヘ其差金ヲ現金ニテ受取り若クハ仕拂フ可
 キモノ等ニ用ユルヲ振替票ト云フ而シテ此等ノ傳票ニハ勘定科目ト其勘定ノ主
 タル人名事由及金額等ヲ記載シ此票ニ依テ現金ノ受拂ヲ爲スハ勿論各係ヲ經由
 シタル後ハ之ヲ悉皆計算係ノ手許ニ集メ以テ日記帳記入ノ原料ニ供スルモノト
 ス但シ當坐小切手并仕拂送金手形ヲ現金ニテ仕拂フ場合ニ於テハ其切手手形ヲ
 以テ仕拂票ニ代用スルヲ得ヘシ又他店若クハ支店ヘ向ケ取組ミタル勘定ノ決
 算トナリタルモノ及ヒ他店若クハ支店ヨリ取組マレタル勘定ハ各其報告書ニ依
 テ記帳シ敢テ傳票ヲ用フルニ及ハサルモノトス

現金勘定

都テ現金ノ收支アリタルトキハ其何等ノ勘定タルニ拘ハラズ之ヲ金銀出納帳若
 クハ收納帳仕拂帳ニ記入シ若シ其收入金ノ内他店ニ於テ拂ハルヘキ切手手形ア
 リタルトキハ之ヲ諸手形引換扣帳ヘ記入スルモノトス

預リ金ニ屬スル部

一 當坐預金

當坐預金ノ預ケ入レ及ヒ小切手ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ當坐預金元帳増補日記

帳ヘ記入シ日記帳ヘハ當坐預金ノ科目ヲ設ケ其下ニ増補日記帳ト記シテ増補日
 記帳ヨリ合計ノ金額ヲ移記スヘシ而シテ日記帳ハ毎日其初行ニ當坐預金ノ科目
 ナ開クヲ例トス

小切手ニ仕拂保證ヲ爲シタルトキハ小切手ノ仕拂ヲ爲シタルト同時ニ又預リ金
 ナ爲シタルト同様ノ記入ヲ爲スモノトス

若シ小切手仕拂高ノ内幾分ハ當坐預金ニシテ幾分ハ貸越ナルトキハ其預リニ對
 スル金額ハ増補日記帳ニ記入シ貸越ニ係ル分ハ日記帳ヘ記入スルモノトス

一 定期預リ金

定期預金ノ預ケ入アリタルトキハ定期預金記入帳及期日帳ニ記入シ之ヲ仕拂ヒ
 タルトキハ同記入帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ始終定期預金ノ科目ヲ以テ仕分ク
 可シ

一 別段預リ金

別段預金ヲ預リ又ハ仕拂ヒタルトキハ別段預金記入帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ
 (別段預金)ノ科目ヲ以テ仕分ク可シ

一 振出手形

振出手形ヲ仕出シ又ハ仕拂ヒタルトキハ振出手形記入帳ニ記入シ日記帳ニハ(振出手形)ノ科目ヲ以テ記入ス可シ

一送金手形

送金手形ヲ仕出シタルトキハ送金手形記入帳、期日帳(參着拂ナラハ記入ニ及ハス)及ヒ他店若クハ支店勘定元帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ(支店若クハ他店)ノ科目ヲ以テ受入レ支店又ハ他店へ報告書ヲ發ス可シ

右仕拂濟ノ報告アリタルトキハ送金手形記入帳ニ記入シ尙ホ支店若クハ他店勘定元帳ニ於テ決算移シ替ヲ爲スヘシ

他店又ハ支店ヨリ送金手形ヲ振向ケタル報告アルトキハ仕拂送金手形記入帳、期日帳及他店若クハ支店勘定元帳ニ記入シ日締帳ニ於テ(仕拂送金手形)借他店又ハ支店貸ト振替記帳ス可シ

右手形ヲ仕拂ヒタルトキハ仕拂送金手形記入帳及他店若クハ支店勘定元帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ(仕拂送金手形)ノ科目ヲ以テ拂出シ其旨ヲ手形振出店へ報告スルモノトス

貸出金ニ屬スル部

一貸付金

貸金ヲ爲シタルトキハ貸付金記入帳、同元帳及ヒ期日帳ニ記入シ之カ返金ヲ受ケタルトキハ同記入帳及元帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ收支トモ(貸付金)ノ科目ヲ以テ仕分ク可シ

貸金ノ担保品ニ異動アルトキハ貸付金内譯帳ニ記入スヘシ

内入金若クハ担保品ノ異動ト共ニ内入金アリタルトキハ貸付金内譯帳、同元帳ニ記入シ之カ利子ハ貸付金内譯帳ニ於テ計算シ其皆濟トナリタルトキハ前項返金ノ場合ト同シク貸付金記入帳、同内譯帳、同元帳ニ記入スルモノトス

一割引手形

當所仕拂ノ手形ヲ割引シタルトキハ割引手形記入帳(普通ノ商業手形ナレハ當所割引手形ハ担保付)同元帳及ヒ期日帳ニ記載シ其期日ニ至リ手形代金ヲ取立テタルトキハ記入帳及元帳ニ記入ス可シ而シテ日記帳ニ於テハ收支トモ(割引手形)ノ科目ヲ以テ仕分ク可シ

割引シタル手形ヲ再割引スルトキハ期日ニ至リ之ヲ取立テタルト同様ノ記入ヲ爲シ記入帳、元帳及ヒ期日帳へハ再割引ニ付シタル要件ヲ摘記ス可シ又多ク再割

引ヲ爲ス銀行ニ在テハ別ニ再割引手形記入帳ヲ製シ之ニ其要件ヲ記載ス可シ
 他所仕拂ノ手形ヲ割引シタルトキハ他所割引手形記入帳、割引手形元帳及期日帳
 ニ記入シ日記帳ニ於テハ(割引手形)ノ科目ヲ以テ拂出シ手形ニ裏書シテ報告ト共
 ニ他店又ハ支店へ回送シ其取立ヲ爲サシムルモノトス
 右手形ノ期日ニ至リ取立済ノ報告アルトキハ他所割引手形記入帳、割引手形元帳
 及ヒ他店若クハ支店勘定元帳ニ記入シ日記帳ニ於テ(割引手形)ト(他店若クハ支店)
 ト振換ユ可シ
 一當坐預金貸越
 當坐預金貸越ノ貸出シ及ヒ返金ハ當坐預金元帳ニ記入シ日記帳ニ於テ(當坐預金
 貸越)ノ科目ヲ以テ仕分ク可シ
 一荷爲換手形
 荷爲換貸ヲ爲シタルトキハ荷爲換手形記入帳、期日帳及ヒ他店若クハ支店勘定元
 帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ(他店若クハ支店)ノ科目ヲ以テ記入ス可シ
 右取立済ノ報告到着スルトキハ荷爲換手形記入帳ニ記入シ他店若クハ支店勘定
 元帳ニ於テ決算移シ替ヲ爲ス可シ

他店若クハ支店ヨリ荷爲換ヲ取組マレタルトキハ取立荷爲換手形記入帳、期日帳
 及ヒ他店若クハ支店勘定元帳ニ記入シ猶ホ日締帳ニ於テハ(荷爲換手形)借他店又ハ
 支店貸ト振換ユ可シ
 右期日ニ至リ取立タル時ハ取立荷爲換手形記入帳ニ記入シ支店若クハ他店勘定
 元帳ニ決算ノ移替ヲ爲シ日記帳ニ於テ(荷爲換手形)ノ科目ヲ以テ之ヲ受入ル可シ
 公債證書
 一公債証書
 公債證書ヲ買入タルトキハ公債證書賣買元記ニ記入シ日記帳ニ於テハ其公債證
 書ノ名稱ヲ科目トシテ貸方ニ記入スヘシ
 公債證書ヲ賣却セシトキハ自己ノ平均相場ヲ以テ賣上代價トシ之ヲ實際ノ賣上
 代價ト比シ其差ヲ損益トスルモノナレハ公債證書賣買元帳ニ於テ之ヲ算出シ日
 記帳ニハ公債證書ノ科目ト共ニ(公債賣買損益)ノ科目ヲ起ス可シ
 代金取立手形
 一當所代金取立手形
 當所仕拂ノ手形代金ノ取立ヲ委托サレタルトキハ代金取立手形記入帳及期日帳

ニ記入シ置キ期日ニ至リ之ヲ取立タルトキハ右記入帳ニ記載シ尙ホ其取立依頼人カ當座取引先ナラハ當座預金否ラサル者ハ別段預金ヲ預カリタルト同様ノ記入ヲ爲ス可シ

他店若クハ支店ヨリ取立ヲ委托サレタル當所仕拂ノ手形ナルトキハ當所代金取立手形記入帳及ヒ期日帳ニ記入シ置キ期日ニ至リ之ヲ取立タルトキハ同記入帳及他店若クハ支店勘定元帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ(他店若クハ支店)ノ科目ヲ以テ之ヲ受入ル可シ

一他所代金取立手形

他所仕拂ノ手形代金ノ取立ヲ委托サレタルトキハ他所代金取立手形記入帳及期日帳ニ記入シ其手形ハ報告ト共ニ他店若クハ支店へ轉送スルモノトス

右手形取立濟ノ通知アリタルトキハ他所代金取立手形記入帳及ヒ他店若クハ支店勘定元帳ニ記入シ日記帳ニ於テハ當所代金取立手形ト同シク委托主ニ由テ當座又ハ別段預金ト爲シ他店若クハ支店ノ名ヲ以テ科目トシテ振替ユ可シ

營業取引例題附決算法

凡例

一營業取引例題ハ之ヲ四段ニ分チ第一チ一個ノ銀行本店ノミノ取引トシ第二チ一個ノ支店ヲ設ケタル取引トシ第三チ支店ノ外尙ホ一ノ他銀行ト約束ヲ結ヒ此等ト取引シテ半季ノ決算ヲ爲シ、モノトシ第四チ決算後ノ整理ト手形交換所ニ加盟シ手形ノ交換ヲ爲スヲ加ヘタルモノトセリ

一例題ヲ記帳スル順序ハ第一ニ一取引毎ニ之ヲ記入帳ニ記載シ第二ニ元帳第三ニ金銀出納帳ニ記入シ斯クシテ一日中ノ例題ヲ記帳シ終ラハ金銀出納帳ヲ締切リ然ル後増補日記帳ニ當座預金ノ出入ヲ記入シ次ニ日締帳ニ移リ而シテ又各取引ヲ日記帳ニ記載シ最後ニ日締日記ノ兩帳ヨリ總勘定元帳へ轉記シ日計簿ニ於テ騰記ノ正否ヲ檢スヘシ然ルニ若シ此順序ヲ履マスシテ例題ニ依リ直チニ日記帳ニ記入スル如キヲアランカ例題ニハ當座引出小切手ヲ仕拂ヒタル金額カ貸越ニ屬スルモノアランモ特ニ其金額ヲ示ササルヲ以テ之ヲ當座預金ニテ拂出ストキハ大ナル誤謬ヲ來ス可シ其他之ニ類スル事間々アレハ必ス以上ノ順序ニ從テ記帳ス可シ

- 一金銀出納帳ハ第一第二ノ營業取引ニ用ヒ第三營業取引以後ハ之ヲ廢シ收納支拂ノ二帳ヲ用ユ可シ
- 一第三營業取引以後ハ増補日記帳ノ用ヲ省キテ直ニ日記帳ニ記入スルモ可ナリ
- 一例題中單ニ何々トシテ金何圓ヲ受取リタリ或ハ仕拂フトアルハ皆現金ヲ以テ仕拂ヒ或ハ受取リタルモノト知ル可シ
- 一取引先ノ住所職業ヲ特ニ掲ケサルモノハ皆東京ニ住スル者ニテ商人ナリト知ル可シ
- 一手形割引ハ皆其割引依頼人ヲ信シテ取引セルモノトシタレハ割引手形元帳ハ皆其依頼人ヲ以テ口取ヲ爲ス可シ
- 一毎日ノ現金有高ハ示シ置キタレトモ之カ種類ハ繁雜ニ涉ルヲ以テ省畧セリ故ニ金銀有高扣帳ヘハ學者適宜ニ之ヲ區分シテ記入ス可シ
- 一利息並割引料等ハ例題ニハ只其單位割合ヲ記シテ全額ヲ掲ケサレハ學者一々之ヲ算出ス可シ
- 一貸付又ハ預金ノ期限ニ一ヶ月或ハ三ヶ月等トアルハ曆日ヲ示スナレハ例ヘハ六月十日ノ例題ニ於テ期限二ヶ月トアレハ其期日ハ八月十日ト知ル可シ

- 一利子割引料等ヲ計算スルニハ預リ金ハ預リタル當日ヨリ起算シテ之ヲ拂戻シタル前日マテ貸出金ハ貸出シタル當日ヨリ起算シテ返却ノ當日マテ積算スルモノトス
- 一預リ金又ハ貸出金ニシテ年利ヲ以テ定メタル利子ハ一ケ年ヲ三百六十五日トシテ計算スルモノトス
- 一計算上厘位未滿ノモノハ都テ四捨五入ス可シ
- 一書中往々畧語ヲ用ヒタリ是レ實地一般ニ用ヒラル、畧稱ニシテ冗長ヲ避ケン爲メナリ例ヘハ當坐預金ヲ單ニ當坐ト云ヒ送金手形ヲ送手、荷爲替手形ヲ荷手ト云フカ如シ

第一營業取引例題

東京市日本橋區兜町

株式會社朝日銀行

一本行ハ資本金ヲ五十万圓トシ株數一万株一株ノ金額五十圓ニシテ之ヲ二回ニ分テ拂込ムモノトス

一本行ハ明治廿八年四月三十日創業總會ヲ開キ定款ノ確定、創業入費ノ承認等ヲ經タリ

一株主募集ノ際申込証據金トシテ壹株ニ付金壹圓ツ、即チ壹万圓ヲ徵收セリ

明治廿八年五月十五日

一發起人ヨリ事務ノ引繼ヲ受ケタリ

一證據金壹万圓也

此内

金三千四百三十圓 發起人竹尾平助立替ノ分引去ル

内譯

創業入費 百五十圓
 營業用地所代金千百圓
 營業用家屋代金千六百圓
 營業用什器(金庫一個外五点)代金五百八十圓
 差引

現金有高六千五百七十圓

右例題ヲ日記帳ニ記入スルニ當リ先ツ左ノ如ク振替ノ記入ヲ爲スヘシ

借方		貸方	
資本金	振替	振替	貸方
株主九名	500,000 ^円	株主九名	500,000 ^円
次ニ証據金ト創業入費以下ノ項ヲ振替記帳スルニ		創業入費	振替
証據金	振替	發起人ト拂渡	150 ^円
現金	6,570 ^円	營業用地所	1,100 ^円
發起人ヨリ引繼	3,430 ^円	發起人ト拂渡	1,100 ^円
		拂込未済資本金	

以下之ニ準シ記帳シ終ラバ日記帳ヲ締上ケ總勘定元帳ヘ轉記スヘシ金銀
 出納帳ヘハ單ニ証據金ノ科目ヲ以テ現金受入高ノミヲ掲載セハ可ナリ

五月廿五日

一各株主ヨリ株金第一回ノ拂込(一株ニ付金二十五圓)ヲ受ケタリ

但各證據金ヲ差引キ其殘額ヲ受取ルモノトス

二千株	金五万圓	純受取高	四万八千圓	松元喜壽
二千株	金五万圓	同	四万八千圓	竹尾平助
二千株	金五万圓	同	四万八千圓	梅田泰次郎
千二百株	金三万圓	同	二万八千八百圓	鶴原安吉
千百株	金二万五千圓	同	二万四千圓	龜田金平
千百株	金二万五千圓	同	二万四千圓	寶來勇剛
四百株	金一万圓	同	九千六百圓	德永米藏
二百株	金五千圓	同	四千八百圓	山田万兵衛

二百株 金五千圓 同 四千八百圓 川口徳次郎

合計

一万株 金二十五万圓 純受取高二十四万圓 九名

右株金ノ拂込ハ左ノ例ニ準シ日記帳ニ記入スベシ

拂込未済資本金	振替桁	現金桁	証 據 金	振替桁	現金桁
松元喜壽	2,000 ^円	48,000 ^円	松元喜壽	2,000 ^円	

六月三日 (月曜日)

一 銀行設立ニ係ル諸般ノ手續ヲ了シ本日ヨリ開業
 一 預リ金利子割合左ノ通り定ム

當座預金 日歩一錢

定期預金

三ヶ月以上 年五分
 六ヶ月以上 年五分五厘
 一ヶ年以上 年六分

一 筆紙墨郵便切手及証券印紙其他諸買物代金トシテ金六十圓
 ナ用度方へ仕拂フ

一 横田嘉兵衛ヨリ整理公債證書(利札)千圓券五十枚ヲ買入レ代

金四萬八千七百五十圓ヲ仕拂フ(百圓ニ付九十七圓五十錢ノ相場)

一 梅田泰次郎ト當座取引ノ約束ヲ結ヒ金一千圓ヲ受取ル小切
 手帳番號A一號ヨリ五〇號迄五十枚綴一冊ヲ交付ス

一 仲又七ト當座取引竝貸越ノ約束ヲ結ヒ金二千六百圓ヲ受取
 ル小切手帳番號A五一號ヨリ一〇〇號迄五十枚綴一冊ヲ交
 付ス

貸越極度金三千圓 利息三錢六厘日歩 期限一ヶ年

此根抵當五分利付金祿公債證書額面三千二百圓

一 小林呈八郎ト當座取引ノ約束ヲ結ヒ金八百五十圓ヲ受取ル
 小切手帳番號B一號ヨリ三〇號マテ三十枚綴一冊ヲ交付ス

一本日現金有高二十萬二千二百十圓

六月四日 (火曜日)

一井上金次郎へ金三千八百圓ヲ貸付ス證書番號一號證人池上才吉期日七月三日担保品炭鑛鐵道株式六十株(担保價格一圓)利息日歩三錢二厘

一岩下清吉ヨリ定期預金五百圓ヲ受取ル證書番號一號職業洋物商住所銀座期限三ヶ月

一原田芳造へ金二千五百圓ノ約束手形ノ割引ヲ約シ割引料日歩三錢五厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ仕拂フ手形番號一號仕出人早水宗吉日附五月廿四日期日六月廿日

一梅田泰次郎振出A一號小切手金三百六拾圓仕拂フ

一美保谷藏ヨリ振出手形金六百圓ヲ受取ル手形番號一號

但内金四百圓ハ小林呈八郎振出B一號小切手ニテ殘金ハ現

金ニテ受取りタリ

一仲又七ヨリ當坐預金トシテ金二千五百圓ヲ受取ル

一桐島庄一ヨリ振出手形金額二百圓ヲ受取り百圓券二枚ヲ製ス手形番號二號ヨリ三號迄

一梅田泰次郎ヨリ當坐預金トシテ仲又七振出A五一號小切手金八百圓ヲ受取ル

一本日現金有高十九萬八千九百六十四圓八十七錢五厘

六月五日 (水曜日)

一小林呈八郎ヨリ當坐預金トシテ金千三百圓受取ル

一梅田泰次郎ヨリ同金二千二百圓受取ル

一草野平助ト當坐取引ノ約束ヲ結ヒ金二千圓ヲ受取ル小切手帳番號A一〇一號ヨリ一五〇號マテ五十枚綴一冊ヲ渡シタリ

一 奥村昌保ヨリ定期預金二千圓ヲ受取ル證書番號二號期限六ヶ月職業醫師住所神田松下町

一 藤井照道ヨリ別段預金六百圓ヲ受取ル證書番號一號日歩八厘ノ割ヲ以テ利子ヲ付スル約束職業辨護士住所本郷元町

一 大山五郎へ担保付約束手形金一萬二千圓ノ割引ヲ約シ割引料日歩三錢ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ仕拂フ手形番號一號本日付同人仕出期日七月二十四日担保品筑豊鐵道株式二百株
(担保價格一
株六十圓)

一 仲又七へ約束手形金三千六百圓ノ割引ヲ約シ割引料日歩三錢三厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ハ同人ノ當坐預金トナス手形番號二號日附五月廿九日期日六月廿九日仕出人吉田武造

一 梅田泰次郎振出A二號小切手金五百六十圓ヲ仕拂フ

一 殖産會社へ金六千圓ノ貸付ヲ爲ス證書番號二號期限二ヶ月

利息年一割無担保

一 美保谷藏宛手形一號金六百圓仕拂フ

一 仲又七振出A五二號小切手金二千六百圓ヲ仕拂フ

一 本日現金有高十八萬五千四百八十四圓八十七錢五厘

六月六日 (木曜日)

一 小林呈八郎ヨリ當坐預金七百七十二圓五十錢ヲ受取ル

一 大山五郎へ左ノ通り約束手形ノ割引ヲ爲ス

番號	手形仕出人	手形日付	手形面金額
三號	小林呈八郎	五月十二日	金六百八十二圓
四號	井上金次郎	五月廿八日	金八百二十圓
五號	仲又七	六月四日	金七百五十圓

右割引料日歩三錢五厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ハ同人ノ當坐預金ト爲シタリ依テ小切手帖A一五一號ヨリ二〇〇號迄五

十枚綴一冊ヲ交付ス
 一日本銀行へ當坐取引ノ開始ヲ請求シ金五萬圓ヲ預ケ入レ且極度金一萬五千圓借越ノ約束ヲ結ヒ此根抵當トシテ整理公債證書千圓券十六枚ヲ差入レタリ但同行ハ當坐預金ニハ利子ヲ付セス借越利子ハ日歩二錢三厘
 小切手帖番號よ八〇一號ヨリ八五〇號迄五十枚綴一冊ヲ受取ル
 一川村權兵衛ヨリ五分利付金祿公債證書五百圓券六十枚ヲ買入レ代金二萬九千六百六十圓ヲ仕拂フ(買入相場百圓ニ付九十七圓二十錢)
 一林彦吉へ金四千八百圓ヲ貸付ス證書番號三號期日七月三十日利息日歩三錢五厘證人田中篤造此担保品各州米二千俵(四斗入)但深川倉庫會社預リ米券十枚
 一岡野熊次郎ヨリ定期預金千五百圓ヲ受取ル證書番號三號期

限二ヶ月利息年四分五厘職業官吏住所四谷鹽町

一大山五郎ヨリ當座預金トシテ仲又七振出A五四號小切手金千二百圓及ヒ草野平助振出A一〇一號小切手金八百圓ヲ受取ル

一梅田泰次郎ヨリ代金取立ノ爲メ約束手形一通ヲ預ル手形番號一號日付五月十五日日期日六月十二日仕出人仲又七金額二千二百五十圓

一草野平助ヨリ當坐預金六百五十四圓ヲ受取ル
 一本日現金有高十萬四千四百五十一圓卅七錢五厘

六月七日 (金曜日)

一仲又七振出A五三號小切手金千八百圓ヲ支拂フ
 一井上金次郎へ紡績糸百五十個但東京倉庫會社預證券一枚ヲ担保トシ一個三十圓替ニテ金四千五百圓ヲ貸付ス證書番號

四號期日六月廿七日利息日歩三錢二厘證人原松太郎
 一梅田泰次郎ヨリ當坐預金トシテ仲又七振出A五六號小切手
 金三百八十圓三十錢及ヒ現金四百八十二圓ヲ受取ル
 一桐島庄一宛振出手形三號金百圓ヲ仕拂フ
 一横田嘉兵衛ヨリ整理公債證書(利落)百圓券二百枚ヲ買入レ代
 金一萬九千六百六十圓ノ内一萬圓ハ日本銀行小切手(番號よ
 號)殘高ハ現金ニテ仕拂フ(買入相場百圓ニ付
 九十八圓三十錢)
 一用度方へ帳簿代金トシテ八十六圓四十錢ヲ仕拂フ
 一原田芳造へ山陽鐵道株式七百五十株ヲ担保トシ同人仕出金
 二萬二千圓(担保價格)ノ約束手形ノ割引ヲ爲シ割引料日歩三
 錢四厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ拂渡ス(内二萬圓ハ日本銀行
 現金)手形番號二號日附六月五日期日九月四日
 一日本銀行へ當坐預金トシテ金二萬圓ヲ預ケ入ル

一仲又七振出A五五號小切手金三千二百圓(内千三百十圓ハ過振出)ヲ仕拂
 フ
 一小林呈八郎ヨリ當坐預金千二百圓五十錢ヲ受取ル
 一草野平助ヨリ當坐預金トシテ大山五郎振出A一五一號小切
 手金七百三十六圓小林呈八郎振出B二號小切手金六百八十
 四圓及現金三百二十圓ヲ受取ル
 一本日現金有高六萬五千七百圓六十七錢五厘
 六月八日 (土曜日)
 一織田秀麿(華族)ヨリ定期預金一萬三千圓ヲ受取ル預證書番號
 四號期限六ヶ月住所駿河臺
 一草野平助ヨリ代金取立ノ爲メ爲替手形一通ヲ預ル手形番號
 二號日付六月三日期日七月五日振出人大坂平野町加地利兵
 衛仕拂人小舟町鈴木要七金額千二百八十六圓四十錢

一 仲又七ヨリ大山五郎振出△一五二號小切手金二千圓及ヒ現金五百二十圓ヲ同人當坐預金並貸越返金トシテ受取ル

一 山村龜榮へ五分利付金祿公債證書額面六千圓(担保價格百圓ニ付九十五圓)ヲ担保トシテ金五千七百圓ヲ貸付ス證書番號五號期限二ケ月利息日歩三錢六厘證人立花勘藏

一 小林呈八郎ヨリ當坐預金六百五十圓受取ル

一 大山五郎ヨリ當坐預金トシテ桐島庄一宛第二號振出手形百圓仲又七振出△五七號小切手金八百二十圓及ヒ現金千四百二十圓ヲ受取ル

一 東京綿糸會社へ金一萬三千圓ヲ貸付ス證書番號六號期限一ケ月利息年一割二分担保品ナシ

一 梅田泰次郎ヨリ當坐預金トシテ大山五郎振出△一五三號小切手金三百八十圓仲又七振出△五九號小切手八百二十圓及

ヒ現金六百三十圓ヲ受取ル

一 大山五郎へ左ノ約束手形ノ割引ヲ爲ス

手形番號	仕出人	手形日付 仕拂期日	手形金額
六號	堀田 金造	五月廿三日 七月廿二日	一千六百圓
七號	草野 平助	五月廿一日 八月十日	八百七十圓
八號	魚野 藤吉	六月三日 七月三日	二千二百八十圓
九號	山本 邦三	五月三十日 七月十五日	四千七百三十圓

右割引料日歩三錢四厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ハ同人ノ當坐預金ト爲ス

一 左ノ小切手ヲ仕拂フ

仲又七振出△五八號 金三百六十圓

草野平助振出△一〇二號 金六百七十圓

一本日現金有高六萬二千百九十圓六十七錢五厘

六月十日 月曜日

一各株主ヨリ第二回株金ノ拂込アリタリ

二千株 金五萬圓 松元 喜壽

二千株 金五萬圓 竹尾 平助

二千株 金五萬圓 梅田泰次郎

千二百株 金三萬圓 鶴原 安吉

千株 金貳萬五千圓 龜田 金平

千株 金貳萬五千圓 寶來 勇剛

四百株 金壹萬圓 德永 米藏

二百株 金五千圓 山田萬兵衛

二百株 金五千圓 川口德次郎

合計金二十五萬圓

一日本銀行へ當坐預金トシテ金二十萬圓ヲ預入シタリ

一藤井照道へ第一號別段預金六百圓元利共仕拂フ

一東富造ヨリ振出手形金額五百四十圓ヲ受取ル手形番號四號

一仲又七ヨリ當坐預金二千五百六十圓ヲ受取ル

一梅田泰次郎ヨリ同金千八百六十圓ヲ受取ル

一大坂南本町へ設置セル當行支店開業ノ準備整ヒタルニ付日

本銀行ニ於テよ八〇三號小切手十五萬圓ニ仕拂保證ヲ受ケ

當行大坂支店渡リノ横書ヲ爲シ之ヲ同支店元金トシテ同地

出張ノ重役へ向ケ郵送ス

一武藤松助へ孟買練綿六百個三百斤入但明治倉庫會社預證券

五通ヲ担保トシ一個四十五圓替ニテ金二萬七千圓ヲ貸付ス

證書番號七號期日七月十八日利息日歩三錢四厘證人寺田正

太郎

一林彦吉ヨリ貸付金第三號担保品各州米ノ内五百俵内出シタ

キ旨申込アリタルニ付代金千二百圓ヲ受取り右預リ米券一通ヲ返付ス

一原田芳造へ左ノ爲換手形ノ割引ヲ約シ割引料日歩三錢五厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ仕拂フ

手形番號十號振出人摺又七引受仕拂人小磯久次郎手形日付六月五日期日七月五日金額二千六百八拾圓

一大村金兵衛へ整理公債證書千圓券二十枚ヲ賣渡シ代金一萬九千八百圓ヲ受取ル此賣渡相場九拾九圓平均相場九拾七圓七十三錢

一草野平助ヨリ當坐預金八百四拾圓受取ル

一大坂支店事務員四名へ赴任旅費トシテ四十五圓仕拂フ

一本日現金有高十萬八千六百八十九圓八十二錢三厘

右ノ記帳終ラハ毎月實際報告表(毎月末ニ製スルモノナレトモ今ハ記帳ニ誤リナキヤ否ヲ調査スル爲ノ之ヲ製ス)ヲ製ス可シ本表ヲ製スルニハ總勘定元帳ヨリ其各科目ノ借方及貸方ノ合計金額ヲ其儘ニ本表ニ移記シ差引殘高ヲ現ハス可シ而シテ本表ハ各勘定科目(金銀勘定ヲ除ク)ノ借方ノ合計金額ハ金銀勘定貸方ノ金額ト符合シ諸勘定科目(金銀勘定ヲ除ク)ノ貸方ノ合計金額ハ金銀勘定ノ借方金額ト符合シ又金額桁ノ合計ノ借貸及ヒ差引殘高桁合計ノ借貸兩々相符合セハ總勘定元帳ノ記入ハ誤謬ナキモノトス學者誤謬ナク記帳セハ結果ハ左表ノ如クナルヘシ

各種ノ公債證書ハ國債證券ナル科目ニ合算シテ掲記セルモノトス

金銀勘定ノ内譯ハ各自ノ金銀有高扣帳ヨリ種類ニ據リ摘要欄内ニ其金額ヲ掲
記ス可シ

第二營業取引例題

六月十一日 (火曜日)

- 一 仲又七ヨリ當坐預金トシテ金三千六百四十圓受取ル
 - 一 小林呈八郎ヨリ同金二千二百圓ヲ受取ル
 - 一 林彦吉ヘ支那大豆四千呎(五斗入米穀倉庫會社預リ證券八通)
ヲ担保トシ一石三圓五十錢替ニテ金七千圓貸付ス證書番號
八號期日八月廿二日證人吉田省吉利息日歩三錢五厘
 - 一 山田七郎ヨリ別段預金八百二十圓受取ル證書番號二號職業
會社員住所神田小川町利子日歩八厘
 - 一 大山五郎ヘ左ノ當所仕拂約束手形ノ割引ヲ爲ス
- | 手形番號 | 仕出人 | 手形日付 | 期日 | 金額 |
|------|------|------|------|-------|
| 十一號 | 山本米吉 | 六月八日 | 七月卅日 | 六百二十圓 |
| 十二號 | 長尾良吉 | 六月二日 | 七月二日 | 千三百圓 |

十三號 市川光造 五月廿四日 六月廿八日 七百三十圓
 右割引料日歩三錢四厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ノ内八百圓ハ
 同人宛預金手形一通トシ其余ハ同人ノ當坐預金トス振出手
 形番號五號
 一新聞廣告代四十三圓廿錢廣告社へ仕拂フ
 一竹田等ヨリ定期預金二千八百圓ヲ受取ル證書番號五號期限
 三ヶ月職業官吏住所麴町
 一仲又七振出A六〇號小切手金八百二十二圓ヲ仕拂フ
 一本日現金有高十一萬二百八十四圓六十二錢三厘
 一本日ヨリ大坂支店トノ取引ヲ始ム
 一割引手形三號期日ニ付仕拂人小林呈八郎ヨリ手形面金額六
 百八十二圓同人振出B三號小切手ニテ受取ル

一大山五郎ヨリ大坂向送金手形金四千三百圓同人振出A一五
 四號小切手ニテ受取ル手形番號ヲ一號受取人天滿町植木邦
 松期限參着拂手數料ハ百圓ニ付六錢ノ割ヲ以テ現金ニテ受
 取ル
 一代金取立手形一號期日ニ付仕拂人仲又七ヨリ同人振出A六
 一號小切手ニテ手形面金額二千二百五拾圓受取り之ヲ委托
 主梅田泰次郎ノ當坐預金ニ組入ル
 一小林呈八郎振出B四號小切手金七百七拾五圓ヲ大坂支店渡
 リノ仕拂保證小切手ト爲ス保證番號一號
 一松本福昇ヨリ大阪向送金手形金五百二拾圓受取ル手形番號
 ヲ二號受取人北濱森島周二郎期限參着拂手數料百圓ニ付六
 錢ノ割ヲ以テ受取ル
 一仲又七へ担保付約束手形ノ割引ヲ約シ割引料日歩三錢三厘

ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ仕拂フ手形番號三號日附本日期日
 七月二日担保品關西鐵道舊株式(價格一株四十七圓)三百株九州鐵道舊
 株式(價格一株四十一圓)二百株手形面金二萬二千三百圓
 一東富造宛振出手形四號金五百四拾圓ヲ仕拂フ
 一本日現金有高八萬八千二百拾二圓五錢四厘

六月十三日 (木曜日)

一菅川清吉ト當坐取引ノ約束ヲ結ヒ金三千六百圓ヲ受取ル小
 切手帖番號A二〇壹號ヨリ二五〇號迄五拾枚綴一冊ヲ渡ス
 一草野平助へ當坐貸越ヲ許シ根抵當トシテ五分利付金祿公債
 證書額面五千四百圓ヲ預カル貸越極度五千圓期限一ケ年利
 息日歩三錢六厘
 一梅田泰次郎ヨリ大阪向送金手形トシテ同人振出A三號小切
 手ニテ六千三百圓ヲ受取ル手形番號ヲ三號期限參着拂受取

人堂島北野平藏手數料ハ百圓ニ付六錢ノ割ヲ以テ現金ニテ
 受取ル

一奥隅信次郎へ各國米七千俵(四斗入)深川倉庫會社預リ米券十
 通ヲ担保トシ一石五圓八拾錢替ニテ金一萬六千二百圓ヲ貸
 付ス證書番號九號期限二ケ月利息日歩三錢六厘證人奥隅春
 太郎

一草野平助振出A一〇三號小切手金二千八百圓仕拂フ
 一岩下清吉ヨリノ定期預金壹號金五百圓ハ期日前ナレハ都合
 ニ依リ引出サンコトヲ申込タルニ付元金ヲ拂渡ス但利子ハ付
 セス

一島谷孝吉へ整理公債證書額面二萬圓ヲ九拾八圓六拾錢ノ相
 場ヲ以テ賣渡シ代金壹萬九千七百二拾圓受取ル
 一本日現金有高九萬九千九百四拾五圓八拾三錢四厘

六月十四日 (金曜日)

一横田嘉兵衛ヨリ五分利付金祿公債證書千圓券四拾枚ヲ買入
レ代金三萬九千圓仕拂フ(買入相場百圓ニ付 九十七圓五十錢)

一日本銀行ヨリ當坐預金ノ内壹萬三千圓小切手(番號よ八) 〇四號ヲ以
テ受取ル

一金田昌藏へ金額五千五百圓ノ荷爲換貸ヲ爲ス手形番號一號
證人山崎良助荷受主大坂土佐堀山田萬吉手形日付本日期日
本月廿三日物品各國米八百五拾石尾張丸積込保險金額六千
八百圓利息日歩四錢六厘ノ割ヲ以テ貸金高ノ内ヨリ引去リ
殘高ヲ拂渡ス

一原田芳造へ金三千八百圓ノ手形割引(他) 所ヲ約シ割引料日歩四
錢二厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ仕拂フ手形番號大一號振出
人同人受取人當銀行仕拂人大坂本町米田眞喜造手形日付本

日期日六月廿七日

一林彦吉ヨリ第三號貸付金担保品ノ内米千俵内出シタキ旨申
込ニ付代金二千四百圓ヲ受取り預リ米券五枚ヲ返付ス

一武藤松助ヨリ第七號貸付金担保孟買綿ノ内百個藏出シタキ
旨申込ニ付代金四千五百圓ヲ受取り預リ證券一枚ヲ返付ス
但代リ金ハ仲又七振出A六二號小切手ニテ入金

一小林呈八郎ヨリ當坐預金千二百六拾圓受取ル
一本日現金有高六萬三百五拾三圓四拾七錢八厘

六月十五日 (土曜日)

一大山五郎へ左ノ約束手形(當) 所ノ割引ヲ爲ス

手形番號	仕出 人	金額	手形 日付 日期日
十四號	平野 德藏	金七百五拾圓	五月十四日
十五號	板谷作兵衛	金二千圓	五月八日
			六月廿四日

十六號 飯田 二郎 金六百三十拾圓

五月二二日
六月廿八日

右割引料日歩三錢六厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ハ同人ノ當坐預金ト爲ス

一菅川清吉ヨリ當坐預金トシテ草野平助振出△一〇四號小切手千八百圓(内八百三十六圓過振出)及ヒ現金二千五百圓ヲ受取ル

一三重藤太ヨリ大坂向送金手形金六百圓菅川清吉振出△二〇

一號小切手ヲ以テ受取ル手形番號ヲ四號受取人中之嶋松岡

新藏期限參着拂手數料ハ百圓ニ付六錢ノ割ヲ以テ現金ニテ

受取ル

一仲又七振出△六三號小切手金六百二十拾圓ヲ仕拂フ

一梅田泰次郎ヨリ他所代金取立手形一通ヲ預ル手形番號ヲ一

號振出人全人受取人當銀行仕拂人大坂今橋武村貞三郎手形

日付六月十三日期日六月廿四日金額二千六百圓

一草野平助振出 一〇五號小切手金七百八拾圓ヲ仕拂フ

一大阪支店ヨリ本月十三日付左ノ報告書到着ス

一支店資本金拾五萬圓受取濟

一支拂保證小切手仕向 北川熊造振出第一號小切手金三千

三百圓

一送金手形取組 手形番號ト一號依頼人大坂土佐堀山田萬

吉受取人小網町田中要三郎金額千六百五拾圓期限參着拂

一本日現金有高六萬千四百五拾三圓八拾三錢八厘

六月十七日 (月曜日)

一仲又七ヨリ當坐預金並貸越ノ返金トシテ大山五郎振出△一

五五號小切手金四千三百圓ヲ受取ル

一大阪仕出ノ送金手形ト一號金千六百五拾圓受取人田中要三

郎へ仕拂フ
 一 草野平助振出A一〇六號小切手金五百二十六圓八拾錢ヲ仕拂フ
 一 高橋鈴吉へ金額八千五百圓ノ荷爲換貸ヲ約ス手形番號二號
 證人高柳豐造荷受主大阪鞆中通リ中村德三郎手形日付本日期日本月廿七日物品北海昆布二千石三河丸積込保險金額一萬一千圓利息日歩四錢八厘ノ割ヲ以テ右貸金ノ内ヨリ引去リ殘金ヲ拂渡ス
 一 森田熊太郎ヨリ手形金二千七百五拾圓ヲ受取ル手形番號六號
 一 日本銀行ヨリ當坐預金ノ内貳萬圓ヲ引出シタリ小切手番號よ八〇五號
 一 佐々木要七ヨリ大阪向送金手形五千四百二十拾圓ヲ受取ル(但

内二千七百五拾圓ハ草野平助振出A一〇七號小切手殘金ハ現金手形番號ヲ五號受取人久寶寺町有村彦八期限參着拂手數料百圓ニ付六錢ノ割ニテ現金ニテ受取ル
 一 仲又七ヨリ當坐預金三千七百六拾三圓受取ル
 一 梅田泰次郎振出A四號小切手二千四百六拾圓ヲ大坂支店渡リノ仕拂保證小切手ト爲ス保證番號二號
 一 水上貫一郎へ他所割引ヲ約シ手形面金高二萬五千六百圓ヨリ割引料日歩四錢ノ割ヲ以テ引去リ殘金ヲ仕拂フ手形番號大二號振出人同人仕拂人大坂西成郡製油會社手形日附本日期日七月廿五日
 一 大坂支店ヨリ本月十五日付ヲ以テ左ノ報告書到着ス
 一 小林呈八郎振出仕拂保證小切手七百七拾五圓仕拂濟
 一 送金手形ヲ一號金四千三百圓仕拂濟

一 同 ナ二號金五百二十拾圓仕拂濟

一 荷爲換手形取組 手形番號ト一號振出人大坂南久太郎町
森田德藏荷受主大傳馬町玉江文吉手形日付本月十五日
日本月廿四日金額三千二百圓物品伊豫白木綿一萬匹高知
丸積込保險金額三千八百圓

一 送金手形取組 手形番號ト二號金三千六百圓依頼人大坂
四ツ橋内海繁造受取人茅場町中野昇期限參着拂

一本日現金有高五萬四千八百七圓五拾三錢

六月十八日 (火曜日)

一 草野平助ヨリ當坐預金并貸越ノ返金トシテ金一萬六千三百
圓受取ル

一 大山五郎ヨリ當坐預金六千四百圓受取ル

一 梅田泰次郎ヨリ同金五千六百圓受取ル

一 大山五郎宛第五號振出手形金八百圓ヲ仕拂フ

一 小林呈八郎ヨリ當坐預金千八百圓ヲ受取ル

一 大坂支店仕拂保證第一號小切手金三千三百圓ヲ仕拂フ

一本日現金有高八萬八百七圓五拾三錢

六月十九日 (水曜日)

一 日本銀行ヨリ當坐預金ノ内三萬圓ヲ引出シタリ小切手番號
よ八〇六號

一 菅川清吉ヨリ當坐預金二千八百圓受取ル

一 山村龜榮整理公債證書額面二萬圓ヲ担保トシ金一萬八千圓
ヲ貸付ス證書番號拾號期限二ヶ月利子日歩三錢七厘證人松
木友吉

一 小林呈八郎ヨリ都合ヲ以テ當坐取引ヲ解約セン旨請求アリ
依テ元利計算ノ上預リ殘金及ヒ利子共ニ拂渡ス小切手番號

B 五號

- 一大坂支店ヨリ拾七日付ヲ以テ左ノ報告書到着ス
- 一送金手形ヲ四號金六百圓仕拂濟
- 一割引手形取立委托 手形番號東一號金額六千六百圓手形
日付本月十日期日本月廿一日振出人大坂神山和一郎仕拂
人小舟町松崎萬吉
- 一本日現金有高八萬八千八百八拾九圓拾五錢七厘
- 六月二十日 (木曜日)
- 一大坂支店仕出ト二號送金手形三千六百圓受取人中野昇へ仕
拂
- 一當所割引手形第一號期日ニ付仕拂人早水宗吉ヨリ手形面金
額二千五百圓受取ル
- 一林彦吉ヨリ同人へノ貸付金三號期日前ナレハ返金センヲ

申込ミタルニ付利子ヲ計算シ殘金ト共ニ受取ル

一犬山五郎へ左ノ當所仕拂約束手形ノ割引ヲ約ス

手形番號 仕出人 手形日付 期日 金額

十七號 大場多市 六月一日 七月三十日 一千七百圓

十八號 出口保造 六月五日 八月十一日 六千二百圓

但八月十一日ハ日曜日ニ付翌十二日迄ノ割引料ヲ計算ス

右割引料日歩三錢六厘ノ割ヲ以テ引去リ殘高ハ同人ノ當坐

預金トス

一日本銀行へ金貳萬圓ヲ當坐預ケト爲ス

一雜費仕拂金トシテ用度方へ拂渡金ノ内六圓七拾二錢過剩ニ

付用度方ヨリ戻入レタリ

一支店勘定元帳向口金銀勘定貸方殘高六千九拾五圓ヲ受口

へ振替エタリ

一武藤松助ヨリ同人へノ貸付金七號担保綿花ノ内二百個内出
ヲ爲スニ付金九千圓ヲ受取ル但内七千圓ハ菅川清吉振出A

二〇二號小切手二千圓ハ梅田泰次郎振出A五號小切手ニテ
受取タリ依テ右ニ對スル倉庫會社預リ證券一通ヲ返付ス

一大阪支店ヨリ本月十八日報告左ノ通り到着ス

一普通代金取立手形取立委托 手形番號京壹號日付本月十
七日期日本月廿五日金額二千六百圓振出人大阪川口柏組
仕拂人越前堀松田好十郎

一送金手形取組 手形番號ト三號依頼人田原良太郎受取人
本革屋町小林茂助金額三千四百圓期限參着拂

一同 手形番號ト四號依頼人松永健三受取人横
山町齋藤軍六金額四千七百六拾五圓二拾錢期限參着拂

一本日現金有高六萬八千三百拾壹圓八拾三錢七厘

右ノ記帳終ラハ毎月實際報告表ヲ製シ且各元帳ノ差引殘高ヲ一表ニ書拔キ之
ヲ總勘定元帳ノ殘高ト突キ合ス可シ
實際報告表ノ計數ハ左ノ如ク爲ル可シ

每月實際報告表(零式)

摘要	借方金額	貸方金額	借方殘高	貸方殘高
預金勘定	五〇〇〇〇	一九、八〇〇		一九、三〇〇
定期	六二、二四八三〇〇	一一三、七六一七六		五一、五一八七六
當座	六〇〇〇〇	一、四二〇〇〇		八二〇〇〇
別段	二、一四〇〇〇	四、八九〇〇〇		二、七五〇〇〇
振出手形	五、二五〇〇〇	一三、四一五二〇〇		八、一六五二〇〇
仕拂送手				
貸出金勘定				
貸付金	一〇六、〇〇〇〇〇	一八、三〇〇〇〇	八七、七〇〇〇〇	

當坐貸越	九,七七四八〇〇	九,七七四八〇〇	八,八三三	百五十
割引手形	三,一四二〇〇〇	三,一八二〇〇〇	一一七,九六〇〇〇	
荷爲換手形	三,二〇〇〇〇	三,二〇〇〇〇	三,二〇〇〇〇	
公債及地金勘定	一三六,五七〇〇〇	三九,〇九二〇〇〇	九七,四七八〇〇〇	
國債證券	一五〇,〇〇〇〇〇		一五〇,〇〇〇〇〇	
支店勘定			九,六〇〇二〇〇	
支店元金	三〇,七二五二〇〇	二二,一五〇〇〇	四七,〇〇〇〇〇	
一ヶ所				
預ヶ金勘定	二九〇,〇〇〇〇〇	二四三,〇〇〇〇〇		
預金				
証據金勘定	一〇,〇〇〇〇〇	一〇,〇〇〇〇〇		
証據金				
株主勘定				
資本金	五〇〇,〇〇〇〇〇	五〇〇,〇〇〇〇〇	五〇〇,〇〇〇〇〇	
拂込未済資本金				

所有物勘定	一,一〇〇〇〇〇	一,一〇〇〇〇〇	一,一〇〇〇〇〇	
營業用地所	一,一〇〇〇〇〇	一,一〇〇〇〇〇	一,一〇〇〇〇〇	
營業用家屋	一,六〇〇〇〇〇	一,六〇〇〇〇〇	一,六〇〇〇〇〇	
營業用什器	五八〇〇〇〇	五八〇〇〇〇	五八〇〇〇〇	
損益勘定				
利子	六六一三	八六一四〇	七九五二七	
割引料		一,八四三〇三〇	一,八四三〇三〇	
手数料		一〇二八四	一〇二八四	
雜費	一八九六〇〇	六七二〇	一八二八八〇	
創業入費	一五〇〇〇〇		一五〇〇〇〇	
旅費	四五〇〇〇		四五〇〇〇	
公債賣買損益		四二八〇〇〇	四二八〇〇〇	
金銀勘定	一五〇〇,一二三三五〇	一四三一,八一五二三	六八,三一一八三七	
總計	二,九三一,九三四八六三	二,九三一,九三四八六三	五八四,九〇七九一七	百五十一

支店勘定摘要内ニ「ケ所」ト記載シアルハ支店ノ個數ヲ示シタルモノニシテ其
 貸借ノ金額ハ總勘定元帳「大坂支店」ノ科目ノ金額ナリト知ル可シ
 但支店數個アルキハ總テ之ヲ一括シテ貸借トモ其金額及ヒ差引殘高ヲ合計シテ
 記載ス可シ若シ甲ヨリハ借トナリ乙ヘハ貸トナルモ之ヲ差引カスシテ其儘合
 計シテ記入スルモノトス去レハ其差引殘高ハ貸借双方ニ現ハル、トアル可シ
 是レ資産負債ノ實況ヲ知ランカ爲メナリ而シテ摘要内ニハ其個數ヲ記載シ置
 クモノトス他店勘定モ亦之ニ準ス

第三營業取引例題

六月二十一日 (金曜日)

- 一 横濱辨天通貿易銀行「トコルレス」ポシテ「デンス」ノ約束ヲ訂結セ
 シニ付本日ヨリ其取引ヲ開始ス
- 但双方共爲替尻借越ハ金三萬圓ヲ極度ト定メ預リニハ日歩
 五厘借越ニハ日歩一錢三厘ノ利子ヲ付スル約束ナリ
- 一 草野平助ヨリ當坐預金二千六拾圓受取ル
- 一 大坂支店仕出ト三號送金手形三千四百圓小林茂助ヘ仕拂フ
- 一 大山五郎ヘ担保付約束手形金二萬五千圓ノ割引ヲ約シ割引
 料日歩二錢七厘ノ割ヲ以テ引去リ殘金ノ内壹萬圓ハ現金ニ
 テ拂渡シ其余ハ同人ノ當坐預金ト爲ス手形番號四號本日付
 同人仕出期日八月六日担保品日本銀行株券壹百株
 一 仲又七振出△六四號小切手金六百四十五圓ヲ仕拂フ

一 横井孫七ヨリ横濱向ケ送金手形八百六十圓受取ル手形番號
 ヨ 壹號受取人海岸通十番英人シエームス、ウヰルシー期限參
 着拂手數料百圓ニ付三錢ノ割ニテ受取ル
 一 大坂支店委託東一號割引代金取立手形期日ニ付仕拂人松崎
 萬吉ヨリ手形面金額六千六百圓受取ル
 一 大坂支店ヨリ十九日付左ノ報告書到着ス
 一 送金手形仕拂濟 ヲ三號金六千三百圓
 一同 ヲ五號金五千四百二十圓
 一 本日現金有高六萬三千七百八拾七圓九錢五厘
 六月廿二日 (土曜日)
 一 菅川清吉振出 A二〇三號小切手金千六百五十圓ヲ仕拂フ
 一 龜田金平所有株式ノ内壹百株寶來勇剛へ賣渡シタルニ付右
 名義書替方寶來勇剛ヨリ請求アリ株券六一號ヨリ六五號迄

二 拾株券五枚代價五千二百圓此書替手數料一枚ニ付拾錢ノ
 割ニテ受取ル
 一 田中孫兵衛ヨリ大阪向電信爲替ノ依頼アリ金額壹千五百圓
 受取人南本町田宮善吉番號壹號手數料金貳圓受取ル
 一 篠崎藤作ヨリ大坂向送金手形トシテ森田熊太郎宛振出手形
 六號金二千七百五拾圓ヲ受取ル手形番號ヲ六號受取人西横
 堀小菅元次郎期限參着拂手數料百圓ニ付五錢ノ割ニテ現金
 ニテ受取ル
 一 大坂支店ヨリ二十日付左ノ報告書到達
 一 荷爲替取組 手形番號ト二號振出人堂島牧野喜兵衛荷受
 主神田川岸栗田左兵衛中國米二千俵(四斗入)保險金額六千
 七百八拾圓相摸丸積込手形日付本月二十日期日本月廿八
 日手形面金高五千六百圓

一梅田泰次郎振出第二号仕拂保證小切手二千四百六拾圓仕拂濟

一橫濱貿易銀行ヨリ昨廿一日付ヲ以テ左ノ報告書到着ス

一普通代金取立手形委託 手形番號一號日付本月二日期日

本月廿五日金額二千二百圓振出人北仲通り三上吉藏仕拂

人小傳馬町小林呈八郎

一本日現金有高六萬三千六百四十圓九十七錢

六月廿四日 (月曜日)

一草野平助ヨリ同人當坐預金トシテ大山五郎振出A一五六號

小切手金八千三百圓梅田泰次郎振出A六號小切手金二千二

百圓及現金ニテ八百六十圓受取ル

一大坂支店ヨリ振向ケタル荷爲替手形ト一號期日ニ付荷受主

玉江文吉ヨリ手形面金額三千二百圓受取ル

一井上金次郎へ金二千圓ヲ貸付ス證書番號十一號期限二ヶ月

證人四方田集平担保品草文小判三百枚(一枚六圓三)新二分金

五百兩(一兩ニ付一圓)利息日歩三錢七厘

一當所割引手形拾五號期日ニ付仕拂人板谷作兵衛ヨリ手形面

金額二千圓仲又七振出A六五號小切手ニテ受取ル

一菅川清吉振出A二〇四號小切手金千七百五拾圓ヲ仕拂フ

一大坂支店ヨリ廿二日付左ノ報告書到着ス

一電信爲替仕拂濟 壹號金千五百圓

一荷爲替取立濟 手形番號壹號金五千五百圓

但期日ハ廿三日ナレトモ同日ハ日曜日ニ付繰り上ケ受

取リタリ

一橫濱貿易銀行ヨリ同日付左ノ報告書到着

一送金手形仕拂濟 手形番號ヨ壹號金八百六拾圓

一送金手形取組 手形番號火壹號手形日付本月廿二日金額八百四拾圓依頼人野毛町麻生茂平受取人築地日米商會期限參着拂

一以上ノ諸取引ヲ日記帳へ記載濟ノ後本日仕拂ヒタル菅川清吉振出ノ小切手ハ誤テ當坐預金ヲ以テ拂出シタル處金三百圓過拂ナルヲ發見シタリ然レトモ同人トハ當坐貸越ノ約束ナキニ付本人へ過拂金ノ入金ヲ求メシニ明日拂込ムヘキ旨回答アリ

一本日現金有高六萬三千九百五拾圓九拾七錢

六月廿五日 (火曜日)

一菅川清吉ヨリ昨日ノ過振出ノ返金及ヒ當坐預金トシテ草野平助振出A壹〇八號小切手金壹萬二千八百圓ヲ受取ル
一東京汽船會社ヨリ定期預金二萬圓受取ル證書番號六號期限

壹ヶ年

一橫濱貿易銀行委托一號代金取立手形期日ニ付仕拂人小林呈八郎ヨリ手形面金額二千二百圓仲又七振出A六六號小切手ニテ受取ル

一半期決算ニ付貸付金利子貸付當日ヨリ本月三十日迄ノ分左ノ通り受取りタリ

一井上金次郎 一號三千八百圓 二十七日分

一同 十一號二千圓 七日分

一殖産會社 二號六千圓 二十六日分

一山村龜榮 五號五千七百圓 二十三日分

一同 十號壹萬八千圓 十二日分

一綿糸會社 六號壹萬三千圓 二十三日分

以上

- 一 草野平助振出 A 一〇九號小切手五千二百圓ヲ横濱銀行渡リ
ノ仕拂保証小切手ト爲ス保証番號ヨ一號
- 一 前橋銀行東京支店ノ依頼ニヨリ左ノ手形ノ再割引ヲ爲シ割
引料日歩二錢五厘ノ割ニテ引去リ殘金ヲ仕拂フ
- 一 當所商業手形十九號
- 仕出人横山直吉日付本月十五日日期日七月十日金額三千五
百圓
- 一 擔保付約束手形五號
- 仕出人大野金藏日付五月十日期日八月五日金一萬二千圓
- 擔保品日本郵船株券二百株
- 一大坂支店委托ノ普通代金取立手形京一號期日ニ付仕拂人松
田好十郎ヨリ手形面金額二千六百圓ヲ受取ル
- 一 火災保險會社へ當行家屋二千圓ノ火災保險ヲ約シ保險料一

ケ年分金貳拾六圓仕拂フ

一本日現金有高七萬千四百七十一圓十三錢九厘

六月廿六日 (水曜日)

一 日本銀行へ金二萬圓預ケ入ル

一 横濱貿易銀行仕出火一號送金手形八百四十圓日米商會へ仕
拂フ

拂フ

一分銅定次郎ヨリ銀貨五千圓持參シ紙幣ト引換ヘンコヲ乞フ

依テ打歩金二圓四十五錢ヲ受取リ引換ヘタリ

一大山五郎ヨリ横濱及大坂渡リ巡回手形トシテ金五百圓同人

振出 A 一五七號小切手ニテ受取ル手形番號一號期限七月三

十日限手數料五十錢別ニ現金ニテ受取ル

一 貸付金利子左ノ通り受取ル

一 林 彦 吉 八號七千圓 二十日分

一 奥隅信次郎 九號壹萬六千二百圓 十八日分
一大坂支店仕出ト四號送金手形四千七百六十五圓二十錢齋藤
軍六へ仕拂フ

一大坂支店ヨリ廿四日付報告書到着

一 普通代金取立手形取立濟 ナ一號金二千六百圓

一 送金手形仕拂濟 ナ六號金二千七百五十圓

一本日現金有高四萬六千二十二圓八十六錢五厘

六月廿七日 (木曜日)

一 井上金次郎へノ貸付金四號期日ニ付元利金トシテ梅田泰次
郎振出A七號小切手四千六百圓ヲ受取り差引殘金ハ現金ニ
テ仕拂フ

一 川田龍造ヨリ横濱向送金手形トシテ金千八百圓受取ル手形
番號ヨ二號受取人相生町小西益吉期限參着拂手數料百圓ニ

付三錢ノ割ニテ受取ル

一 武藤松助へノ貸付金七號担保ノ内孟買綿百個藏出スルニ付
代リ担保トシテ上海器械線綿大袋(百八十斤入)百八十個(明治
倉庫會社預證券二通一個廿五圓替)ヲ差入ル依テ前担保品ノ
預リ證券一通ヲ返付ス

一 仲又七振出A六七號小切手金二千二百圓仕拂フ

一 原田芳造へ當所約束手形ノ割引ヲ許シ割引料日歩三錢ノ割
ニテ引去リ殘金ヲ仕拂フ手形番號二十號仕出人岩出惣吉日
付六月二十日期日七月十九日金額壹千二百圓

一 横濱貿易銀行ヨリ廿六日付報告書到着

一 草野平助振出ヨ一號仕拂保證小切手五千二百圓仕拂濟

一本日現金有高四萬四千三百六十壹圓九十二錢五厘

六月廿八日 (金曜日)

一當所割引手形一六號期日ニ付手形面金額六百三十圓仕拂人
飯田二郎ヨリ受取ル

一大坂支店ヨリ振向ケタル荷爲替手形ト二號期日ニ付荷受主
栗田左兵衛ヨリ手形面金額五千六百圓草野平助振出A一一
○號小切手ニテ受取ル

一菅川清吉振出A二〇五號小切手金六千八百圓仕拂フ

一草野平助振出A一一一號小切手金二千七百四十圓仕拂フ

一當所割引手形一三號期日ニ付手形面金額七百三十圓仕拂人
市川光造ヨリ仲又七振出A六八號小切手ニテ受取ル

一大坂支店ヨリ左ノ電信爲替取組ミタル案内電報アリ

手形番號電一號金額三千六百圓依頼人大坂御堂筋細谷藤助
受取人小舟町沖道太郎

一第二百銀行へ金五萬圓ヲ貸付ス證書番號拾貳號期日七月廿

七日担保品五分利付金祿公債證書額面五萬五千圓利息日歩
二錢五厘但金員ハ日本銀行よ八〇七號小切手ニテ拂渡ス

一大坂支店ヨリ振向ケタル電信爲替金三千六百圓受取人沖道
太郎へ仕拂フ證人小網町太田保吉

一梅田泰次郎ヨリ當坐預金八千六百圓受取ル

一菅川清吉ヨリ大坂向送金手形四千三百圓同人振出A二〇六
號小切手ニテ受取ル手形番號ヲ七號受取人堺筋虎井竜太郎
期限參着拂手数料百圓ニ付五錢ノ割ニテ現金ニテ受取ル

一大坂支店ヨリ廿六日付報告書到着ス

一送金手形取組 手形番號ト五號依頼人森川幸造受取人馬
喰町服部傳兵衛金額六百七十圓日付本月廿六日期限參着
拂

一割引代金取立手形委託 手形番號東二號日付本月廿五日

振出人大坂本田通り床田綿行仕拂人深川日本紡績會社期
日七月二十日金額一萬三千六百圓

一橫濱貿易銀行ヨリ廿七日付報告書到着

一送金手形取組 手形番號火二號日付廿七日期限參着拂依

頼人山田萬助受取人本石町田畑寛二郎金額千貳百圓

一同 手形番號火三號日付廿七日期限參着拂依

頼人伊勢松吉受取人深川本山彦吉金額二千四百六十圓

一本日現金有高四萬四百五十四圓七錢五厘

六月廿九日 (土曜日)

一當所割引手形二號期日ニ付手形面金額三千六百圓仕拂人吉
田武藏ヨリ受取ル

一日本銀行ヨリよ八〇八號小切手ヲ以テ金三萬圓(一萬三千圓ハ借越ナリ)
ヲ受取ル

一橫濱貿易銀行仕拂保證梅園久兵衛振出小切手金四千六百二
十圓仕拂フ

一川村藤次郎へ左ノ當所拂約束手形ノ割引ヲ爲シ割引料二錢
八厘日歩ノ割ヲ以テ引去リ殘金ノ内二千圓ハ同人宛振出手
形ト爲シ六千圓ハ梅田泰次郎へノ當坐預金ト爲シ餘ハ現金
ニテ仕拂フ振出手形番號七號一枚

一手形番號二十一號 仕出人 三村富藏 日付本月十五日

期日八月二十日 金額三千四百圓

一同 二十二號 仕出人 木村豊藏 日付本月二十日

期日七月廿二日 金額六千八百圓

一大山五郎ヨリ當坐預金五千四百二拾圓受取ル

一菅川清吉ヨリ同金三千四百圓受取ル

一田内甚三郎ヨリ大坂向送金手形金千三百二十圓受取ル手形

番號ヲ八號受取人松屋町石崎末吉期限參着拂手數料ハ百圓
 ニ付五錢ノ割ニテ受取ル
 一 橫濱貿易銀行仕出火三號送金手形二千四百六十圓本山彦吉
 へ仕拂フ
 一 諸役員へ給料三百五十圓拂渡ス
 一 雜費仕拂金トシテ四十二圓八十四錢三厘用度方へ拂渡ス
 一 大坂支店ヨリ廿七日付報告書到着ス
 一 荷爲替手形取立濟 手形番號二號八千五百圓
 一 割引代金取立手形取立濟 手形番號大壹號三千八百圓
 一 送金手形取組 手形番號ト六號日付廿七日期限參着拂依
 賴人橫山金造受取人田所町宮田小源次金額三千六百五十
 圓
 一 荷爲替取組 手形番號ト三號日付廿七日期日七月十日振

出人竹原友吉荷受主兜町村田傳八郎手形面二千八百圓物
 品眞文小判百枚保字小判二百枚草文小判六百枚此保險金
 額三千圓

一 橫濱貿易銀行ヨリ廿八日付報告書到着ス
 一 送金手形仕拂濟 手形番號ヨ二號千八百圓
 一本日現金有高七萬四千六百十八圓四錢四厘

右ノ取引ヲ記帳シ終ラハ毎月實際報告表ヲ製ス可シ而シテ其總勘定元帳ノ結
 果ハ左ノ如クナル可シ
 但本表ハ差引殘高アル分ノミヲ掲クルモノト知ルベシ

借方金額	預金勘定	貸方金額
五〇〇 ^円	定期預金	三九、八〇〇 ^円
1110、16500	當坐預金	一八五、八八二、九二六

六〇〇	四、八九〇	二〇、三二五	一五八、〇〇〇	一四、〇八一	一七三、〇四二	一一、六〇〇	一三六、五七〇	九、二二〇						
別段預金	振出手形	仕拂送手形	巡回手形	貸出金勘定	貸付金	當坐貸越	割引手形	荷爲替手形	借用金勘定	借入金	公債及地金勘定	國債證券	他店勘定	一ヶ所
一、四二〇	六、八九〇	二五、八三五	五〇〇	二二、八〇〇	一〇、〇七四	一三、九四二	八、八〇〇	一三、〇〇〇	三九、〇九二	一〇、〇六〇				

一五〇、〇〇〇	四五、〇三五	三、一〇〇	六六、一三	二五八、四四三	四五	一五〇	三五〇							
支店勘定	支店元金	一ヶ所	預ヶ金勘定	預ヶ金	損益勘定	利子	割引料	手数料	雜費	旅費	創業入費	公債賣買損益	交換打歩	給料
五、一〇四五	三、一〇〇	五七、六五二	二、四〇四	一八、二六七	六、七二〇	四、二八	二、四五〇							

株主勘定	500,000								
資本									
所有物勘定									
營業用地所									
營業用家屋									
營業用什器									
金銀勘定									
總計	1,242,578.60	1,167,960.55	2,410,539.15	2,410,539.15	1,242,578.60	1,167,960.55	2,410,539.15	2,410,539.15	1,242,578.60

○半季決算ノ方法并順序

決算ノ事タル多少取引例題ノ記帳ヲ試ミタル上ニ非サレハ
融會シ難キ點多キニ依リ本章ハ特ニ取引例題進行ノ順序ニ
隨ヒ此ニ説明スルコトセリ

前報告表ノ調製ヲ終ラハ半季決算(月ヨリ六月ニ至ル迄ヲ上半季ト云フセ)ヲ行
フ可シ因テ今左ニ其決算ノ方法并順序ヲ説明ス可シ

- 一 諸記入帳ヲ締切リ其受拂ノ残り高ヲ總勘定元帳當該科目ノ差引殘高ト引合ヌ可シ
- 一 諸元帳ノ貸借出入ノ合計金額及差引殘高ヲ一表ニ書キ抜キ之ヲ總勘定元帳當該科目ノ金額ト引合セ相違ナキトキハ其ノ殘高ヲ半季末日(上半季ニ在テハ六月以下之ニ依リ)ノ日付ヲ以テ(後季繰越)トシテ反對ノ方ニ記入シ貸借ヲ平均セシメテ締切ル可シ而シテ已ニ其簿冊ノ紙數盡クルトキハ新ナル帳簿ニ若又引續キ同簿冊ヲ用ユルトキハ次ノ紙葉ニ後半季初日(上半季ヲハ七月一日以下之ニ依リ)ノ日付ヲ以テ(前季ヨリ繰越)トシテ其殘高ヲ轉載ス可シ
- 一 總勘定元帳ノ各科目中先ツ損益ニ屬スル分ヲ摘要欄内ニ(損益勘定)ト記シテ半季末日ノ日付ヲ以テ殘高ヲ反對ノ方ニ記入シ貸借ヲ平均セシメテ之ヲ締切ルト同時ニ新ニ(損益勘定)ノ口取ヲ開キ損益ニ關スル各科目ノ殘高ヲ此一科目ノ下ニ悉ク貸借其儘ニ轉載シ以テ之ヲ一ト纏メトスヘシ而シテ摘要欄内ニハ之ヲ移シ來リタル科目ヲ掲グルモノトス
- 一 株主勘定中ノ前期繰越高及ヒ滯貸準備ニシテ其半季間ニ消費シ盡サスシテ猶ホ殘高アルトキハ此等ハ銀行ノ利益ニ屬スルモノナルヲ以テ決算ノ場合ニ於

テハ他ノ損益ノ科目ト等シク本文ニ準シ之ヲ損益勘定科目ノ下ニ移記スルモノトス

一 總勘定元帳中資産負債ニ屬スル各科目及ヒ右ノ「損益勘定」ハ半季末日ノ日付ヲ以テ摘要欄内へ「後期繰越」ト記シテ其殘高ヲ反對ノ方ニ記入シ貸借ヲ平均セシメテ之ヲ締切ル可シ

次ニ日記帳ニ後半季初日ノ日付ヲ以テ「繰越日記」ノ文字ヲ特ニ欄外ニ記載シテ總勘定元帳ニ於テ後期繰越トシテ締切リタル各科目ハ一々其貸方ニ殘高アルモノハ日記帳ノ借方ニ又其借方ニ殘高アルモノハ日記帳ノ貸方ニ移記シ其金額ハ貸借トモ直ニ總計桁へ記入ス可シ

一日記帳へノ移記悉ク終リタルトキハ之ヲ合計シ殘高ハ必ス借方ニ在ルヘケレハ之ヲ「差引殘高」トシテ貸方ニ記入シ貸借ヲ平均セシメテ締切ル可シ

一 後期ニ於テ總勘定元帳ヲ新ニスルキハ其新帳へ若又引續キ同帳簿ヲ用ルキハ次ノ紙葉へ繰越日記ニ記載ノ科目ヲ順次ニ開キ日記帳ヨリ後期初日ノ日付ヲ以テ「前期ヨリ繰越」トシテ常ノ如ク反對ノ方ニ其金額ヲ記入ス可シ金銀勘定モ亦常ノ如ク繰越日記ノ借貸合計金額ヲ其儘ニ轉記シテ差引殘高ヲ現ハスヘシ

一 損益勘定明細帳ニ據リ本店損益明細表ヲ製ス可シ本表ニ掲クル利息ハ其受取リタルモノハ貸付金ニテ幾許當坐貸越ニテ若干其仕拂ヒタルモノハ當坐預金ニテ若干定期預金ニテ若干等ノ明細ヲ知ルニ供スルモノナレハ欄ヲ損失利益ノ二桁ニ區分シ各科目ノ内譯ヲ爲シテ記載スルモノトス

一 以上ノ手續ヲ終ラハ本店半季平均高報告表ヲ製ス可シ本表ハ營業上重モナル諸勘定ノ毎月及ヒ半季間一日ノ平均高ヲ知ルニ供スルモノニシテ之ヲ編成スルニハ定期預金、當坐預金、振出手形、別段預金、貸付金及ヒ當坐預金貸越等ハ總勘定元帳ノ毎日ノ差引殘高(休日及ヒ出納ナキ日ハ前日ノ殘高)ヲ加算シ金銀勘定ハ金銀有高控帳ニヨリテ毎日ノ有高ヲ加算シ其月ノ日數ヲ以テ除シ其商ヲ毎月ノ平均高トス而シテ其毎日ノ加算高ヲ半季間累計シ其積數ヲ半季間ノ日數(上半季ハ百八十一日、下半季ハ百八十四日)ヲ以テ除シ其商ヲ半季ノ平均高トス又送金手形、仕拂送金手形、割引手形(自店ニテ割引シタルモノ)當所代金取立手形及荷爲替手形(自店ニテ仕拂)ノ平均スルニハ各其記入帳ニ就キ毎月又ハ半季間現ニ仕拂ヒ或ハ受取リタル金額ヲ合計シ之ヲ其月又ハ半季間ノ營業日數ニテ除シ其商ヲ毎月又ハ半季ノ平均高ト爲ス可シ

但營業一ヶ月又ハ半季ニ滿タサルモノハ開店ノ日ヨリ日數ヲ算シ都テ本文ニ準シテ平均ヲ爲ス可シ

以上ノ手續ヲ終ラハ各支店ヨリ勘定報告表ノ到着スルヲ待ツ可シ

一支店ニ於テハ本店同様ノ手順ヲ以テ諸帳簿ヲ締上ケ同時ニ毎月實際報告表、半季平均高報告表及諸損益勘定明細表ヲ製シ之ヲ本店ヘ向ケ送付ス可シ而シテ支店ノ損益ハ本店ニ合算セラル、モノナレハ後期營業ノ初日ニ於テ日記帳ヘ左ノ如ク振換記入シ同時ニ本店勘定元帳受口金銀勘定ニ記入シ其旨ヲ本店ヘ通知スルモノトス

借方

本店

振換桁

損益勘定

振替桁

日記帳

貸方

前季損益

本店

然ル後其支店丈ノ各勘定ノ明細ヲ記載セル營業報告書、貸借對照表及財産目錄ヲ製シ之ヲ本店ヘ發送ス可シ

一支店ヨリ毎月實際報告表到着スルトキハ本店ニ於テハ本支店合計表ヲ製ス可シ

シ是レ支店ノ諸勘定ハ悉ク本店ノ勘定ニ合算スヘキモノナレハナリ本表ヲ製スルニハ本支店ノ毎月實際報告表ニ據リ一勘定科目毎ニ貸借ノ金額及差引殘高ヲ合計シテ貸借其儘ニ轉載スルモノトス尤半季末日ニ於テ双方ヨリ發シタル勘定報告ノ未ダ達セサルカ爲メ本支店ノ貸借符合セサルコトアリ隨テ其關係ノ科目ニ於テモ金額脫漏セルナル可シ故ニ先ツ本店勘定ト支店勘定トノ貸借差引殘高ヲ引合セ若シ相違アルトキハ半季末日後ニ到着セル支店ノ報告ト又本店ヨリ支店ヘ發シタル收支ノ報告ニシテ未ダ支店ニ到着セサリシト思ハル分ヲ調査ス可シ然ルトキハ何々ノ勘定ヲ未ダ双方カ記載セサルヨリ此違算ヲ生セシト云フコトヲ知リ得ベシ而シテ其違算ノ勘定ヲ搜出シタルトキハ假ニ双方ノ帳簿ニ於テ夫々記入セルモノト看做シテ本表當該勘定科目中へ貸借ヲ區分シテ其加フヘキハ加ヘ減スヘキハ之ヲ減シ以テ本支店ノ勘定ヲ符合セシムヘシ斯クシテ各科目ヲ合計シ終ラハ之ヲ締切リ半季實際報告表ヲ製スヘシ

一半季實際報告表ハ本支店全体ノ資産負債損益ヲ現ハスモノナリ其記載ノ方法ハ合計表ニ就キテ各勘定科目ノ金額ヲ貸借其儘ニ轉載スルモノトス但本店ニ於ケル支店勘定ノ各科目支店元金及ヒ何々支店ト稱スル如キ科目ヲ云フ支店

ニ於ケル本店勘定ノ各科目ノ金額ハ貸借全ク之ヲ取除クヘシ是レ本表ハ其銀行ノ純然タル總資産負債ヲ知ルニ供スルモノナレハ本支店間内輸ノ勘定ハ其要ナキヲ以テナリ故ニ本表ハ毎月實際報告表ノ如ク貸方諸勘定(金額勘定ヲ除ク)ノ合計金額ハ金銀勘定借方金額ニ借方諸勘定金銀勘定ヲ除ク)ノ合計金額ハ金銀勘定貸方金額ト符合スルモノニ非ラスシテ其取除カレタル本支店間勘定ノ金額丈ハ金銀勘定ノ方ニ多キ譯ナリ又損益勘定ニ属スル各科目ハ都テ一ト纏メトナシ單ニ當期損益金トシテ其合計金額ヲ掲クルモノトス

一報告未達ノ爲メ本支店合計表ニ於テ加除シタル各勘定ハ後期ニ至リ其報告ニ依テ夫々貸借ヲ仕分ケ關係ノ帳簿ヘ記入スルモノトス然ルトキハ己ニ前期ニ於テ決算サレタル勘定カ再ヒ後期ニ記入セラル、ヲ以テ重複スルカ如シト雖モ半季決算ノ際ニ當テ本支店双方トモ報告ノ到着スルマテ帳簿ノ締上ケヲ見合スカ如キハ爲ス能ハス左レハ迎全ク之カ記帳ヲ廢スルハ猶更不都合ト云ハサル可ラス又未達ノ勘定ハ其儘ニテ半季實際報告表ヲ編成セハ勘定符合セサルヲ以テ實際ノ資産負債ヲ知り得ヘカラス故ニ之ヲ合計表ニ於テ假ニ記帳ノ体ヲ爲シ置キ後期ニ於テ更ニ正式ノ記帳ヲ爲スハ實際已ムヲ得サルニ出ツル

モノナリトス

一支店ヨリ損益勘定振替ノ報知アリタルトキハ之ヲ日記帳ニ於テ左ノ如ク振替記帳ス可シ

借方

損益勘定 振替 何々支店 振替

何々支店 損益勘定

貸方

貸借対照表

明治 年 月 日 貸借対照表

一以上ノ手續ヲ終リタルトキハ左ノ雛形ニ準シ半季末日ノ計算書ヲ調製スヘシ

本表ハ本支店總体ノ資産負債ヲ示スモノナレハ半季實際報告表ニ據リ其各科目ノ差引殘高ヲ掲載スルモノトス

借方	金額	貸方	金額
貸附金	八七、五三五	定期預金	二八、二〇〇
當坐預金貸越	一三、〇五〇	當坐預金	一五五、六二九
割引手形	三三六、四五二	支拂送金手形	一、〇六三
			二四三

財産目録

明治 年 月 日 財産目録

本表ハ貸借対照表資産ノ部ニ屬スル各科目ヲ取リ之レニ要件ヲ付シ以テ本支店全体ノ財産ヲ一月ノ下ニ示スモノトス

種類	金額	要	金額
預ケ金	三、八〇〇	別段預金	五二三
國債證券	九、〇〇〇	借用金	七九、二〇五
他店〜貸	五、六二一	他店ヨリ借	一、九五四
拂込未済資本金	二五〇、〇〇〇	資本金	五〇〇、〇〇〇
營業用地所	九、〇〇〇	當期純益金	二六、四三二
營業用家屋	六、〇〇〇		
營業用什器	八〇〇		
金銀有高	六一、七四八		
合計	七九三、〇〇八	合計	七九三、〇〇八
			五六四
貸附金證券	二十通		
		合計	八七、五三五
			〇〇〇

損益表

第 期損益表

本表ハ本支店合計表ヨリ其損益ニ關スル各科目ヲ損失ト利益トニ區分シテ記載スルモノトス

種類	金額	金額
當坐預金貸越	入口	一三、〇五〇
割引手形	百四十四枚	三三六、四五二
預ケ金	銀行一箇所	三、八〇〇
國債證券	軍事公債證書額面壹萬圓	九、〇〇〇
他店〜貸	「コレレスボンデンス」銀行三箇所	五、六二一
拂込未済資本金	現株主百拾名株式壹萬株	二五〇、〇〇〇
營業用地所	三百四拾九坪	九、〇〇〇
營業用家屋	七棟建坪百貳拾參坪	六、〇〇〇
營業用什器	金庫 二箇	八〇〇
金銀有高	銀貨及銅貨 紙幣及兌換券 切手及手形	二二〇、四二二 五二、七二四 九、〇〇三 五、四四五
合計		七九三、〇〇八
		五六四

